

テ運動シテサタ。實ニ此奴隸制度全廢ノコト
ハ近頃ノ社會上ノ問題ニ就イテ深ク一眞理ヲ
定メタノデ、此人ノ最モ特色ノ伎倆ヲ現シタ
仕事デアツタ。後チ政治上ノ忌ミ敵カラ芝居
デぶラサト云フ俳優ニ暗殺サレタ。

(五一) リーヴ

典國ノ音樂者。一八二一年出生。語學ノ教師
ノ娘デアツタ。十歳ノ頃カラ舞臺ニ出テ音樂
ヲ奏シ、十六歳ノ頃ハ早既ニ一個ノ俳優トナ
リ、第一流ノ名ヲ博シ、合衆國ヲ漫遊シタ時ハ
數萬ノ金ヲ擲テ貧民ヲ救助シタ。其音聲ノ麗
ハシイノニハ匹敵ノ無イトノ事デ、其道德モ
堅固デアツタト云フ。

(五二) リーヴ

近代ノ植物學者ノ大家。F. R. S.。一七九九年

ガ、財政ガ困難ナ所カラ自由ニ勉強モ出來ズ、
人ノ補助ヲ得テ學ンダ。學問ニ於イテノ進ミ
モ早ク、ヤガテ官費生トナリ、一七三二年ら
らぬづへ徒歩テ漫遊シ、遂ニ一七三七年三十
三歳ノ時「Flora Laponica」ト題トスルモノヲ
出版シ、植物學者トシテ世ニ聞コエタ。ソレ
カラ一七三五年カラ三年間ハ蘭國ノ富人ク
リツルルル許ニ居、其人ノ別荘ノ花園ノ植
物ヲ整理スルコトヲ命セラレタ。暫クコレテ
過グシテ居タ所デ忽チ總テノ植物ノミナラズ
動物デモ其便宜ニ由ツテ分類スルコトガ宜シ
イト氣ガ付キ、此考ヘカ段段ト進ンダ後チ遂ニ
有名ナリぬにわすノ分類ト云フモノガ成ツ
タ。即チ自然ニ從ハズ便宜上人爲ノ仕方ニ由
ツテ分類ヲ立テルコトデ、ソレカラ其目的ヲ

英國デノ出生。植木屋ノ子デ、一八二九年頃
カラ最早植物學者トシテ知ラレタ。一八三〇
年「植物學初歩」ヲ著シ、一八三二年更ニ學術
的、生理的ニ植物學ヲ解キ社會ノ喝采ヲ博シ、
續イテスベテ植物學ニ關係シタ著述ヲシ、一
八三八年其大著述「Flora Medica」ヲ著シタ。
其他ニモ著述ハ數多アル。一八六五年歿。

(五三) リーヴ

典國ノ植物學大家。一七〇七年、五月二十四
日出生。第十八世紀ノ植物學ノ中ノ第一流ノ
人。父ノ命ニ由リ十七歳ノ頃靴屋ノ丁稚トナ
ツタガ、其前マデハマルデ無學デ過グシテサ
タ。一七二七年ソレカラ不圖シタ縁カラ藥學
ヲ修メルタメ大學ニ入ルコトトナリ、好ソデ
博物學ヲ研究シ、大イコ教師ニモ賞メラレタ

以ツテ著シタモノハ幾ラモアリ、何レモ植物
學ニ關シタモノデ殊ニ大著トシテ仰ガレタ。
其中テ一七三七年出版ノ「Genera Plantarum
secundum Numerum, Figuram etc」ナドハ最モ有
名ナモノデアツタ。一七三八年サトクハ
ヒコ移リ、藥學ヲ研究シ、植物學ヲ考究シ、王
ノ侍醫トナリ、一七三九年二十三歳ノ時妻ヲ
娶リ、一七四一年カララフるるノ大學ノ教授
トナリ、三十七年間業ヲ繼續シ、當代ノ大家ト
云ハレタ。一七五一年「Philosophia Botanica」
デ、自分ノ主義ヲ委シク陳ベタ。一七七八年
歿。

(五四) リーヴ

一四一二年出生ノ伊國ノ畫工。油繪ニ巧ミデ
アツタ。一四九六年歿。

(五五) りすたわい・わらどぬ

一七七五年出生ノ英國ノ詩人、兼批評家、兼數學者。二十歳ノ頃せびるノ大學ヲ數學ノ教授トナリ、一八〇七年同シク修辭學及ビ詩學ノ教授トナリ、一八一三年カラ同一七年迄ハ佛國ニ漂泊シ、一八二〇年頃カラ著述ニ志シ、遂ニ一八三三年其有名ナ著「Gaceta de Madrid」ナドヲ著シタ。其批評ノ才ハ英國ノ演劇文學論ト云フ書物ヲ現レテキタ。一八四八年歿。

(五六) りびんぐすとぬ (Edward)

米國ノ政治家。一七六四年五月二十六日出生。一七八一年十八歳ノ時大學ヲ卒業シ、法律ヲ學ビ、狀師トナリ、一七九四年三十一歳ノ時議會ニ入り、でもくらつツ派ノ主義ヲ取り、一七九六年再選サレ、一七九八年又選ハレテソレ

カラ地位モ段段社會ニ重ク、一八一五年一月八日にうおるれぬすノ戰ヒニモ出、勇名ヲ轟カシタ。一八三六年歿。

(五七) りびんぐすとぬ (David)

一八一五年頃出生ノ蘇國ノ人。亞非利加ヲ探檢シテ有名ナ人物。初メハ藥學ト神學トヲ修メ、宣教師トナル志シテ、ソレカラ倫敦神學協會カラ南ア非利加ニ遣ラレタノハ一八四〇年ノコトデアツタ。以后十六年間ハア非利加ノ内部ヲ探檢シ、種種ノ發明ヲシ、神學協會カラ金牌ヲ贈ラレ、一八五〇年英國ニ歸リ、其旅行日記ヲ著シ、大イニ世ノ中ニ知ラレ、一八五八年再ビア非利加ニ至リざむべすの河ヲ究メ、綿ノ繁殖スル狀況ヲ視、其國ト自分ノ國ト交通ノ路ヲ開カウト思ツタ。一八六二年英國ニ

歸リ、一八六五年其始末ヲ記シタモノヲ著シ、再ビ一八六五年ア非利加ニ行キ二年程ノ間ハ音信ガ分カラナカッタガ、忽チ傳ガアリ、内部ニ入り込ンテ土人ニ忌マレ、遂ニ無殘ナ最期ヲ遂ゲタト云フ。

(五八) りびい

露國ノ歴史家。前五九年頃ノ人。其歴史ハ一般ノ人民ニ愛讀サレ、而モ文章ガ麗シク、敘事ガ巧ミデアツタ所カラ世間ニ評判デアツタ。後一七年歿。

(五九) ろく

英國ノ大哲學者。一六三二年出生。父ハ軍人デ、内亂ノ時議會ノ下ニ屬イテ戰ヒニ出タ。ろくハ幼年ノ頃諸所ニ在學シ、一六五一年カラ基督教ノ學校ニ入り宗教ヲ修メ、後チ其所

ヲ去リ彼方此方ヲ歴遊シ、自ラ學ビ、自ラ修メ、段段貴族ト交際ヲ結ビ、色色ノ人ノ保護ヲ受ケテ諸所ヲ歴遊シ、自ラ一派ノ主義ヲ立テルヤウニナツタ。一七〇四年歿。

哲學者トシテハ近代ノ大家デ、一代ニ仰ガレタ。其主義ノ元トシタ所ハへえぬデ、智識ト云フモノハ一ツトシテ經驗カラ來ナイモノハ無いト云フ規則ヲ立テ、又念想ハ感覺ト反省トノ二ツガ相合シテ出來ルト定メタ。ソレ故全ク此人ノ主義ハ經驗デ、後世デハ經驗哲學ノ元祖トスル。丁度此ろくと同シ主義ヲ取ツタノハ佛國ノこぬでいやくデ、こぬでいやくノ唯少シ違フ所ハ感覺ハカリデ、別ニ反省ナドハ混セズニ念想ガ成リ立ッモノトシタ。ろくと説ノ短所ヲ云へハ人ノ心ニ經

驗カラ成り立タヌ本來ノモノ、即チ^一ら^いふ^にッ
 つナドガ唱道スル眞理ノ本源ト云フ絶對ノ理
 想ガアルコトヲ認メズ、唯唯經驗ノ一方ニ
 ミ走ツタコト是ガ瑕デアツタ。一身カラ云ヘ
 ハ道德ト信心トニハ頗ル高ク、唯唯其色色ノ
 著述ヲシタモ人間世界ノ道德、智識、及び自由
 ナ進歩サセ様ト云フ目的デアツタ。或ル時朋
 友ガ此人ニ書ヲ寄セ「ドウシテ基督教ニ早ク
 通ズルコトガ出來ルカ」ト尋チタ時斯ウ答ヘ
 タ「聖書ヲ學ベ！永久無盡ノ事ガ書イテアル。
 其著者ハ上帝デ、天下是程完全無缺ノコトハ
 無イ」ト。ソレカラ死ヌ時ニモ從容トシテ少
 シモ驚カズ又悲マズ、今迄平和ナ所業デ平和
 ニ世ヲ渡ツタ身故少シモ残り惜イ念ハ無イト
 ノ趣キデアツタ。又朋友ガ來テ「何か云フコ

トハ無イカ」ト尋チタトキ「別ニ何モイフコト
 ハ無イ。唯唯コレカラ永久ノ世ノ中ニ行クノ
 ガ嬉シイ」ト云ツタ。議論ヲスルニ於イテモ
 中中鋭イ。哲學者トシテ素ヨリ申シ分ノ無イ
 人デアツタ。其主ナ著述ハ一六九〇年始メテ
 出版シタ「人心論(Essay on the Human Under-
 standing)」デにラとぬ^いぶ^りぬ^しび^わガ^出版
 ニナツテカラ三年ノ後ニ出タモノデアツタ。
 其他ニハ一六九〇年カラ九二年ニ掛ケテ出版
 シタ「Letters on Toleration」及び一六九〇年出
 版ノ「教育論」、及び一六九五年出版ノ「基督教
 論」ナド。
 (六〇) ^ろッ^かる^つ
 英國ノ著述家、詩人、兼批評家。一七九四年出
 生。ぐ^らす^てお^大學^テ修^業シ、法律ヲ學ビ、一

八一六年二十三歳ノ時狀師トナリ、傍ラ文學
 ナ修メ、遂ニ文學者トナツタ。一八二五年出
 版ノ詩人「ろ^はる^つ・ば^るぬ^すノ傳」ナドハ有
 名デアツタ。一八五四年歿。
 (六一) ^ろお^き。又、^ろお^けふ
 の^るす^ノ神^學ノ^神。最モ無殘ノ魔デ、罪惡、奸
 詐至ラヌ所ナカツタト云フ。
 (六二) ^ろく^まぬ
 亞刺比亞ノ賢人。そのもぬナドト同時代ノ人
 デアツタラウト云フ。其著述ハ一六一五年拉
 丁デ翻譯サレタ。
 (六三) ^ろん^ぐふ^るろ^お
 米國ノ詩人。一八〇七年二月二十七日出生。
 一八二五年ばお^いぬ^大學^ヲ卒業シ、言語學
 ナドヲ修メ、歐洲ヲ漫遊シ、一八二六年家ニ歸

リ、文學者トシテ社會ニ現レ、一八三九年其有
 名ナ作「Hyperion」ガ現レ、名譽ヲ博シタ。續イ
 テ數多ノモノヲ著シタカ、何レモ評判ガ好ク、
 近代ノ米國ノ詩人ノ中デ第一流ニ位サレル。
 其主ナ著述ハ一八四七年出版ノ詩「Evang-
 elene」、一八五五年出版ノ「The Song of Hava-
 Ura」、及び一八五八年出版ノ「The Courtship of
 Miles Standish」ナド。詩人トシテハ感情ガ優
 シク、如何ニモ優美デ、且ツ感動ヲ與ヘル所ガ
 深ク、甚シイ缺點ノ無イ所ガ長所デアツタ。
 (六四) ^ろぬ^ちや^{いな}す
 希臘ノ哲學者。第三世紀頃ノ人。雅典ヲ哲學
 及ビ數學ノ學校ヲ開キ、其所ニ生徒ヲ集メ教
 授シ、遂ニ一家ヲナシタ。其大著述トシテ開
 エルノハ「雄大論」。

(六五) でふろんぐへる

佛國ノ美人。其才徳ニ有名ナ人。一六一九年出生。一六四二年貴族ろんぐへる公ニ嫁シ、まざりぬ女王ト議會ト説キ異ニシ、騒キニナツタ時此婦人モ政治上ニ關シテ大イニ働イタ。一六五〇年まざりぬノ志ヲ失ヒ其夫モ自分モ捕ヘラレテ牢ニ入レラレ、逃ゲテ諸所ヲ流寓シタ。一六七九年歿。

(六六) ろおべえ・でえ・べえがわ・かる
ぴお

一五六二年十一月二十五日出生ノ班國ノ詩人。父ハ貧テアツタ。六歳ノ時カラ詩ヲ好ミ、十二歳ノ時ハ演劇ノ脚本ヲ作ツタ。一五九八年其始メテ「Arcadie」ト云フ出版シ、大イニ世ヲ驚カシ、不圖シタコトカラ友人ト決

闘シ、友人ニ傷ヲ付ケタメ遂ニ班國ノ都ヲ去リ數年間、他ノ所ニキタ。其中ニ妻カ死シテ大イニ悲シ、其氣ヲ散スルタメ兵隊ニナル氣ニナリ、一五八八年義勇兵トシテ兵隊ニ入り、例ノ艦隊あるまたト合シテ英國ヲ攻撃シ破レタ。此時有名ナ評「わんげり」ガ「美」[Henri moulin de Angelle]ヲ著シ、其後チ伊國ニ歸リ、忽チ狂言作者トナツテ名譽ヲ藏カヌヤウニナツタ。其二代ノ傑作ハ「De Capa y Espada」。

(六七) ろい第十四世

大王トイハレル人。佛國ノ王。一六三八年九月十六日出生。五歳ノ時王位ニ即キ、一代ノ間ハスベテ其鋭イ腕ヲ以ツテ自由ニ政治ヲ運轉シタ。人君トシテハスベテ才略ニ富ンダ人デ、後世カラモ仰グ。政治ニ於イテハ亂暴ナ

コトモアツタ。まこおれいモ此人チハ非常ニ賞メタ。「此人程立派ナ生活ヲナシタ王ハナカツタ。然シ大將トシテハガシタル人デモナカツタ。政治家トシテモサシタル人デモナカツタ。唯一ト口ニ云ヘハエライ王デアツタ」ト。

後チニ佛國ニ大革命ガ起コツタノハ此人ノ政治ノ波ノ名残りガ後ニ至ツテ破裂シタモノデアツタ。

(六八) ろい・あほおれおぬ

なほおれおぬ第三世ノ本名。

(六九) ろい・ふひりッぶ

佛國ノ皇帝。一七七三年十月六日出生。人君トシテハ立派ナ人デアツタ。一八五〇年歿。

(七〇) でふろんぐわ

一六四一年出生ノ佛國ノ政治家。宰相トナツ

テ大イニ腕ヲ振ルツタ。ガハ財政ヲ頗ル亂シタト云フノデ批難ヲモサレタ。

(七一) ろうゑる

米國ノ詩人、兼批評家。一八一九年二月二十日出生。一八三八年はるばるグ大學ヲ卒業シ、法律ヲ學ビ、一八四一年狀師トナリ、一轉シテ文學者トナツタ。一八四四年「Legend of Britany」ヲ著シ、遂ニ一流ノ人トナツタ。米國ノ詩人トシテハ随分勢力ノアツタ人。

(七二) ろよら・又ろよら

班國ノ人傑。一四九二年出生。社會改良ノ目的ヲ以ツテ宗教改革ニ腕ヲ振ルヒ、種種ノ苦心ヲ嘗メテ遂ニ大業ヲ成就シタ人。一五六六年歿。死後一六二二年羅馬法王ニ位ヲ贈ラレタ。

(七三)

羅馬ノ詩人。三八年ノ出生。佛國ノこるぬいゆ、及びぼるてゐるナドハ非常ニ此人ヲ賞メタ。

(七四)

ラ丁ノ大詩人。前九五年出生。しせろト同時代ノ人。其委シイ傳ハ分カラヌ、文學、語學、哲學共ニ通シ、一流ノ詩人トノ名ヲ今日ニ至ツテモ殘ス。其僅ニ殘ル書物ハ六卷ノ詩「De Rerum Nature」即チ「物ノ性質」ト題スルモノデアツタ。詩才ハ非常ニアリ、詰マテヌ物ヲ詩ノ中ニ組ミ入レル能力ニ富ミ、名譽ト云フモノハ度外ニ置キ死亡ヲモ決シテ恐レナカッタ。

(七五)

らかるらす

羅馬ノ大將。前一〇年頃ノ人。前八〇年亞細亞ニ行き、すらノ愛顧ヲ得タ。五六年頃歿。

(七六)

獨逸ノ人傑。一四八三年十一月十日出生。父ハ抗夫デアツタ。十五歳ノ時ラ丁語ノ小學校ニ入り、ラ丁語ヲ勉強シ、一五〇一年大學ニ入り、ラ丁ノ聖書ヲ修メ、其頃カラ既ニ他日ノ大宗教家トナル相ヲ現シテキタ。其中ニ親愛ノ友人ガ死ンダノ心ヲ動カサセ、遂ニ固ク契ヒテ立テ、一五〇五年七月寺院ニ入ツテ僧トナツタ。一五〇七年僧徒ノ位ヲ得、次ギシ年カラ世ノ中ニ現レ、うゝてむべるぐリ哲學ノ教授トナリ、一五二二年神學ニ就イテ退イテ深ク研究スル所ガアリ、遂ニ段段ト研究ヲ遂ゲテキル中從來ノ舊教、ソレ迄世ノ中ニ蔓

ツテキタモノニ對シテ新シイ意見ガ出タ。ソレカラ其趣キヲ述ベテ出版シタ所、歐洲全國押シ並ベテ沸騰スルハカリニナツタ。其敵トナツテ有名ナ人ハえ、く博士デるうてゐるノ方ハ敵ヲ得テ愈振ルヒ、遂ニ自身ノ宗教ノ主義ヲ固メ出シテ一代ヲ横行シタ。或ヒハ勝チ、或ヒハ負ケ、或ヒハ論シ、或ヒハ駁シ、其間帝王ノ中デモ之ニ賛成スル人モアリ、或ヒハ憎ンデるうてゐるヲ虐殺シヤウト云フノモアリ、九死一生ノ界ニアツテ辛クシテ一心ヲ貫カウト志シタ。其間繩目ニ掛カツテ法廷へ呼ビ出サレタコトハ幾クダビカ知レヌ。ガ、唯一念注ク所危イ命ヲ取り纏メテ諸所ヲ歴遊ノ後一五二二年うゝてむべるぐニ歸リ、一五三四年舊約書ヲ譯シ、一五二二年新約全書ヲ譯シ、非

常ニ世ノ中ニ行ハレ、是カラシテ段段其基礎モ固マリ遂ニ所謂今日ニ云フ新教ノ主義ヲ立テ、一般世ノ中ニ行ハレル様ニナツタ。人トナリ物事ニ當タツテハ非常ニ熱心ヲ志シテ立テテハ苟クモ屈セヌ氣性ガアリ、且ツ敏捷テ愉快テ、何チ爲ルニモ活潑ニ働キ、ドンナ艱難ヲモ物ノ數トモセヌ氣性ニ富ンデ居タ。實ニ近代ノ大偉人トシテハ誰レモ同意スル人デアリニ不世出ノ人物デアツタ。其逸事言行ナド記録スルモノガ頗ル多イ。ガ、此短イ所デアハ云ヘヌ。一五四六年二月十八日六十三歳歿。一代ニ著シタ著述モ多ク有ル中ニ前記載シタ聖書ノ翻譯ハ非常ニ有名ナモノデアツタ。

(七七)

有名ナ佛國ノ武人。一六二八年出生。一六九

五年歿。一六九一年ノ戰ヒニ英國ノウゐりあ
 ひ三世ヲ烈シタ破ツテ勇名ヲ轟カシタ人。
 (七八) ちいかるがす。又、りかるがす。
 すばるたノ法律家。非常ニ嚴格ナ法律ヲ作り、
 ソレヲちいかるがすノ法律ト名付ケテ世ニ行
 ハレテ有名デアツタ。其法律ハ充分ニ貴族政
 治ノ色ヲ帯ビタモノデ、王チ一人ニシ、コレニ
 全權ヲ與ヘル類ノ制度ヲ設ケタ。

(七九) ちいえる

英國ノ地質學者。一七九七年十一月出生。法
 律ヲ修メ、一八二六年頃カラ地質學者トシテ
 社會ニ現レ、一八三〇年カラ三三年ニ掛ケテ
 「地質學」ト題スルモノヲ著シ、大イニ世ノ中
 ノ喝采ヲ博シ、一八三七年迄ニ五版ヲ重テタ。
 一八三八年「地質學原理」ヲ著シ、一八四一年

合衆國ヲ歴遊シ、ばすどぬデ地質學ノ講義ヲ
 シ、一八四五年漫遊ノ結果トシテ米國ノ地質
 學ヲ調ベタモノヲ出版シ、地質學ノ大家トシテ
 仰ガレタ。其他ニモ著述ハ數多アル。一八三
 六年地質學協會ノ長トナリ、一八六三年地質
 學カラ古代ノ情況ヲ調ベ出シテ愈名ヲ知ラレ
 タ。初メハだるうゐぬノ進化論ニ反對シタガ
 後チニ意見ヲ變ヘテ其主義ニ同ズル様ニナ
 ツタ。

M

(一) まこかれい

一八〇〇年十月二十五日出生ノ英國近代第一
 流ノ學者、批評家、兼歴史家。母ハふりッテ
 ノ書肆ノ娘デ、非常ニ教育ヲ受ケテキタ。ソ

レ故まこかれいノ少年ノ時ノ教育ハ甚ダヨク
 整ヒ、早シカラ學問ノ思想ヲ現シタ。幼年ノ
 時ハ甚ダ詩ヲ好ミ、後來ハ必ズ詩人ニナルデ
 アラウト云フ評デアツタ。十二歳ノ時古文學
 ナ修メ出シ、十八歳ノ時つりにていし大學ニ
 入り、嶄然頭角ヲ現シ、英文ノ詩デ一回モ賞
 與ヲ得タ。ソレヲハ即チ一八一九年書イタ
 「Joumpet」及ビ一八二二年ニ書イタ「夕暮レ
 (Evening)」ト題スルモノデアツタ。一八二二
 年 A. B. ノ學位ヲ取ツテ大學ヲ去リ更ニ法律
 ナ修メ、一八二六年狀師トナリ、一八二四年頃
 ニハ一方ニ於イテ詩人トシテ世ニ知ラレ、一
 五二五年諸所ノ雜誌ニ關係シ、みるどぬノ論
 ナドヲ出シテ世ヲ驚カシ、段段ト進歩シテ遂
 ニ文名ヲ一代ニ布シ様ニナツタ。一八三〇年

ニハ議會ニ入り、滔滔タル辯ヲ以ツテ敵ヲ蹂
 躪シ、議會ニ於イテモ一個ノ政治家トシテ當
 タル者ハ無カツタ。一八三三年其行ツタ演說
 ナドハ最も有名ナモノデ、今日モ記録サレテ
 書物ニ殘ル。一八五七年貴族ニ列セラレ、ばろ
 ぬノ爵ヲ賜ハリ、一八五九年十二月二十八日
 心臟病ヲ頓死シタ。一代ニ著ス所數多ク一
 ハ云ハレヌモノノ、其中デ第一ノ傑作ハ「英國
 文明史」デ世界開闢以來此上ニ出ルモノハ無
 イト云フホドノ歴史デアツテ、實ニ英國ノ歷
 史ニ一異光ヲ放ツモノ。眞ニ文章ノ立流ナノ
 ト、其評論ノ巧ミデ面白イノトハ誰デモ一讀
 シテ舌ヲ卷クハカリ、充分ニまこかれいノ才
 氣ハコレニ現レテキタ。コレニ對スル批難モ
 アルガ賞賛ノ聲ニ理モレテ仕舞ツタ。ソレカ

ラ學問ニ於イテハ如何ナル學者モ此人ホド能ク調ベテ隈ナク行キ渡ツタモノハナイ。ソレ故有名ナ英國百科全書ガ出版ニナル時ニハ此カカ實ニ其中ノ多分ヲ占メテ筆ヲ執ツタ。此方ニ力ヲ注イタタメ英國史ノ結末ニ力ガ薄クナツタノハ眞ニ残念ノコトデアツタト後世ノ批評家モイフ。評論ノ巧ミナ事ハ誰レモ一樣ニ認メル所デ、一步一步ニ切り込メテ入ル論法ハ此人ノ特色デアツタ。其文章チ云ハ何レモ燦爛タル文章デ今日モ教科書トシテ用キラレル。一生涯妻ヲ娶ラズ、妹ト中善ク暮ラシ全ク學者デ世ノ中ヲ過クシタ。容貌ハ非常ニ立派デ、笑フ時ハ小兒モ懐キ、怒ル時ハ三軍ヲ叱スル武士ナドモ恐レルクラサデアツタト云フ。

(二) まくべす、又、まくべざ
蘇國ノ王。だぬかぬ王ノ姻戚。一〇四〇年だぬかぬ王ヲ弑シ、遂ニ位ヲ奪ツタ、此事チ沙翁ガ有名ナ戯劇まくべすニ取り仕組ンダ。
(三) でえ、まらわべり
伊國ノ政治家、兼文學者。一四六九年五月三日出生。十一歳ノ時カラ早ク官途ニ就イテ名ヲ現シタ。其事務ニ當タツテハ鋭敏デ、且ツ果斷ノ質ニ富ミ。此人ガスベテノ事ヲ取り扱フニハ少シモ油斷ガ無ク、後カラ悔ユル様ナコトハ無カツタ。忽チノ中ニ官ヲ飛ンテ段段地位チ高メ、遂ニ一流ノ政治家トシテ歐洲列國ノ賞メ者ニナツタ。又文學ノ才モアリ、二三ノ作チモ書イタ。併シ乍ラ文學ニ於イテハ餘リ充分デナカツタ。脚本チモ書イタト云

フ。ガ、今日一般ノ伊國人カラハ寧ロ憎ガラレル方デアツタ。

(四) まくべらぬ

米國ノ武人。一八二六年十二月三日出生。一八四二年十七歳ノ時士官學校ニ入り、一八四六年其學校ヲ卒業シ、墨國ノ戦ヒニ士官トシテ現レ、段段ト世ノ中ニ立チ、一代ノ武人トシテ仰ガレタ。一八六一年同盟軍ノ大將トシテ七月敵軍ヲ破ツテ勇名ヲ轟カシタ。何時デモ寡イ兵チ以ツテ多數ノ兵チ破ルノガ巧ミデ近代ノ米人ノ中デハ屈指ノ人物ト仰ガレル。

(五) まくどる

一七六五年出生ノ佛國ノ武官。貴族。一八四〇年歿。

(六) まくどしゆ

英國ノ著述家、辯者、兼政治家。一七六五年十月二十四日出生。一七八〇年大學ニ入り轉シテ藥學ヲ修メ、一七八八年倫敦ニ移リ、一七八九年妻ヲ娶リ、ソレカラ社會ニ現レタガ、其容貌ガ如何ニモ麗シク、且ツ舉動モ閑雅デ紳士ノ風ヲ帯ビ、辯舌ナドハ中中愛敬ノアル所カラ忽チ交際社會ノ賞メモノトナリ、地位モ段段高ク、ソレカラ佛國革命ノ始マツタ時ニ一八九一年ばるくノ論文ニ對シテ議論ヲ試ミ、名モ漸ク高ク、一七九五年代言人トナリ、一般ノ法律ニ注意ヲシソレカラ傍ラ著述、傍ラ政治家、傍ラ辯者トシテ或ヒハ演説、或ヒハ論文ニ社會ノ事ヲ論評シ、一方ニ於イテハ學者トシテエでいびる、評論雜誌ニ投書ヲ試ミ、完全無缺ノ人ト仰ガレタ。エでいびる、雜

誌ニ出シタ「理論哲學進歩論」ト題スルモノハ非常ニ立派ナ論ヲ遂ニ是ガ英國ノ百科全書ノ中ニ轉載サレタ。一八三〇年其大著述「萬國史」ヲ著シ、一八三二年五月歿シタ。

(七) マックリウ(マックリウ) ヲ

米國ノ博物學者。一七六三年出生。歐洲ヲ漫遊シ、一八〇九年頃カラ著述ヲシテ世ノ中ニ現レタ。一八四〇年歿。

(八) マクハリス(マクハリス) (James)

蘇國ノ詩人。「Ossian」ノ翻譯ヲシテ世ノ中ニ聞ユエタ。一七三八年出生。一七九六年歿。其他ニ「Temora」ト云フ詩ガ評判デアッタ。

(九) マクハリス(マクハリス) (James Rirdseye)

米國ノ武人。一八二八年出生。一八六二年七月六日歿。

(一〇) マディソン(マディソン)

米國ノ第四ノ大統領。一七五一年三月十六日出生。一八三六年六月二十八日歿。政治家トシテ大統領トナッタ伎倆ハ重キテ云ハズ、哲學者トシテモ世ノ中ニ聞ユエタ。又憲法ニ對シテミタ評論ナドハ頗ル名高カッタ。

(一一) ミシイ(ミシイ)

羅馬ノ人。前七〇年頃出生。文學ノ保護者トシテ有名デアッタ。深ク古文學ニ通リ、其時ノ文學者ヲ優待シテ名聲ヲ布イタ人。前八年歿。

(一二) マヂ(マヂ)

葡國ノ航海者。航海ノ伎倆ニ富ンダ。一四七〇年出生。東印度ヲ探檢シ、一五一九年九月東印度ヘ行クニモ西ノ路カラシテ極西ヲ探檢

シテ有名デアッタ。後チニ閣龍ガ此人ノ爲タ跡ヲモ承ケテ米國ノ發見ニモ着手シタト云フ。

(一三) マス(マス)

一七八三年十月十五日出生ノ佛國ノ生理學者、兼醫者。一八一六年「生理學」ト題スル書物ヲ著シ、社會ニ知ラレ、ソレカラ大學ノ教授トシテ世ニ立ッタ。醫學ノ上ニモ種種ノ進歩

ヲナシ、此時代マデモ血液ノ循環スルトキハ動脈カラ循環スルニハ相違ナイガ唯動脈ガ烈シイ激動デ血ヲ送り遣ルモノト信マテサナノガ此時代ノ一般ノ説デアッタノヲ、此人ハ全クコレニ反對シテ、動脈ハ特殊ノ彈力ニ由ツテ血ヲ進メ遣ル事ト證明シタ。其大著ハ「生活ノ現象(Legons sur les Phenomene esse physiques de la Vie)」四卷。一八五五年歿。

(一四) マム(マム)

モハメツツ派ノ武人ノ屈指ノ人。ガズネバイン朝ノ創建者。九六九年出生。幼年ノ時カラ雄略ヲ現シ、遂ニ諸所ヲ征略シ、中央亞細ヤカラ掛ケテ彼方此方ニ轉戦シ、版圖ヲ擴メテ一國ヲ建テタ。其間ナド象ヲ遣ツテ非常ニ巧ニ戦ツタト云フ。一〇三〇年歿。

(一五) マル(マル)

米國ノ武人、兼有名ナ歴史家。一七六九年出生。マコーネレ(マコーネレ)ガ此人ニ對シテ評論ヲ試ミテ愈有名ニナッタ。一七九九年官ニ仕ヘテ波國ニ至リ波國ノ始末ヲ一卷ノ歴史ニ組ミ立テ、一八一五年英國ヲ出版シタ。其他ニモ主ナ著述ハ「一八二六年出版ノ「くらいふ傳」。一八三三年歿。

(一六) まるぶろぬしゆ

佛國ノ哲學者。一六三八年八月六日出生。幼年ノ時カラ退イテ靜ニ學問ヲスルコトヲ好ミ、朋友ノ交際ナドハ嫌ヒ、一六六〇年カラ僧トナリ、かるつ教ノ主義ヲ取り、一六七一年其「真理ノ探究」ト題スルモノヲ著シ、大イニ世ノ中ニ知ラレ全ク一個ノ哲學者トシテ仰ガレタ。はらむノ説ニ據レハ「此人ハ全クでかるつノ業ヲ受ケ繼イタノデ、氣象モ不偏不黨テ攻究ノ念ニ富ミ、志シモ高クアツタトイフ。一六八七年其主義ヲ一卷ニ纏メ、「哲學及ビ宗教ノ會話 (Entretiens sur la Métaphysique et la Religion)」ヲ著シタ。一七一五年歿。

(一七) もるつふらぬ

蘭國ノ著述家、兼地理學者。一七七五年出生。

主著「Annales des Voyages de la Géographie et de l'Histoire」。

(一八) まるぶす

英國ノ理財學者。一七六六年出生。一八三四年歿。一七九九年こづらぬノ主義ニ反對シ、人間ノ性質ノ完全ニツイテ非常ニ激論シ其始末ヲ一卷ノ書物ニ纏メテ世ノ中ニ現シ、人間社會ノ進歩ト人間ノ増殖トノ割リ合ヒヲ研究シテ大イニ世ノ中ニ鳴ツタ。即チ人間ハ幾何級數ノ割リ合ヒテ殖エ、人間ヲ養フベキ食物或ヒハ品物ナドハ數學級數ノ割リ合ヒテ増ス。雙方ソノ果テハ人間ノ食フモノモ着ル物モ無クナツテ、人間ハ餓死シナクテハナラヌト云ツタ。ソレカラ一八〇三年更ニ其議論ヲ確メテ一卷ノ書物ヲ作ツタ。今日ニ於イテ

(二一) まへ

米國ノ教育家。一七九六年、五月四日出生。家が貧デアツタマメ、苦學ハ尋常デナク、自ラ働ライテ自ラ書ヲ求メ、一八一九年、「人間ノ進歩」トイフ有名ナ演説デ名ヲ知ラレ、思想發達ノ理ヲ基トシテ子弟ヲ教育スベキ事ヲ説キ、一方ニ於イテハ法律家トシテ世ニ立チ、一八四八年議會ニ入り、一八五二年、あぬていおつちゆ大學ノ長トナリ、一八五九年歿シタ。

(二二) まへて

英國ノ地質學者。始メハ藥學ヲ修メ、其住居ノ近クニ鑛山ノ有ツタ所カラ遂ニ地質學ノ研究ニ手ヲ下シ、一八二五年既ニ廢滅ニ歸シタ古代ノ動物、いぐわのどぬヲ發見シF. R. S. トナリ、ソレカラ化石ノ研究ニ於イテモ深ク

モ一般ノ理財學者又するのすノ論ヲ信用スル人ハ一般ニ仰イタ。實ニ理財學者トシテハ非常ニ大キナ事ヲ云ヒ出シタ人デ、理財學ノ點於イテハけりト頷頭スル。一八一五年ニハ「Inquiry into Nature and Progress of Rent」一八一〇年ニハ「理財學原理 (Principles of Political Economy)」イツレモ大著デアツタ。

(一九) まるす

一七七五年出生ノ佛國ノ理學者。光學ニ熟シ、旁ラ軍器ニ種種ノ新案ヲ加ヘタ。少年カラ學校デ成績ガヨク、遂ニ大家トナツタ。主著述ハ「光線學」。一八一二年歿。

(二〇) ぶよ・もぬづびる

一六七〇年出生ノ蘭國ノ著述家。一七三三年歿。

蓋奥ニ入ツタ。主ナ著述ハ、いづれのどぬニツ
イテ論シタモノ。一八五二年歿。

(二三三) まぬぞおに

以國ノ小説家。一七八四年出生。一八六〇年
歿。大著ハ其歴史小説「I promessi Sposi」。

(二四) まるせらす

羅馬ノ武人。前二六六年出生。はぬにばるニ
抵抗シテ勇名ヲ揚ゲタ人。

(二五) まらいわ・てりい

獨國ノ皇帝。かゝる第六世ノ皇女。一七一七
年出生。一七四〇年父ノ帝ニ代ハリ、位ニ即
キ、二代ニ其名ヲ振ルツタ。其二代ノ大事業
ハ此女皇ノ統治ノ間ニ封建制度及ビ罪人拷問
法ガ廢サレタ事デアツタ。一七八〇年歿。

(二六) で・まりあ

班國ノ歴史家。一五三六年出生。一六二三年
歿。主ナ著ハ「西班牙國史」及ビ「班國文學
史」。

(二七) めえりあ

羅馬ノ武人。前一五七年出生。すしびおニ從
ツテ軍ニ出、ソレカラ社會ニ立チ、遂ニすらト
權ヲ争ヒ、功ヲ奏シタ。前八六年歿。

(二八) まるばらふ

英國ノ武人、兼政治家。貴族。一六五〇年出
生。容貌秀麗、才氣非凡、ヨッ人望ヲ集メ、一
六八九年佛國ト戦ヒ、勇ヲ示シ、ソレカラ大政
ニ參與シ、權威ガ一時ヲ傾ケ、後ナ時ノ女王ト
不和ニナツタ。一七三二年歿。

(二九) でふ・まるもぬ

佛國ノ軍人。貴族。一七七四年出生。一八五

(三二) まるす

羅馬ノ神。戦争、争亂ナドヲ掌ル。

(三三) まるていのお

一八〇二年出生ノ英國ノ雜學者。女性ノ作者
中、屈指ノ人ヲ評論、著作共ニ可ナリノ評判モ
有ツ。

(三四) まるていねず・でら・らお

班國ノ詩人、兼政治家。一七八九年出生。一
八六二年歿。其著述ノ屈指ハ、べにす一揆ヲ
記シタモノ。

(三五) まるへる

英國ノ作者、兼志士。其作ハ諷諭ニ長シタ。
一六二〇年出生。一六七八年歿。

(三六) めえりい

英國ノへぬガ第八世ノ皇女。新教徒ヲ虐待シ

二年歿。一八〇〇年まれんごノ戦争ニ勇名ヲ
揚ゲタ。

(三〇) まるもぬて

佛國ノ批評家。一七二三年出生。幼年ノ時ば
るてえるニ交リヲ結ビ、大ニ益ヲ得、一七四六
年、ほおぶノ「Rape of the Lock」ヲ佛語ニ譯シ、
ソレカラ二三ノ著作ヲ試ミテ後ナ、「Utopie」
ノ演劇脚本ヲ作り、後ナル貴族ヲ嘲ツタト
ノ事ヲ暫時獄ニ下リ、赦サレテカラハイヨイ
ヨ名ガ高ク、一時ニ仰ガレタ。前記ノ外ニ主
ナ作ハ「Les Incas」トイフ小説、及ビ「Eléments
de Littérature」。

(三一) まるけつ

佛國ノ宣教師。かなだ諸國ヲ漫遊シテ有名ナ
人。一六七五年歿。

タトテ有名ナ人。血ヲ好ム女王トノ綽號サヘ付ケラレタ人。一八五八年歿。

(三七) めえりいすてゆゑるつ

一五四二年出生ノ蘇國ノ女王。天成ノ麗質、自然ノ慈悲心、ヨシ部下ノ人望ヲモ得、才藝ニ秀デ、佛國ノ太子ノ妃トサヘナツタ。後チ權威ノ點カラ英國ノえりさべす女王ニ忌マレ、遂ニソノ手デ死刑ニ處セラレタ。此事ヲ聞イタモノ何レモ落涙シタトイフ。實ニ一五八七年。

(三八) まっせえな

佛國ノ貴族。拿翁ノ下ニ附屬シ、武人トシテ名譽ヲ輝カシタ人。一七五八年出生。一八一七年歿。

(三九) まっすいよぬ

佛國ノ辯者。専門ハ宣教師。一六六二年出生。

一七四二年歿。其法話ニ巧ミナノガ評判デ、ばるてえるナドモ稱賛シタ。

(四〇) もおりの

佛國ノ宣教師。一七六六年出生。一八一七年歿。其法話ニ有名デアツタ。

(四一) まざりいぬ

一六〇二年出生ノ佛國ノ大宰相。政治家トシテ權力ハ一時ヲ傾ケタ。一六六二年歿。容貌モ秀麗デ、ヨシ人ガ懐イタ。

(四二) ませば

蘭國ノ冒險者。一六四四年出生。一七〇九年歿。貴族ノ妻ト通シ、捕ヘラレテ國外ヘ放逐サレ、後チ露人ニ優待サレタ。

(四三) まつのうに

伊國ノ志士、兼文章家。一八〇七年出生。初

メ法律ヲ修メ、幼年ノ時二二三ノ雜誌ニ文學上ノ記事ヲ掲載シ、一個ノ文學者トシテ世ニ立ツタ。平生カラ自由主義ヲ愛シ、丁度其時ハ伊國ガ充分埃國其他ノ國ナドカラ無禮チ加ヘラレテホタ所デアツタ故慨然トシテ志シテ振ルヒ立テタ。一八三〇年頃カラ世間ニ現レ、或ヒハ演説、或ヒハ論文デ伊國ヲ何卒シテ自由ノ國ニ獨立サセヤウトイフ念デ人民ヲ勵マシ、人望モツイタガ又反對ノ側ノ人ニハ隨分攻撃モサレタ。段段社會ニ地位モ高ク、倫敦ニ駐在シテ居ル中一八四八年ノコトデアツタガ國ニ革命ノ亂ガ出來テ、ソレ故國ヘ歸リ、歸ツテカラ一ツノ政治ノ雜誌ヲ發兌シテ人民ヲ鼓舞シ、共和制度ヲ建テルコトニ盡力シタ。是カラハ全ク此人ガ社會ニ現レテ働イタ時代

デ隨分ト酷イ目ニモ逢ツタガ、遂ニ伊國チシテ自由ノ思想ヲ充滿サセルヤウニシタ。全クノ志士ト云フヨリハ寧ロ文人トシテ世ノ中チ鼓舞シタノデ、著述ナドモ其方ノ事ニ關シタモノガアル。一八五八年出版ノ「人間ノ義務」ト題スルモノハ此人ノ著述デ實ニ好文章デ且主意モ面白い。ソレ故一八六二年英國デモ翻譯ニナツタ。其後チ此人ノ傳及ビ著作シタモノナドヲ集メタモノガ六卷ニナツテ出版サレタ。一八四四年頃かあらゝるガ倫敦たいひす新聞ヘ寄書ノ中ニ此人ノ性質ヲ委シク載セタ。ソノ文ニ「數年間幸ニシテ此まっついにいト私ハ交際スル運ガアツタ。交際シテ見ル所、公平ニ評シテ、實ニ天才ト徳トノ備ハツタ人ル人デ人間ニ欠ク可カラザル尊イ念慮ハ何レ

モ持ツテキタ。實ニ近代ノ人物デ、義ノタメニ
身ヲ犠牲ニ供スルト云フ大膽ノ愛國心ニ富
テ居ルト。

(四四) でめ(Schmitt) 一五〇年
出生ノ人。ふるれぬすノ自由ヲ恢
復シテ有名ナ人。一五三七年暗殺サレテ歿シ
タ。

(四五) めらぬふとぬ(De Meulan) 一四九七年、二月十六日出生。獨
逸ノ宗教改革者トシテ聞コエタ人。父ハ鎧ヒ
ヲ造ル人デ、其子ニ能ク教育ヲ與ヘタ。十二歳
シ時大學ニ入り忽チ學位ヲ得、一五二二年更ニ
ツビんげぬノ大學ニ入ツテ學業ヲ修メ、其學
校ヲ出テカラウゐッてむべるぐノ大學ヲ希語
ノ教授トナリ、ふるてるト親友ノ好ミヲ結ビ、

ソレカラふるてるガ社會ニ現レテカラふるて
るヲ援ケテ大事業ヲナサシメタ。ふるてる
ガ聖書ヲ翻譯スル時ニモ此人ノ力が大イニ與
ツタ。ふるてる此人ノ生涯ふるてるト二身
同體デふるてるノ大事業ノ半分ハ此人ノ功
蹟デアツタ。全集ハ一五六二年カラ一六四年ニ
カケテラウゐッてむべるぐ出版サレタ。

(四六) めれぬですばるです(De Meulan) 一七五四年出生。法律ヲ修メ、
英國文學ニ通シ、大イニ英文學ノ趣味ヲ愛シ、
自國ニ入レヤウト盡力シタ。一七八〇年
「Bailio」ヲ著シテ賞與ヲ受ケ取り、全ク文學者
トナリ、大學デハ美術學ヲ教ヘテ評判ガアツ
タ。一八一七年佛國ヲ漫遊ノ途中デ歿シタ。
(四七) めさすふ(De Meulan)

佛國ノ批評家。一六二三年出生。初メ法律ヲ
修メ、暫時ノ間巴里デ代言人トナリ、ソレカラ
議會附屬ノ辯護人トナリ、其間常ニ文學ニ心
ヲ委テ、遂ニ文學者トナツタ。一六九二年歿。
傑作ハ「Ménagium」

(四八) めぬですすおぬ(De Meulan) 一七二九年獨逸出生ノ哲學者。家ハ貧窮デア
ツタ。ソレ故幼年ノ時ハ自ラ働イテ自ラ學問
修メタ。一七四五年伯林ニ移リ、數學ト哲學
トヲ研究シ、其哲學ハららにッつノ書物ニ據
ツタ。一七五四年れッすいんぐト交際ヲ結ビ
其紹介デ一ツノ書物ヲ著シ、續イテ「感覺論」
ト云フノ著シ、一七六七年精神不滅ノ論文
ヲ著シ、コレガ非常ニ喝采ヲ博シ歐洲各國ニ
翻譯サレタ。一七八六年歿。

(四九) めぬですすおぬばるとるでい(De Meulan) 一八〇九年出生ノ獨逸デ有名ナ音樂者。幼年
ノ時カラ音樂ノ技藝ハアリ、十歳ニナラヌ頃
既ニ伯林或ヒハ巴里デ公衆ニ開カセテ大イニ
喝采ヲ博シタ。一八四七年歿。今モ音樂チイ
フモノ其大家トシテ必ず指チ此人ニ屈スル。
(五〇) でめぬおぬ(De Meulan)

斑國ノ文學者、兼武人、兼公使。一五〇三年出
生。一五七五年歿。さらまぬか大學デ修業
シ、古文學、神學、及ビ民法ナドニ熟シ、其後
ちやわれす第五世ニ愛サレ、後チ公使トシテ
一五三八年へにすニ派遣サレ、此所デ其好ム
所カラ古代ノ希臘ノ書物ナドヲ集メ、段段研
究シテ遂ニ一個ノ大家トナツタ。ソレカラ羅

馬ナドニモ駐在公使トナリ、一五五四年班國ニ歸ツタ時、此時ノ王ハふひりッ^(一)第二世デ此人ト不和ニナツテ朝廷ヲ去リ、ソレカラ文學者トナツテ社會ニ立ツタ。數多ノ詩ヲモ作ツタ中デ一五五四年出版ノ「Lazarillo de Tormes」ナドハ有名ナモノデアツタ。

(五一) めんぐす

獨逸ノ畫工。一七二八年出生。一七四四年づれず^(二)王宮ノ附屬ノ畫工トナリ、一代ニ名譽ヲ轟カシタ。其畫ハ美麗ナモノデ、甚々細密ニ描クコトガ巧ミデアツタ。

(五二) めぬちこふ^(一)

露國ノ政治家、兼武人。一六七〇年出生。料理人ノ子デアツタ。彼得大王ノ愛顧ヲ得、遂ニ軍人トシテ世中ニ立チ、彼得大王ニ從ッ

テ彼方此方ニ戰ヒ、勇名ヲ轟カシタ。一七二九年歿。

(五三) まるさゆり^(一)

羅馬ノ神學ノ神。商業、利益ナドヲ保護シ傍ラ旅客ナドヲモ守ツタト云フ。

(五四) めりめえ

一八〇三年出生ノ佛國ノ小説家、兼歴史家。一八二五年班國ノ文學ヲ翻譯シテ社會ニ現レ、一八四一年「Colomba」ト云フ書ヲ著シテ大イニ喝采ヲ博シ、一八四四年學士會員トナリ、ソレカラ全ク文學者トシテ世中ニ立ツタ。主著ハ「La double Méprise」。一八七〇年歿。

(五五) めすまる^(一)

一七三三年すわびわ^(一)デ出生ノ學者。所謂「動物電氣催眠術」、即チめすまりす^(一)ヒ(催眠術)ヲ

發明シテ有名ナ人。初メ磁石ヲ種種ニ試験シ、ソレカラ此事ヲ發明スルヤウニナツタ。實ニ近代ノ大發明デ、此術ガ現レテカラ大イニ學術世界ヲ驚カシタ。一八一五年獨逸デ歿。一七九九年出版ノ「Mémoire de Mesmer sur ses Découvertes」ナドハ屈指デアツタ。

(五六) めたすたあすい^(一)

伊國ノ詩人。一六九八年出生。幼年ノ時カラ文學ノ才智ヲ現シタ。見ル人ガ孰レモ神童トシテ感心シ、或ル人ノ保護ヲ得テ愈々學問ニ力ヲ加ヘタ。一七一八年其保護ヲ失ヒ、ソレカラ

世中ニ現レ「Gli Orti Espiridi」トイフ脚本ヲ著シ非常ニ喝采ヲ博シ、其時代第一流ノ作者ト云ハレタ。ソレカラ種種ノモノヲ作り、遂ニちやわれず第六世ニ招待サレ、維那ニ行き、

皇室附屬ノ詩人トナリ、種種ノ脚本ヲ作ツテ名譽ハ一代ニ轟イタ。其主著作ハ「Olimpiade」及ヒ「La Clemenza di Tito」。此人ノ詩才ハぼる^(一)てえるナドモ非常ニ賞賛シ、或ル人ハ此人ヲ稱ヘテ伊國ノらしぬ^(一)ナドトモ云ツタ。

(五七) まい^(一)あるべ^(一)える

一七九四年出生ノ獨逸ノ音樂者。モト猶太人デアツタト云フ。始メテ演奏シタノハ「Arima-lesh」。ソレカラ世ニ知ラレ、一代カラ大イニ賞賛サレ、普國ノ王ノ傳ニツイテ其御用ヲ勤メタ。一八六三年歿。

(五八) め^(一)つ^(一)おふ^(一)あ^(一)ぬ^(一)て^(一)ス

伊國ノ博言學者。一七七四年出生。一八四九年歿。村ノ小學校ニ學ビ、傍ラ獨學シテ古學ヲ修メ、一八〇四年希語ト東洋語トヲばる^(一)ぬ

あて修メ、一八一四年カラ社會ニ現レ、外國人
ガ來タ時ハ何時モ此人ノ名譽ヲ聞イテ此人ヲ
尋テ、其言語ニ通シタ段ニ於イテハ孰レモ驚
イタ。一八三一年法王ぐりごり第十六世ニ招
カレテコレニ仕ヘ、博言學者トシテ世ニ聞コ
エタ。

(五九) みけらわぬちえろ

一四七四年三月六日出生ノ伊國畫工ノ名手。
世界開闢以來屈指ト云ハレル人。家ハモト貴
族デアツタ。ハヨメふるれぬすノ小學校ニ入
リ文法ヲ修メ、一四八八年カラ他ノ學問ヲ學
ビ、更ニ一轉シテ彫刻ヲ修メ、段段其時代ノ文
學者トモ交際シテ種種ノ說ヲ聞キ一方ニ於イ
テハ彫刻ニ長ケ一方ニ於イテハ畫工トナリ、
遂ニ一代ノ大家トナツタ。畫ニ當タツテハ眞

ニ精神ヲ籠メル人デ如何ナル材料如何ナル人
間デモ決シテ忽ニハシナカッタ。ソレ故其畫
ハ眞ニ活動スルクラサデアツタ。一旦畫ニ望
ンデハ幾タビモ書キ改メ、少シモ忽ニセズ、ソ
レ故時ノ帝王ナドカラモ色色ニ注文ガアリ、
らふあえるト相對シテ大名ヲ争ツタ。實ニ此
時代ハ伊國ニ非常ナ美術家ノ出タ時デ、今日
ニ至ツテモ伊國人ハ此時ヲ以ツテ伊國ノ飾リ
ニスルクラサデアアル。學ハズシテ眞理ニ通ズ
ルトハ此人デ動物ノ體格ナドヲモ知り、ヤガ
テ解剖學ヲ學ンデ骨格ナドヲモ研究シタ。其
畫、今日ニ至ツテハ何レモ巨萬ノ金デ價値モ
付キ、甚シイモノハ何百萬圓ト云フクラサノ
繪ガアル。殊ニ傑作ハ羅馬ノ寺ニアル「末期
ノ裁判」ト題スル宗教的ノ繪デ此繪ヲ描クニ

Enrod.]

(六一) みづるたぬ

有名ナ英國ノ學者。一六八三年出生。つりに
ていゝ大學ヲ卒業シ、法律家トシテ世ノ中ニ
立チ、傍ラ學者トシテ數多ノ著述ヲシテ或ヒ
ハ宗教、或ヒハ文學、或ヒハ批評家トシテ聞コ
エタ。其大著述ハ一七四一年出版ノ「しせる
ノ傳」。コレヲハまごかれイナドモ賞メタ。

(六二) みる (James)

蘇國ノ歴史家、兼政治家、兼理財學者。一七七
三年出生。一八三六年歿。初メえでいむばる
く大學デ學ビ、大イニ希語、哲學、殊ニ道德哲
學ニ通リ、一八〇〇年倫敦ニ移リえでいむば
るく雑誌其他ノ發刊ノモノニ原稿ヲ寄ゼ、一
八一七年カラ一九年ニカケテ「英領印度史」五

ハ八年間ノ星霜ヲ費ヤシ、其中ニ居ル人物ハ
凡ソ三百人ヲ超エテアツタ。唯唯人物ハ裸體
デ、如何ニモゴチヤチヤニ混亂シ、規律モ無
イヤウニ踞ツテサル者モアリ立ツテサル様モ
アリ、無茶苦茶ノヤウデアアルガ能クヨク視レ
ハ然ルヘキ體格ヲシテサタ。此人ノ小サナ繪
ヲハ畫工ノ模範トシテ西洋デ色色ナモノトシ
テ出版シテアル。一五六二年羅馬デ歿シタ。
不世出ノ美術家トシテ此人ニ對シテ誰レモ異
論ナイフ者ハ無イ。

(六〇) みつすきええびちゆ

波蘭ノ詩人。一七七八年出生。非常ニ愛國ノ
念ニ富ミ、其頃ハ露國カラ自分ノ國ヲ虐待サ
レテ居タ所カラ大イニ歎キ、人民ヲ鼓舞スル
氣デ詩ヲ作ツタ。其主ナ作ハ「Konrad Wall-

卷ヲ著シ、大イニ歴史家トシテ喝采ヲ博シ、英領印度ノ歴史家トシテ第一流ニ位スルモノト云ハレタ。ソレカラ「法律論」、「自由出版論」、「國民法律論」ナドヲ著シ、一八二九年其傑作ノ哲學書「人智論 (Analysis of the Phenomena of the Human Mind)」ヲ著マタ。一八二六年歿。

(六二二) みる (John Stuart)

一八〇六年五月倫敦テ出生シタ大學者。前ノ人ノ子。哲學者、兼理財學者トシテ世間ニ鳴リ渡ル。家庭テ父ノ教育ヲ受ケ、一八二三年頃カラ社會ニ現レ、其頃カラ既ニエデいむびるぐ評論雜誌、らゑすつみぬすたる評論雜誌ナドニ原稿ヲ寄セ、一八四三年其大著述「論理學」ニ卷ヲ著シ、一八四四年理財學ニツイテノ論文ヲ著シ續イテ一八四八年更ニ理財學ト社會

學トニ對照シテノ書物ヲ著シ、傑作トシテ世ノ中ニ知ラレ、其時代第一流ノ理財學者ト仰ガレタ。現ニ日本邊デモ經濟學者トシテ此人ヲ推スホドノ勢デアッタ。實ニ近代ノ大家デ、父モ學者、子モ學者、親子揃ッテ大名ヲ稱カシタハ非常ナモノデ、昔シカラ父ガ學者デアレハバ子ハ學者デア無ク、或ヒハ子ガ學者デアレハ父ハ何ンデモ無イトカデアアルニ此みるノ家ハ然ウデ無ク、實ニ不思議デアッタ。一八五〇年四十五歳テ始メテ妻ヲ迎ヘタ。其妻ハ非常ニ才能ニ富ンタ人デみるガ充分ノ選擇ノ上望ンタ人デアッタ。其他ニモ主ナ著述ハ「自由ノ理」ト題スル物デ、是等ハ日本ニモ出版ニナツテキル。一八四五年「はみる」とぬノ哲學ノ批評」ト云フ物モ哲學書トシテハ世ノ中ニ知ラ

レテキル。一八六五年議會ニ入り、一個ノ政治家トシテ殆ド敵モ無イクラキヲ評ヲ取ツタ。一八六九年ノ著述「The Subjection of Women」ナドモ有名デアッタ。

(六四) みるらる

蘇國ノ地質學者、兼文學者。一八〇二年十月十日出生。父ハ水夫デ一八〇七年みるらるガ五歳ノ時難船シテ死ンタ。幼年ノ時ハ村ノ寺院ノ學校ニ入り、其所デ能ク教育サレ、大イニ博物學ノ好ミヲ示シ、傍ラ文學ニ通シ、少年ノ時カラ詩ヲヨク作ツタ。ソレカラ轉シテ鐵山ニ心ヲ注ギ、石ヲ切り出ス所ナドニ行ツテハ幾ラカ賃錢ヲ得タ。コレガ抑モ地質學者トナル土臺デアッタ。猶諸所ヘ行キ、石ヲ切ルコトヲ業トシテ居ル中、段段地質ノコトニ心ガ注ギ、

遂ニ一八三五年其研究ノ結果トシテ北蘇國ノ形況ヲ記シタ書物ヲ著シ、非常ナ高評ヲ以ツテ迎ヘレレ、一八四一年粗砥石ニ就イテ委シク研究シテ其始末ヲ世ノ中ニ出シタ。ソレ故一代ノ間ハ半分ハ職人、半分ハ學者トシテ種種ノ新發明ヲ遺シタ。其體格ハ甚ダ健康デアツタガ過度ニ勞働シ、而モ心ヲ非常ニ遣ツタタメ、早ク衰弱シ、遂ニ一八五六年發狂シ、短銃ヲ以ツテ自殺シタ。主ナ著述ハ其後一八五七年出版ニナツタ。

(六五) みるまぬ

英國ノ詩人、兼歴史家、兼神學者。一七九一年出生。一八六八年九月歿。主ナ著述ハ宗教ニ關スルモノノ外悲劇「Ennio」デ、是ハ一八一五年ノ出版デアッタ。

(一六六) みるたぬ

世界ヲ屈指ノ大詩人。沙翁ヲ除イテハ英國ノ文學者中此人ノ右ニ出ル者ハ無イト云フ人。一六〇八年十二月九日倫敦デノ出生。幼年ノ時ヲ教育ハ土地ノ宗教家ノ手ニ成リ、少年ノ時カラ拉丁語ニ熟シ、拉丁ノ詩才ヲ現シ、一六二三年みるたぬガ廿六歳ノ頃ニ作ツタ讚美歌ナドハ今日ニ至ツテモ傑作トシテ仰グ。人トナリ容貌極ハメテ麗ハシク、眞ニ婦人ノヤウニ思ハレタ。けいふりぢぢ大學ニキル頃ハ其玉ノヤウナ顔、其黄金ノヤウナ髪——而モ長ク後ニ垂レテ、天鵝絨ノ服ヲ着ケテ居タ姿ハ天晴レ一個ノ貴公子デ、大學ノ貴婦人ト渾名ガ付イタ。學校ニ於イテノ成績モ宜ク、文學ニ於イテモ敵ハ無カッタ。一六二八年B.A.ノ學

位ヲ取ツテ卒業シ、一六三二年續イテM.A.ノ學位ヲ取り、其頃最早詩人トシテ世ノ中ニ聞コエテ居タ。一六三二年學校ヲ去ツテ家ニ歸リ、其所ニ五年間滞マリ、尙心ヲ潜メテ語學ヲ研究シ、傍ラ音樂ヲ愛シタ。其音聲ハ甚ダ愛ラシク、且ツ優シク、殊ニ風琴ヲ巧ミニ彈シタ。學校カラ退イテキル中「Comus」、及「L'Allegro」、及「The Penseroso」及「Lycidas」ナドノ詩ヲ作ツタ。此中デ最後ノ詩ナドハ非常ニ傑作デアッタ。其友人ガ旅行ノ途中デ海ニ陥ツテ溺死シタ、ソレヲ非常ニ悲シム餘リ作ツタ詩デ、其友ト云フノハ以前同シ學校デ善ク交際シ、而モ互ヒニ詩ヲ作ツテハ研究シタ無二ノ友達デアッタ。其人ガ無殘ニモ死ンダト故其詩ノ中ニ「嗚呼此人ハ今ニ大家トナル

ダラウト思ツタノニ哀レナ死ニ方ナシタ、實ニ詩神モ怨メシイ」ト云フ趣キヲ最モ巧ミニ、且柔カク、而モ優シク一讀シテ涙ノ零レル様ナ感情ヲ描イタノデ中青年ノ作トハ思ハレナカッタ。トよぬそぬハ此「Lycidas」ヲ非常ニ攻撃シ「眞ニ田舎シミヲ野暮ナ調子デ下等ナモノ」ト酷評シタガ、世間一般ハ此事ニ同意シナカッタ。一六三二年羅馬、ふるれぬす、ねえぶるすナドヲ歴遊シ、其時ノ學者ガリレホト交際シ、旁羅馬ノ跡ヲ尋テ漫ニ感慨ノ念ヲ催シタ。ソレカラ諸所ヲ歩イテキタガ其間ハ少シモ詩ヲ作ラナカッタ。何故ニみるとぬガ詩ヲ作ラナカッタカト云フト、若シモ作ツタナラハ全世界ヲ埋メルホドノ大作ヲシヤウトノ念ガアツタノデ、ソレ迄ノ間ハ才ヲ充分

ニ貯ヘテキ、丁度弓ヲ滿月ノ様ニ引キ固メル迄ハ發セヌ積モリデアッタ。ソレ故「Lycidas」ヲ作ツタノハ其文句ニモ述ベテアル通り、實ハ此詩ヲ作リタクハ今ハ無イガ何ト云ツテモ極極親シイ親友ガ歿シタ故ニ作ルト云フ趣キガ書イテアッタ。是デ見デモ後ニ「失樂園」ト云フ大著述ヲ著シタガ、ソレニ取り掛カル迄ノ間ハ充分ニ力ヲ溜メテ置カウト云フ決心デアッタ。ソレ故餘リ是ヲト云フ作モ無ク、唯唯退イテ語學ヲ研究シ、傍ラ哲學ニ心ヲ傾ケ、世ノ中ニハ更ニ聞コエズ、力ヲ藏メテキタ。實ニ此力ヲ藏メテ居タト云フガみるとぬニ取ツテ非常ニ宜イコトデ、モン其間ツマラス物ヲ著シテ居タラハ力ガ彼方此方ヘ散ツテ是ヲト云フ物が出來ナカッタデアラウ、或ヒハ出來

タカモ知レヌモノノ、詰マテヌ物ヲ作ツテ井
 ル中ニ筆力ガ鈍ツテ仕舞ヒテモシタラハ残念
 デアツタコ此みるとぬノ此決心ハ甚ダ善イコ
 トデアツタ。「失樂園」ハ實ニみるとぬノ大著
 述デ、天下敵モ無イト云フ作、是ヲ昔コシテハ
 希國ノ「いりあづ」是ヲ今ニシテハ英國ノ
 「失樂園」ト相並ンデ賞セラレルモノデ、最早
 此上ニ出ル名作ハ無イト云フ、ソレダケノ物
 ナ著スカラニハソレダケノ支度ハ無クテハナ
 ラヌ。眞ニみるとぬノカソレ迄休ンデ居タノハ
 其支度ナスルタメデアツタ。勿論詩バカリデ
 無ク哲學ニモ最モ深ク心ヲ注ギ、傍ラ政治上
 ノ意見モアリ、無上ノ自由主義ヲ取り、嚴酷ニ
 時ノ政治ニ反對シタ。丁度此時ハ英國ニハ有
 名ナ暴虐ナ王^{チャールズ第一}やあれすガ亂暴ナ政治ヲシタ

時代デ、政府ト議會トノ間兎角折リ合ハズ、從
 ツテ衝突モ烈シク、ツマリハ天皇ト議會トノ
 衝突ニナツタ。人民ハ孰レモ憤ル。世間何ソ
 トナシ喧シクナリ遂ニくろむろむるト云フ人
 物ガ現レテ人民ノ味方ヲ取ツテ政府ニ抵抗シ
 タ。是ガ全ク英國ニ自由ノ戰爭ノ始マツタ次
 第デ此時くろむろむるノ下ニ附イテくるひ
 うる^てノタメニ其主義ノ材料ヲ與ヘタノハ全
 シ此みるとぬノ力デアツタ。實ニ自由主義ニ
 於イテハ熱心ナ人デ、帝王ヲ見ルコト塵埃ノ
 ヤウニ思ヒ、常ニくろむろむるヲ援ケテ充分
 政府ヲ攻撃シタ。ヤガテくろむろむるモ歿シ
 タ跡ハ國ガ元ノヤウニ戻ツテちやあれすノ皇
 子ガ即位シタ。今ハみるとぬモ日影者ノ身
 デ、彼方此方ヲ逃ケ廻ツテ居タ、ソレモ何故カ

ト云フト、決シテ命ガ惜シサニ逃ケタノデナ
 シ、平生カラ抱ク考ヘテ天晴レ大著デ世界ヲ
 蹂躪シテカラ世ヲ去ラウト云フ念ガアツタ故
 デアツタ。みるとぬノ性質トシテ勉強ハ非常
 デ、朝ハ夏ナラバ四時ニ起キ、冬ハ何時デモ五
 時ニ起キル。五時ニ起キテカラ聖書ヲ讀ンデ
 カラ學問ニ取り掛カリ、且ツ修メ、且ツ探リ、
 少シモ机ノ前ヲ去ラズ、モシ去ルコトガアレ
 バ僅ニ運動スル位デサモナケレバ讚美歌ヲ謠
 ツテ居タ。みるとぬノ歿後其近所ニ居タ人ノ
 話シニ據レバ、深夜みるとぬノ書齋ノ窓カラ
 洋燈ノ光リガ輝イテ居タノハ、毎夜ノコトデ、
 一時コナツテモ一時コナツテモ光リガ消エヌ
 コトガアリ、兎モスレバ徹夜ミタコトハ幾タ
 ビ有ツタカ知レヌ位デアツタト。ソレダケニ

力ヲ込メテ居タ所カラ思ヘバ「失樂園」ノヤウ
 ナ大著述ノ出來タノモ至當ノ次第デアル。傳
 ヘル所ニ據レバ一生涯ノ中ニ安眠リニ付イ
 タノハ一晝夜ニ殆ンド二時間カ三時間、非常
 ニ精力ガ強カツタカハ知レヌモノノ、遂ニ健
 康ヲ害ヒ、醫者カラモ讀書ヲ禁セラレタ。ガ、
 止メラレズ、其果テハ眼ヲ損シ、政府カラノ尋
 子者ニナツテ彼方此方追ハレテ漂泊スル頃ハ
 哀レニモ盲人トナツタ。而モ盲人ニナツタノ
 ミナラズ、土臺ガ落人ノコト故財政ノ困難ハ
 云フ迄モナシ、實ニ悲ムベキ境界ニ陥ツタ。
 其間始終娘ガ世話ヲシテ井タ。併シ乍らみる
 とぬノ胸中ハ綽綽トシテ餘裕ガアツタ。追ハ
 レテモ逃ケテモ一向頓着ナシ、唯唯一心道理
 ナ究メ、ソレヲ詩ニ現サウト云フ念デ、苦シイ

所ニアツテモ更ニ驚カズ、目ハ無カッタガ黙
想ニ餘念ナク、其中ニ自分ノ命モ卒ルト云フ
コトヲ知ツテカラ愈其大著ニ筆ヲ取り出シ
タ。筆ヲ取り出シテモ自分ニ書クコトハ出来
ズ娘ヲ傍ニ置イテ自分ガ口デ文句ヲ作ツテ娘
ニ筆記サセ、一節ガ終ルゴトニ讀ミ返サセ、且
ツ聞キ且ツ謠ヒ、ソレカラシテ添剛シタ。其
苦心ハ實ニ尋常ナモノデ無カッタラウト云
フ。ソレ程ノ苦心デ書イタモノデアレバ晦澁
讀ミ惡クツテ溜マラナクアリサウナモノガ、
爰ツ圖ラン目ノ明イテキル人ガ企テ及バヌ位
ノ名句デ、如何ニモ調子ガ柔カク、且ツ立派
デ、而モ其詩ノ意味ニ於イテハ敵モナカッタ。
此「失樂園」ニ就イテハ成ル程多少ノ批難モア
ルモノノ、然シ乍ラ千古ノ名作トシテ誰レモ

異論ヲ云フモノハ無ク、前ノ「Judas」ヲ酷ク
評シテ田舎者ノ様ナ口吻ト云ツタトよぬそぬ
スラ矢張り此「失樂園」ヲ評シテ「英國第一ノ
作」トサヘ云フ位デアツタ。其初メハ人間ノ
欲念煩惱カラ遂ニ眞ノ光リヲ失ヒ、いいでぬ
ノ花園デ木ノ實ヲ盗ンデ食ヒ、ソレカラいふ
トあだむトガ神ニ見放サレルト云フダケデア
ルガ、其間ニ魔物ガ出テ天帝ノ王宮ニ迫マリ、
或ヒハ又種種ノ物ニ形ヲ變ヘテ世ノ中ノ罪
惡ヲ造リ、人間ノ煩惱ヲ増ヤシ、旁此世界ヲ暗
黒ノモノニシヤウト云フ所デ其所ニ正理ガ現
レテソレト戰ツテ變幻出沒眞ニ其思想ノ立派
ナコトハ口ニモ云ヒ盡クサレヌ位デアツタ。
併シ乍ラ此詩ガ出来テカラ出版シヤウト思ッ
タガ、如何ニモ時世ニ目ノ無イニハ仕方ナク、

是程ノ大著述デアリナガラ書肆ニ見セタ所
ガ、サシタル物デ無イト見做シテ僅カ五磅(我
ガ三十圓程)ハカリテ原稿ヲ引キ取ツテ出版
シタガ、更ニ世ノ中ノ喝采ヲ博シ得ナカッタ。
果タシテ書肆ノ見タ通り社會デモ唯唯分カラ
ヌ作ト云フダケデアツタ。みるどぬノ詩ハ始
メテノ頃ノ作ノ方ガ却ツテ宜イト云ハレ、此
老手ニナツテ丹精シタ此不朽ノ大傑作ガ却ツ
テ惡評ヲ蒙ツタ。其儘版ヲ重チズ、塵芥ニ塗
レ、古本屋ノ店ニ曝サレタ。みるどぬノ失望
ハ思ヒ遣ツテモ哀レデアツタ。後ニみるどぬ
ガ死ンデカラ此詩ノ價值ガ分カツタノデ眞ニ
みるどぬ自身ニハ自分ノ詩ガ果シテ今日ノヤ
ウニ大喝采ヲ博シタモノカドウカハ知レナカ
ッタ。是程ニ肝腦ヲ碎イタニ拘ハラズ高評ヲ

博シナカッタノハ全ク世間ニ目ノ無イ故テ、
漸ク少年ヲ經ルニ從ツテ益光リヲ放ツヤウニナ
ツタ。此「失樂園」ノ他ニ傑作ハ數多アル。又
文章ニ於イテモ「自由出版」或ヒハ「基督教ノ
論」、オヨビ「自由主義ノ論」ナドハ何レモ其作
デ、今日ニ至ツテモ保存サレル。みるどぬノ
詩ニ就イテハトよぬそぬ、まこおれい、はらむ
ナドノ大家ヲ始メ色色ノ評ヲ挾マヌモノハ無
イ位デアツタ。一六七四年十一月八日歿。其
末期モ非常ニ穩カデアツタ。
(一六七) みるどぬ。一名、あトあ
羅馬ノ神學ノ女神。才智、技術、學藝、思想、發
明ナドノ保護ヲスルト云フ。
(一六八) でふ。みらばお
有名ナ佛國ノ辯者、兼政治家。一七四三年三

月九日出生。其家ハモト伊國デアツタ。十五歳ノ時巴里ノ學校ニ入り、早ク學生トシテ善イ成績ヲ現シ、近古ノ言語ニ通シ、數學ハ殊ニ深ク、傍ラ音樂ト美術トニ通シタ。父ニ勸メラレテ一七六七年兵役ニ入り、其次ギノ年若氣ノ至リカラ或ル婦人ト通シ、其タメニ罪ヲ受ケ、牢ニ入レラレ、一七六九年赦サレテ出陣シ非常ニ名譽ヲ輝シ一七七〇年立身シテ國ヘ歸ツタ。一七七二年妻ヲ娶リ、ソレカラ其有名ナ著述「壓制政治論」ヲ著シ、捕ヘラレテ獄ニ繋ガレ、出テ後チハ一個ノ政治家トシテ世ノ中ニ許サレ、人望モアリ、一七八三年カラ八年ニ掛ケテ英、佛、獨逸國ナドヲ漫遊シ、一七八四年政治ニ就イテノ論文ヲ著シ、ふりいづりッム大王ヲ批評シ、一七八九年頃ハ既ニ世

ノ中ニ現レタ。ソレカラ革命ノ戰ヒニ加ハリ、一個ノ領袖トシテ仰ガレ、貴族ヲ全廢スル說ヲ取り、烈シク政府ニ抵抗シタ。歿年ハ一七九一年四月二日。歿スル時其邊リ近ク居ル者ニ向カヒ、「永久ノ眠リニ今行ク。此永久ノ眠リヲヨク受ケラレルヤウニ花ノ薫リテ吾レヲ慰メロ」ト云ツタ。近代ノ政治家ノ中デハ屈指ノ人物デ、嚴格ナ主義ヲ取ツテ苟モ撓ラズ屈セズ、自身勉強シテ怠ラナカッタ。

(六九) みづら、又、みずらす

一七四四年倫敦テ出生ノ英國ノ歴史家。法律ヲ修メ、歴史家トシテ社會ニ立ツタ。一八二七年歿。主ナ歴史ハ「希國史」、「軍隊史」、他ニモ言語學ノ著述「言語ノ一致」ナドガアツタ。

(七〇) みずら、又、みずらす

古代ノ波國ノ神。太陽ノ神ニ配スル。光リ、考ヘナドヲ保護スルト云フ。

(七一) もはむめつ、又、まほめつ

有名ナ人傑。寧ロ、宗教家ト云フヨリハ政治家ノ方。五七〇年頃めッカニ生マレタ。ソレカラ暫時ノ間ノ履歴ハ分カラヌ。人トナリ勇武デ遂ニ一個ノ宗教家トナリ、一派ノ宗教家トシテ今日モ殘ツテキル。能ク東洋諸國ヲ席卷シ、大名ヲ轟カシタダケアツテ——釋迦ニ就イテ色色ノ奇談ガアル通り——此人ノ生マレタ時ノ事ニモ面白イ説ガアツタ。其生マレルヤ否ヤ、天ヲ指シ「神ハ外ニ神ハ無イ。其豫言者ハ自分デアアル」ト云ツタト云フ。幼年ノ時カラ一派ノ巨魁トナル伎倆ハ現レテキテ、其言フコトニモ驚クベキコトモアリ、人ニモ

憎ガラレ、殺セト云フ命令ヲ受ケタガ、運ガヨクテ其事ヲ免レ、十二歳ノ頃ニナツテハ叔父ニ從ツテしりわニ商業ニ出掛ケル途中、亞刺比亞ノ僧ニ逢ヒ、深ク心ヲ動サレタ。二十歳ノ時叔父ニ云ヒ付ケラレ、殘ラズ其商業ノ跡ヲ受ケ取り、商賈ニ身ヲ委テルコトニナツタ。暫クノ間ハ商人トシテキタガ如何ニモ信用ガ厚ク、社會ニ對シテノ受ケモ宜ク、段段ト世ノ中ニ現レルヤウニナツタ。其間自身ノ唱道スル一種ノ哲學ノ趣味ヲ考ヘ出シタ。四十歳ノ頃迄ハ充分ナコトハ無ク、ソレカラ後チ偶像靈拜ヲ攻撃シタ。數多ノ人モ賛成シ、一派ノ隊ヲ組ミ、弟子ヲ連レテ諸所ヲ漫遊シ、其國國ヲ説イテ歩イテ或ヒハ烈シイ攻撃ニ逢ツタガ破邪顯正ノ腕ヲ振ルヒ、亂暴ノ振ル舞ヒ

ノ下カラ慈悲ヲ現シ、信者モ殖エ、帝王ナドモ信ズルヤウニナリ、旁國ヲ切り取ル程ノ大事業ヲナシ、終ニ世界ノ屈指ノ人トナツタ。其人望ヲ繋グ段ニ於イテハ甚ダヨク、婦人ナドモモ懇切デ、此人ニ懐カナイ者ハ無カツタト云フ。素リ智力ニ於イテハ非凡ノ人物デ、能ク人ヲ視ル明モアリ、其哲學ト云ヘバ哲學、其主義ニ於イテハ取ルコトモナイ宗教デアルモノ、人物ハ素リ傑出ノ人物デアツタ。今日ノ道德カラ云ヘバ一個人トシテ道德上ノ缺点ハ中中アリ、數多ノ妾ナドヲ貯ヘ、ソレデ天下ヲ横行シ、神ヲ土臺ニシテ自分ノ主義ヲ擴メ、天下ヲ切り取ラウトシタ段ニ於イテハ一個ノ猛烈ナ好雄ト云フヨリ外ハナイ。ソレ故後世ニ於イテモ宗教家ト見做サズ、豪傑、英雄、軍

酷シク云ヘバ好雄トシテ見做ス。

(七二) もおれすこつ

蘭國ノ博物學者、兼生理學者、一八二二年出生。藥學ト博物學トヲ修メ、一八四五年博物學ニ關係シタモノヲ著シテ、一個ノ大家トシテ仰ガレル其主作ハ一八五六年出版ノ「光線及生命(Licht und Leben)」ト題スルモノデアツタ。

(七三) もりえる

有名ナ佛國ノ文學者、兼俳優。コトニ滑稽ノ作ニ富ソダ。一六二二年一月十五日出生。一六七三年歿。始メハ哲學者ガせぬでいニ就イテ學ビ、ソレカラ一轉シテ文學者トナリ、俳優トナリ、諸所ニ技藝ヲ演マテ喝采ハ非常デアツタ。其一代ニ作ツタ著述ノ主ナモノハ

「L'Etourdi」及「Précieuses ridicules」ナドデ、

此最後ノ作ハ其時代ノ風俗ノ虚飾ニ過ギタノヲ嘲ツタモノデアツタ。其他ニモ主ナノハ「Sganarelle」「Ecole des Maris」「Pantoufle」及「Les Facheux」ナド文學史ニ於イテ大著ノ名ヲ博スルモノデ、佛國ノ文學ノ中デ最モ有名ナ位置ニ位スル。其作ハ如何ニモ可笑シク、吹キ出スヤウナ中ニ眞理ヲ含ミ、人ヲ攻撃スル腕ナドハ非常ニ鋭クアツタ。

(七四) もぬすぶ

有名ナ佛國ノ人。一七四六年出生。幾何學ニ熟シテ「Descriptive Geometry」ノ發明者。一八一八年歿。

(七五) まぬく

英國ノ武人。一六〇八年出生。貴族デアツタ。

くろむらゐるノ手ノ下ニ屬イテ大イニ名ヲ轟カシタ人。一六七〇年歿。

(七六) まぬろか

米國ノ政治家。合衆國ノ第五ノ大統領。一七五八年四月二十八日出生。一八三一年七月四日歿。

(七七) はぬ・もぬす

白國ノ化國者。一七六五學出生。一八四二年歿。化學ニ於イテハ頗ル發明シタ所ガアリ。一八〇二年「電氣學原理」、一八一八年「哲學的化學原理」、一八三五年「草樹培養法」ナド。

(七八) もぬたぐ

有名ナ英國ノ女性ノ文學者。一六九〇年頃出生。小説家ふひるでいんぐノ從弟。幼年ノ時カラ才智ヲ現シ、一七二二年もぬたぐト云フ

人ニ嫁シ、ソレカラ後チ文學者トシテ世ニ聞
コエタ。主ナ著述ハ「Town Eloques」ナド。一
七六一年歿。

(七九) でふ・もぬてえぬ

佛國ノ哲學者。一五三三年、二月二十八日出
生。父ハ貴族デ、幼年ノ時ハ能ク教育ヲ受ケ
タ。早ク拉丁語ニ熟シ、最モ各國ノ言語ニ渡
リ十三歳ノ時ばるどおノ大學ニ入ツテ法律
ヲ學ビ、一五四四年其二十二歳ノ時ハ既ニ判
事トナリ、一五八〇年哲學上ノ論文ヲ著シ、非
常ニ評判ヲ得、ソレカラ歐洲各國ヲ漫遊シ、雜
誌ヲ發兌シ、巴里ニ至リ官ニ仕ヘ、其後チハ全
クノ哲學者トシテ世ニ立ツタ。

(八〇) でふ・もぬたるむべえぬ

一八一〇年倫敦デ出生ノ政治家。モト佛國人

デ、巴里デ學問ヲ修メ、一八四三年白國ノ婦人
ト結婚シ、政治家トシテ世ノ中ニ現レ、數多ノ
著述ヲシテ世ニ聞コエタ。一八七〇年歿。主
ナ著述ハ「英國ノ未來ノ政治界」ナド。

(八一) もぬてくこり

一六〇八年出生ノ伊國ノ武人。其時代ノ屈指
ノ人物トシテ仰ガレタ。軍ヲ用ルコトガ如
何ニモ巧ミデアツタ。一六八一年歿。兵法書
ヲ著シタ。

(八二) でふ・もぬてすくら

一六六九年一月十八日出生ノ佛國ノ著述家。
幼年ノ時カラ學問ヲ好ミ、兩親ニ叱ラレル程
書物ヲ讀ンダ。一七二二年波國ノ文學ヲ評
シテ世ノ中ニ知ラレ、ソレカラ文學者トシテ
社會ニ立チ、一代ニ名譽ヲ轟カシタ。一七一

五年歿。主ナ著述ハ「羅馬史」、「法律ノ精神」
ナド。

(八三) もぬつごめり

一七七一年蘇國ヲ出生ノ詩人。一八五四年歿。
主ナ著述ハ「Sheffield Register」及ビ「瑞國ノ漂
流人」。

(八四) もぬていす

伊國ノ詩人。一七五三年出生。一八二八年
歿。一七八五年始メテ「Aristodemo」トイフ悲
劇ヲ著シ世ノ中ニ喝采ヲ博シ、續イテ一七九
三年「Bassviliana」ヲ著シ、一代ニ仰ガレタ。

(八五) もぬつらくらわ

佛國ノ數學者。一七二五年出生。一七九九年
歿。數學者トシテ一代ニ聞コエタ。其主ナ著
述ハ「一七五八年出版ノ「數學史」」。

(八六) もあゐる

愛國ノ詩人。一七七九年出生。幼年ノ時ツリ
にていゝ大學ニ入り、非常ニ名譽ヲ轟カシ、一
八〇一年あゐくれおぬノ詩ヲ翻譯シテ大イニ
社會ノ喝采ヲ博シ、ソレカラ一八〇六年自分
ノ小サナ詩ヲ集メテ出版シ、續イテ一八一二
年「Lalla Rookh」ヲ著シ、非常ニ名譽ヲ博シ、續
イテ「The Twopenny Post-Bag」、續イテ一八一
三年「Loves of the Angels」ナドヲ著シ、一八一
五年ニハ「しえりだぬ」ノ傳、一八三五年ニハ
「愛國ノ歴史」ナドヲ著シタ。一代ノ傑作ハ前
云ツタ「Lalla Rookh」。はずりつゝハ此人ヲ評
シテ「自然或ヒハ人界ノ詩人デハ無イ。唯極
愛ラシイ詩人デ其描ク所ノ美モ最モ小サナ限
リ、婦人ナドガ顔ヲ飾ルヤウナ美デアツタ」。

(八七) であらう。

斑國ノ狂言作者。一七六〇年出生。一八二八年歿。斑國ノモリエルト云フ名ガアル。主ナ作ハ「老人ト少女」(El Viejo y la Niña)「テ、コレガ非常ナ傑作デアツタ。其他ニモ「El Barón」及ビ「處女ノ左様デム」イハメ(Si de las Ninas)」。有名ナ英國ノ武人。一六五八年出生。一七三五年歿。

(八八) もるたぬ。

英國ノ哲學者、兼政治家。一四八〇年出生。判事ノ子デアツタ。十五歳ノ頃貴族ノ家ニ仕ヘ、一四九七年おくすふをるづ大學ニ入り、希語ヲ修メソレカラ學校ヲ去ツテカラ法律ヲ學ビ、法律家トシテモ哲學者トシテモ社會ニ

開コエタ。一五〇二年始メテ妻ヲ娶リ、後チ妻ニ死ナレテ更ニ別ノ人ヲ娶ツタ。丁度其時代ハへぬり八世ガ王トナツタ時デへぬり八世トあぬね・ぶらうりぬトノ結婚ニ不賛成ヲ表シタ所カラ一五三四年四月王ニ怒ラレテ牢ニ送ラレ、一五三五年七月六日斬罪ニ處セラレタ。哲學者トシテモ、政治家トシテモ一個ノ人物デアツタ。著述モアル。拉丁語ヲ「Lingua」ナドチ著シタ。ソレカラ一五三三年ニ著シタ「The Apology of Sir Thomas More」ナドガ傑作トシテ遺ル。

(八九) もある。

一七六三年八月十一日出生ノ佛國ノ武人。始メ法律ヲ修メ、其後チ一轉シテ武人トナリ、大イニ勇名ヲ轟カシタ。一八〇〇年五月十萬人

ノ軍勢ヲ以ツテ烈シク埃國ノ軍ヲ破ツテ名ヲ揚ゲタ人。一八一一年戦ヒテ傷ヲ受ケテ歿シタ。

(九一) もある。

米國ノ發明者、兼技術家。一七九一年四月出生。一八一〇年二十歳ノ時之ニ入テ大學ヲ卒業シ、英國ニ行キ、繪畫ヲ修メ、一八一五年國ニ歸リ、畫工トナツテ暮ラシ、一八二九年歐洲ヲ漫遊シ、同三二年國ニ歸リ、其途中デ電信ノコトナドチ人カラ聞キ、歸ツテカラ電氣ノ研究ニ餘念無ク、遂ニ今日云フ電信機ヲ發明シ、一

八三七年議會ニ其コトヲ提出シ、其架設ヲ求メタガ議會デハ詰マラスコトヲト卻ケテ受ケ取ラズ、ソレ故一八三八年方向ヲ轉シテ英國ニ渡リ、專賣特許ヲ求メヤウトシテ又却ケラ

レタ。丁度此前年英國人ノはいつすどかぬト云フ人ガ機械ハ違フモノノ同シヤウナ目的ノモノヲ發明シタ所デアツタ。一八四三年ノ頃ニナツテ漸ク米國ノ國會モ此人ノ云フコトヲ聞キ、三萬圓ダケチ支出シテラをしぬたぬトはるていもあるトノ間ニ架ケテ實驗スルコトニナツタ。果タシテ旨イ結果ヲ得テ遂ニ今日ノヤウニ國トシテ設ケヌ國ハ無イヤウニナツタモ全ク此人ノ苦心デアツタ。一八五七年歐洲諸國カラ釀金シテ四十萬ふらんヲ其發明ノ慰勞トシテ贈ツタ。

(九二) もるたぬ。

米國ノ博物學者、兼醫者。一七九九年一月二十六日出生。一八二〇年廿二歳ノ時へぬしるばにわ大學ヲ卒業シ、諸所ノ大學デ研究ヲ遂

ゲ、遂ニ一個ノ大學者トナツタ。米國ノ地質及ビ博物學ナドヲ研究シテハ世界ノ學者ニ隨分ト材料ヲ備ヘ、地質學、動物學、金石學、古物學ナドノ研究ニ於イテハ今日ノは、くすれいナドモ大イニ此人ニ援ケラレタ。一代ノ著述ハ皆博物學ニ關係シタコトデ、而モ古物學ノ分子ヲ孕ンデキル。米國ノ學者ノ中デハ屈指ノ人トシテ仰ガレル。

(九三) モおせす

有名ナ希伯國ノ聖人。初メ捨テ子ニナリ、養ハレテ生長シ、道德堅固デ、天帝ノ愛顧ヲ得、義俠ノ念ニ富ミ、天帝ノ命ニ由リ埃人ヲ其塗炭ノ苦ノ中カラ拯ツタトテ有名ナ人。委シイ傳ハ聖書ニアル。

(九四) モツ(れい)

米國ノ歴史家。一八一四年四月十四日出生。一八三一年はるはるづ大學ヲ卒業シ、續イテ各國ノ大學ヲ學ビ、歐洲大陸ヲ漫遊シ、歸國シテカラ法律ヲ修メ、暫時ソレヲ修業シ、續イテ一八三九年「Morton's Hope」ト云フ小説ヲ著シ、ソレカラ露京聖彼得堡駐在ノ米國公使書記官トナリ、一八四九年「Merry Mount」ト題スル書物ヲ出版シ、更ニ世ノ中ニ受ケラレズ、ソレカラ材料ヲ取ツテ蘭國ノ歴史ヲ編マウト思ヒ、一八五一年歐洲ニ至リ諸國ヲ漫遊シ、遂ニ倫敦デ一八五六年「蘭國史」ヲ著シ、非常ナ名譽ヲ以ツテ迎ヘラレ、佛、蘭及ビ獨逸ノ國語ニ翻譯サレ、歴史家トシテ仰ガレ、コレニ力ヲ付ケラレテ一八六〇年カラ六七年ニ掛ケテ更ニ蘭國史四卷ヲ著シ、是又世ノ中ニ聞コエタ。近代

ノ歴史家トシテ此二冊ノ書物ヲ世ノ中ニ現レタ。

(九五) モツ

米國ノ烈女。奴隸制度全廢ノ時大イニ其事ニ關係シテ大名ヲ轟カシタ人。主義ニ於イテハ奴隸制度ニ反對シ、道德堅固デ、辯舌鋭ク、一代カラ仰ガレテキタ。

(九六) モツ(わある)

獨逸ノ音樂ノ大家。一七五六年一月二十七日出生。其兩親トモ容貌カ極ハメテ麗ハシク、此子モソレ故非常ニ麗ハシイ人デアッタ。幼年ノ時カラ能ク教育ヲ受ケタガ子供ノ中カラ早ク既ニ學者トナル技能ヲ現シ、六歳ノ頃ニハ充分音樂ニ通シタ。ソレカラ其志ヲ折カヌヤウニみゆへニ送ラレテ教育ヲ受ケ、

段段各地方ヲ漫遊シテ一流ノ音樂大家トナツタ。其主ヲ作ハ「すしびおノ夢」「あるばノあすかにお」。殊ニ傑作トシテ聞コエルノハ「Don Giovanni」及「Don Juan」ノ二種デアッタ。一七九二年歿、或ヒハ一七九一年ト云フ。

(九七) みる(れい) (Friedrich Max)

有名ナ獨逸ノ東洋學者。一八二三年出生。らいぶつ(い)く大學、柏林大學、及ビ巴里ノ大學ノ三大學ニ於イテ梵語ヲ修メ、ソレカラ英國ニ渡リ、東邦協會ニ盡力シ、一八五四年お(く)す(ふ)をる(づ)大學ニ博言學ノ教授トナリ、一八五九年「古代梵語文學史」及ビ「佛敎主義」ト題スルモノヲ著シ、續イテ有名ナ其大著述「言語哲學」ヲ著シ、大イニ世界ニ鳴リ渡ツタ。近代ノ博言學者ノ中デハ殊ニ第一流ニ位スル。

(九八) みるれる (Johann)

獨逸ノ生理學者、兼動物學者。一八〇一年七月十四日出生。一八一九年ばぬノ大學ニ入り藥學ト理學トヲ修メ、一八三二年二十二歳ノ時藥學博士ノ學位ヲ取り、續イテ一八二六年二十六歳ノ時「視官比較生理學」ヲ著シ、大イニ名ヲ轟カシ、續イテ一八三〇年「De Glandularum secretorium Structura penitiori」ヲ著シ分泌腺ノ委シイ研究ヲ遂ゲ、近代比較解剖學者トシテハ屈指ノ中ニ數ヘラレタ。主ナ著述ハ一八四一年カラ四四年ニ掛ケテ出版シタ「人體生理學提要 (Handbuch der Physiologie des Menschen)」及ビ一八二九年出版ノ「精神病學 (Grundriss der Vorlesungen über allgemeine Pathologie)」。一八五八年四月柏林テ歿。

(九九) みるれる (Karl Olfried)

一七九七年出生ノ獨逸ノ歴史家、兼古物學者。主ナ著述ハ「希臘町村史」、及ビ一八二五年出版ノ「理學的神仙傳研究論」、及ビ一八四〇年出版ノ「古代希臘國文學史」。

(一〇〇) みるれる (Olo Frederik)

蘭國ノ博物學者。一七三〇年出生。諸國ヲ漫遊シテ博物學ノ智識ヲ擴メ、一七六四年三十五歳ノ時其大著「Fauna Insectorum Friedrichs daliana」、續イテ一七六七年同シク大著述「Flora Friedrichs daliana」ヲ著シ無血蟲ト植物トヲ研究シ大イニ世ノ中ニ知ラレ、王カラモ保護ヲ得、愈研究ニ從事シ、歐洲ニ其名モ轟イタ。ソレカラ一七七三年カラ翌年ニ掛ケテ拉丁語テ「地球上ノ蟲」及ビ「淡水ノ蟲」ト題スル

書物ヲ出版シ、大イニ動物學者ニ新智識ヲ與ヘタ。一七八一年其動物學上ノ書「Hydrochne」

Geschichte der Schweizerischen Eidgenossen)」ヲ著シタ。一八〇九年歿。

(一〇二) みるれる (Johannes)

ノ研究始末ヲ著シ、續イテ一七八五年カラ「動物 (Monentli)」ヲ著シ下等動物ノ研究ヲ透キ間ナシ届カセ、一七七九年カラ其稀世ノ大著述「動物圖解」ヲ著シ、大イニ名ヲ轟カシタ。一七八四年歿。近代ノ動物學者中屈指ノ人テ其伎倆ヲハクビエモ賞賛スル。

(一〇一) みるれる (Johannes)

一七五二年、一月三日出生ノ瑞國ノ歴史家。一七七二年二十七歳ノ時「しむふりくむ」ノ戦ヒ (Belium Cimbricum)」ヲ著シ世ニ知ラレ、一七八〇年其有名ナ著述「瑞國史」ノ第一卷ヲ著シ瑞國第一流ノ歴史家ト云フ名譽ヲ轟カシ、續イテ一七八六年、獨逸語テ「瑞國聯邦史」(Die

獨逸ノ軍人。其不思議ニ可笑シナ小譚テ有名デアツタ。一七二〇年出生。一七九九年歿。ソノ主ナ著ハ「みぬはうせぬ物語リ」ト題スル物デ非常ニ華華シイ大袈裟ノ始末カ極ハメテ面白ク記サレテアツタノデ大イニ社會ノ高評ヲ出シタ。其中ノ記事ハ出來サウナ事實デ出來無イコトヲ面白ク書キ記シタモノデ、其中デ鴨ヲ捕ル法ナドモアル。一發ノ鐵砲デ何十羽ト云フ鴨ヲ捕ル法デ、初メ一ツノ鴨ヲ狙ツテ鐵砲ヲ打ツ時發砲スルヤ否ヤ直グト他ノ鴨ノ方ニ筒口ヲ向ケ、直グト又其他ノ鴨ノ方ニ筒口ヲ向ケレハ丸ハ順順ニ筒口ノ向イタ

通り鴨ニ當タル、其所テ一發ノ彈丸ヲ數多ノ鴨ガ捕レルト云フ類。

(一〇三) みら、又、ひらつ

一七二七年出生ノねえぶるすノ王。武人トシテ一代ニ名譽ヲ轟カシタ。拿破第一世ニ對シテ烈シク抵抗ヲ試ミ、幾度カ破ラレタモノノ、勇名ハ一般ニ聞コエタ。一八一五年彈丸ニ中ダツテ歿。

(一〇四) まる、あゝぬ

一七九二年二月十九日出生ノ英國ノ地質學者。一八〇七年軍隊ニ入り、其後軍隊ヲ退イテ全クノ文學者トナツテ暮ラシタ。一八二五年さっせくすノ西北端ノ地質ヲ研究シ、大イニ世ノ中ニ知ラレ、其他地質學ニ於イテモ餘程研究シテ新説ヲ出シタ。うらるる山ノ地質ヲ

モ究メ古代土蠻ノ沿革ヲモ取調ベ一代ノ大家ト云ハレタ。

(一〇五) でふ、むせえ

佛國ノ詩人。一八一〇年十一月十二日出生。一八五七年五月歿。主ナ詩ハ「Nannoune」及ビ「Rollin」ナド。

(一〇六) ひうていす

斑國ノ植物學者、兼醫者。一七三二年出生。一八〇八年歿。主ナ著述ハ「うぐらねえだ」ノ動物ヲ研究シタ作。

N

(一) なわだるしやふ

波國ノ武人。コトニ侵略ノ才ニ富ンタ。モトハ十國人。一六八八年くはら、さぬ、テ出生。

(四) なほれおぬ第三世。即チ

るい、おほれおぬ

一八〇八年四月二十二日出生。拿破第一世ノ甥。叔父ガ無殘ニ零落シテカラ後チ諸所方方チ流浪シ、一時ハ牢屋ニモ入ツタ。人トナリ名譽ヲ好ム念ガ盛ンデ何卒シテ天下ヲ取ラウト

一七三八年阿富汗坦ヲ侵略シ、續イテ一三三九年印度ヲ襲ヒでるはいニ入り、國庫ノ財物ヲ奪ヒ、大イニ侵略ノ腕ヲ逞フシタガ、遂ニ一七四七年其臣下ニ暗殺サレタ。
(二) ねえびあゝる
蘇國ノ數學者。一五五〇年出生。對數表ノ發明者トシテ大名ヲ遺シタ。一五六三年十四歳ノ頃大學ニ入り、後チ數年テソレヲ去リ、佛國、獨逸國及ビ以國ヲ漫遊シ、一五七一年頃國ヘ歸リ數學者、兼神學者、兼文學者トシテ世ノ中ニ知ラレ、遂ニ其有名ナ大著「對數表(Milieu Logarithmorum Canonis Descriptio)」ヲ著シタ。
一六一七年歿。

(三) なほれおぬ第一世。

*はなばるつ、參考。

のノ戦ヒニ出、一八九六年十一月四日ノ戦ヒニ埃國ノ兵ヲ破ツタ。コレヲ初メトシテ彼方此方轉戦シ、向カフ所何レモ敵ナク、アハヤ叔父ノ拿翁ノヤウニ天下ヲ併吞スル勢ヒデアツタ。ガ、此時獨逸ノ宰相ハ有名ナビすまゝくデ、直ツト拿翁ニ抵抗ヲ試ミタ。從來拿翁第一世ニ獨逸全體ハ非常ニ蹂躪サレテ獨逸ノ國內ハ愛國ノ念ガ勃勃トシテ起コリ、王ノ下ニ大宰相及ビ屈指ノ武人モアリ、一般ノ人民モ何卒佛國ト開戦シ、充分ニ佛國ノ力ヲ撓ケト云フ熱心デアツタ故、拿翁第三世ノ烈シイ腕モ思フヤウニモ成功ガ無ク、遂ニらいぬ川ノ上デ非常ニ血戦ヲ試ミ、兩軍トモ此日ハ非常ニ猛烈デアツタガ流石ノ拿翁三世モ失敗シテ遂ニ獨逸ノ軍ニ降参シタ。ソレカラ退隱シテ靜

ニ餘年ヲ送ツタ。人トナリ武略ニ富ミ、名譽ヲ望ム念多ク、實ハ佛國ノ人民ヲ犧牲ニ供シテ自分ノ名譽ヲ買ツタナドト評サレテモ居ル。然シナガラ近代ノ大偉人、叔父ニ次イデノ人デアツタニハ相違ナカッタ。

(五) ねあぬだる
一七八九年出生ノ獨逸ノ神學者。神學上ノ著述ガ澤山アル。一八五〇年歿。

(六) ねッける
瑞國ノ財政學者。一七三二年出生。佛國ノ政府ニ仕ヘ大宰相トナツタ。其財政ノ腕ヲ奮ヒ、一代カラ大イニ仰ガレタ。一七八四年「財政ノ運轉」ト題スル書物ヲ著シ、非常ナ喝采ヲ以ツテ迎ヘラレ、忽チノ中ニ八萬部ヲ賣リ盡クシタト云フ。一八〇四年歿。今日モ此人ノ財

政ノ理論ハ理財學者ノ參考ニ供スル。

(七) ねるさぬ

英國ノ豪傑。一七五八年、九月二十九日出生。勇氣ニ富ミ、幼年ノ中カラ軍人トナル氣性ヲ現シ、海軍ニ入り諸所ノ戰爭ニ出テ段段ト熟練シ、てねりッふノ戦ヒニ右ノ腕ヲ落トシタ。眼ハ片方盲デアツタガ、勇氣ハ劣ラズ、獨眼龍ト呼バレタ。拿翁トノ戦ヒニ黒海デ拿翁ノ艦隊ヲ微塵ニ碎イタノハ此人デ、此戦ヒニ英國ガ勝ツタ所カラ拿翁ノ勢力モ衰ヘタ。つらはるがるノ戦ヒニハ非常ニ勝利ヲ得タガ、此時彈丸ガ雨ノヤウニ降ル中ニ立ツテ屈セズ指揮ヲシテサタガ、遂ニ重イ傷ヲ得、ソレカラ歿シタ。近代英國ノ武人ノ中デハ屈指ノ人数ヘラレル。

(八) ねぶてゆうぬ
羅馬ノ神仙傳ノ神。海ヲ司ドル。

(九) ねろおね

羅馬ノ王。暴虐ナ神トシテ知ラレル。羅馬ノ町ニ火ヲ放チ、ソレヲ視テ大イニ樂ンダトイフ。六十八歳デ自殺シタ。

(一〇) にうとぬ

英國ノ大哲學者、兼數學ノ大家。一六四二年、十二月廿五日くりすますノ日ニ生マレタ。幼年ノ時カラ物事ニ工夫ヲスルコトヲ好ミ、早ク既ニ理學者トナル智識ハ現シタ。學問ニハ極ハメテ深ク心ヲ注ギ、旁ラ機械學ヲ好ミ、子供ノ時ノ遊ビモ他ノ童子ト外ヘ出テ運動スル事ハ無ク、常ニ書齋ニ閉テ籠モツテ學問ノ研究ニ餘念ガ無カッタ。其書齋ノ白壁ハにうと

ぬガ墨デ色色ニ幾何學ノ圖ヲ描キ、或ハ鳥獸草木、或ヒハ天體、其他種種様様ノ物ヲ描イテ稽古シタトテ果ハ草紙紙ノヤウニ黒クナツタトイフ。幼年ノ時カラ詩ニモ熟シ、數學ニ於イテハ尙更デアツタ。遊ブ時ニモ前云フ通りノ始末デアツタ故、工夫ヲシテ物ナドヲ造ルノヲ好ミ、人カラ木ノ切レ端、鋸、小刀ナド貰ヘハ非常ニ悦ビ、ソレヲ弄ンデ更ニ餘念モ無カツタ。一六六一年六月つりにていゝ大學ニ入り、數學ヲ修メテ成績モ善ク、一六六四年無窮數ノ理ヲ發見シ、一六六五年B.A.ノ學位ヲ取り、屈指ノ數學者トシテ最早世間ニ現レタ。コレカラハにうとぬノ名ガ世界ニ轟クハカリテ恐ロシイ名譽ヲ以ツテ世ノ中ニ迎ヘラレタ。一六六五年非常ニけいふりぢぢニ疫

病ガ流行シ、ソレヲ避ケテ古郷ニ歸リ、田舎デ閑散ニ暮ラシテキタ、此所デ例ノ有名ナ引力ノ理ヲ發明シタ。或ル日書物ヲ讀ンデ庭ヲ散步シテキルト、庭ニ林檎ノ木ノ實ガ風モ何モ無イニ一トツ大地ニ落チタ。ツラツラソレヲ視テにうとぬハ不思議ニナツタ。何故林檎ガ落チタノデアラウ、風モ無イノニ落チタノハ何レ落チルベキ原因ガアルダラウト考ヘタ。ガ、何分其原因ガ分カラヌ。重クナツタ故落チタ。何故重クナツタラハ落チルデアラウカ？其邊ノ見當ガ更ニ付カナカツタ。ソレカラ段段ト心ヲ込メテ種種様様ノ苦心ヲ以ツテ遂ニ全ク引カト云フモノガ世界ニアル、其引力ノ力ニ引カレテ此林檎モ落チタトイフ事ヲ發明シタ。實ニ此大發明ハ空前絶後ノ事

業デ此發明ガ出來テカラ地球ノ運動モ尙更委シク分カリ月ノ出沒ニ由ツテ潮ニ高低ガ起コル原因モ知レ、大イニ學術世界ヲ動カシタ。其數學ニ於イテノ伎倆ハイハズ、此引力ノ理ヲ發見シタ段ニ於イテハ古今敵ノ無イクラサデ是ダケデモ大哲學者トハ言ヘル。ソレカラ一六六六年けいふりぢぢニ歸ツテ光學ノ研究ニ志シテ傾ケ、遂ニ光リト七色ノ關係トヲ發見シ、スベテ人間社會ニ光リト七色トノ外ニハ無イトイフ事ヲ發見シ、併ハセテ色ト色トノ關係、及ビ配合ヲ示シ、是又學者社會ヲ震動シタ。一六七一年自身ノ手デ、反射望遠鏡ヲ發明シテ造ツタガ今日モR.S.ニ是ガ保存サレル。其他光學ニ於イテノ講義ヲハけいふりぢぢ大學テ一六六九年一六七〇年、一六七二

年ノ三年間ニ行ツタ、其講義ノ筆記ハ後チニ纏マツテ書物ニナツテ出版サレタ。然シナガラ此光線ノ議論ノ出タ時ハ批難モ多ク、にうとぬノ理ヲ承知シナカツタ者モ幾ラモアツタ。自身モらゝに、つゝニ贈ツタ手紙ニ其事ヲ書イテ置イタ。一六七二年一月F.R.S.トナリ、一六七五年其有名ナ大著述「Theory of Light and Colours」ガ世ノ中ニ現レ、にうとぬノ光學ニ於イテノ主義ガ一定シタ。殊ニにうとぬノ名ヲ不朽ニサセタ傑作ハ一六八五年カラ翌年ニ掛ケテ出版サレタ「Principia」デ、にうとぬノ哲學主義ハ是ニ於イテ充分ニ盡クサレデアツタ。實ニ物理學者トシテ哲學者トシテ又數學者トシテ近代ニ類ノ無イ大家デ、一代ハ發明テ埋マツタ。此人ニ對シテ異論チイ

フ者ハ眞ニ無ク、唯唯大學者ト云ツテ許スヨ
 リ外ニ言葉ハ無イ。人トナリ最モ學問ニ深ク、
 みるどぬト同ヤウナ生活ヲシ、朝ハ極ハメ
 テ早ク、甚シイ時ハ三時頃ニ起キ、夜ハ極ハメ
 テ遅ク、多クハ徹夜ヲモシタ。學問ニ掛カツ
 タ時ハ全ク世ノ中ノ事ニハ聲ノヤウデ、何チ
 云ツテモ受ケ答ヘチセズ食事ト云ハレテ返辭
 チシタハカリ三時間モ投ケ遣ツテ置イテ遂ニ
 晝飯ナドヲ忘レタ事ハ度度アツタ。此クヲ非
 ニ勉強デアツタ故、遂ニ此大學者ト云フ名譽
 ナ輝カシクモ無理デナカツタ、一生涯妻ヲ
 娶ラズ、朋友トノ交際モ非常ニ柔カデ、容貌ハ
 眞ニ婦人ノ様デ、何處カラ其鋭イ才ガ現レル
 ト思フクヲ非デアツタ。性質ハ温順デ人ト喧
 嘩スルノチ好マズ、にうどぬガ一生涯ニ腹ヲ立

テタ顔ヲマダ見タ事ノ無イトイフ人ガ多クア
 ツタ。スベテノ事ニ行キ渡ツテ慈善ノ志ニ
 深ク、人ノ心ヲ推察スル事ニモ長ケテ居タ。ソ
 レ故ドノヤウナ人ニモ仰ガレ殊ニ身分ノ善イ
 人ヨリハ惡ルイ者ニ哀レミチ掛ケタ。其心ノ
 落チ付イテ居タ例ヲ舉ゲレバにうどぬガ愛シ
 テ飼ツテ置イタ犬ニだいやもぬづト名ヲ付ケ
 テアルノガアツタ。學問ノ鬱ヲ慰メル時ナド
 ニハ此だいやもぬづヲ相手ニシテ心ヲ慰メラ
 レテ居タ位ノ犬デアツタガ、此犬ガ或晩外カ
 ラ歸ツテ來テにうどぬノ書齋ヘ飛ビ込シタ
 所、其所ニ自分ノ親愛スル主人公ハ居ナカツ
 タ。其時にうどぬハ便所ニ行ツタノデ、犬ハ
 ソレトモ知ラズ主人ノ居ヌノニ大イニ驚キ、
 慌テテ其邊ヲ駈ケ廻ツテ尋チタ。尋チル中何

心ナクにうどぬノ机ノ上ニ飛ビ上ガツタ拍子
 ニ其上ノ蠟燭ヲ顛覆シタ。其机ノ廻ハリニハ
 山ノヤウニ書キ物ガ推シナツテ居タ所故倒レ
 タ蠟燭ガ其書キ物ニ燃ニ移リ、見ル間ニ燒ケ
 テ仕舞ツタ。丁度此所ヘにうどぬガ何氣ナク
 歸ツテ來タ所デ、其有リ様ヲ視テ大イニ驚イ
 タ。而モ其ソコヲニ在ツタ草稿ハ自分ガ非常
 ニ丹精シテ書イタノデ——或ヒハ寫シタノモ
 アリ、或ヒハ永年ノ苦心ヲ以テ書キ集メタノ
 ガ一朝灰トナツテ残念ハ實ニ譬ヘルニ物ハ無
 カツタ。ガ、燒ケテ仕舞ツタ故仕方無イ。素
 ヨリ犬ニ惡意ガアツテシタノデモ無シ、元是
 下等ノ動物、善惡ノ區別ヲ知ラナイデ爲タ故
 是ヲ責メルノモ不道理極ハマルト考ヘタ。通
 常ノ人ナラハ怒リニ任セテ犬ヲ打擲モシサウ

ナ所、却ツテ落チ付イテ大イニ犬ノ心ノ至ラ
 ヌノチ哀ム位デアツタ。犬ハ主人ガ來タノチ
 見テ、非常ニ喜ビ無心ニ何モ知ラズ傍ヘ來テ
 尾ヲ振ツテ居ル愛ラシサ。其頭ヲ叩イテ斯ウ
 イツタ。「だいやもぬづ、だいやもぬづ！
 御前ハ御前ガ爲タ事ガ善イトモ惡ルイトモ知
 ルマイナ」ト。是ガ唯いだやもぬづニ對スル小
 言ノヤウナモノデアツタ。ソレカラ孜孜トシ
 テ勉強シ、其燒ケタ草稿ヲ再ビ拵ヘ上ケテ餘
 念ハ無カツタ。一般ノ物ニ對スルにうどぬノ
 寛仁大度ハ大抵是デ見テモ分カル。此人ト學
 問ノ點ニ於イテ勢力ヲ競ツタ人ハコレヲ惡ル
 ク云ツタガ實ニ完全無缺ノ人デアツタ。英國
 人ガ今日ニ至ツテモ此人チ國ノ飾リトシテ自
 慢スルノモ尤モデアル。其全集ハ一七七九年

カラ八五年ニ掛ケテ五卷ノ書物ニナツテ出版サレタ。一七二七年、三月二十日歿。

(一一) ねえ

一七六九年出生ノ佛國ノ軍人。初メ拿翁ノ部下トナリ、勇名ヲ現シ、「勇者ノ中ノ勇者」ト云フ賞メ言葉ヲ拿翁カラ賞ツタ事サヘアツタ。其後拿翁ガ失敗シテカラ後ヲ鋒ヲ逆マニシテ拿翁ニ叛キ、るい第十八世ノ手ニ屬キ、ソレカラ拿翁ニ向カツテ戦ヒ、必ズ拿翁ヲ鐵ノ駕籠ニ入レテ歸ツテ來ルト契ツテ行ツタ。ガ、貴族院カラ攻撃サレ、叛逆人ト見做サレ、一八一五年、十二月七日統殺サレタ。

(一二) にこらす、又、にこらい、ばふる

びちゆ

露國ノ王。即チにこらい第一世。一七九六年

七月出生。ぼおる第一世ノ第三子。位ニ昇ツ

テカラ主ナ出來事ハ即位ノ後チ程ナク波國トノ戦争デ、大イニ此戦ヒニ勇名ヲ轟カシタ。土國ニ對シテモ豫チテカラ望ミチ掛ケ、段段土國ノ交渉ノ後チ遂ニくらみわノ大戦争トナツタ。

(一三) にしあす、又、にさあす

希臘ノ大將。前四六二年出生。ゆるす人ト戦ツテ大イニ勝ツタ人。サリナガラ武人トシテハ餘リ伎倆ノ俊レタ人デハ無ク、後チすばるたト戦ヒ、虜囚トナリ遂ニ死刑ニ處セラレタ。前四一四年ノ頃ト云フ。

(一四) にいぶうる

獨逸ノ歴史家、兼批評家。一七七六年八月二十七日出生。初メ語學ノ歴史、殊ニ沙翁ノ作

ヲ悦ビ、七歳ノ頃其作ノ大半ヲ讀ンダ。ソレカラ大學ニ入り、古代語學ト哲學ト歴史ト羅馬法トヲ修メ、學校ヲ出テカラ社會ニ現レ、商業ナドニモ從事シタ。ソレ故世ノ中ニ現レテモ言語ニ於イテハ敵ガ無ク、各學ノ言語ヲ以ツテ會話スルコトガ出來、殊ニ其中テ希語、亞刺比亞語、希伯語ナドハ無類デアツタ。一八

二八年頃カラ博言學、歴史學及ヒ地理學ナドノ著述チシタ。

(一五) あしわん

古代神仙傳ノ神。

(一六) にある

佛國ノ批評家、兼文學者。一八〇六年出生。

一八三一年カラ「Journal des Débats」及「Le National」雜誌ノ記者トナリ、段段世ノ中ニ開

コエタ。ソノ主ナ作ハ「暗黒時代ノ拉丁詩人批評」。

(一七) にゆるぶ

ゆるすノ神學ノ神。風ノ神ト云フ。

(一八) のでいえ

佛國ノ文學者。一七八三年出生。一八〇三年「ゆるすふるぐ(Salzburg)」ノ畫工ト題スルモノヲ作り、更ニ又拿翁ニ對シ、コレヲ嘲ル詩ヲ作り、大イニ政府ノ譴責ヲ受ケタ。るい十八世ガ即位シテ貴族ニ列セラレ、段段地位モ社會ニ重ク、一代カラ仰ガレタ。主ナ作ハ一八〇八年出版ノ「Dictionnaire raisonné des Onomatopées Françaises」。

(一九) のれえ

佛國ノ哲學者。一七〇〇年出生。主ナ著述ハ

「實踐理學(Legons de physique experimental)」。

一七七〇年歿。

(二〇) のるたぬ

英國ノ女性ノ文學者。一八〇八年出生。主ナ著述ハ一八四〇年出版ノ「夢」ト題スル詩。

(二一) のすつらでえすす又、のつる

だむ

佛國ノ醫者。一五〇三年出生。一五六六年歿。非常ニ醫術ニ巧ミテ一代カラ殆ド魔術ヲ遣フト云フクヲ非ニ仰ガレタ。

(一) おおべりぬ

一七四〇年出生ノ獨逸ノ社會改良者。一八二六年歿。農學及ヒ機械學ナドニ種種ノ改良ヲ

施シ、綿ヲ紡ジ機械、絲ヲ取ル機械、藥ヲ奇麗ニスル術ナド種種ノ工夫ヲシテ社會ニ利益ヲ與ヘ、るい十八世ニモ好ク待遇サレタ。

(二) おおごぬねる

愛國ノ辯者、兼志士。一七七五年出生。初メ法律ヲ修メ、一七九八年二十四歳ノ時カラ、狀師トナリ、一八〇二年妻ヲ娶リ、奮發徒ノ群レニ加擔シ、一八二一年議會ニ入り、ソレカラ社會ヲ搔キ廻ハシタ。議會ニ入ッテ政治家トシテノ伎倆ハ鋭ク、人民ヲ煽動シ、人望ヲ集メ、其政治社會ノ一ツノ邪魔者トナツタ、一八四四年叛逆者ト見做サレ、捕ヘラレテ獄ニ下リ、一年間ハ其所ニアリ、二十四磅ノ罰金ヲ課セラレタ。一八四七年五月歿。

(三) おくてえひわ

羅馬ノ貴婦人。前七〇年ノ人。おおがすたす帝ノ妹ノ子。初メまるせらすト云フ人ニ嫁シ夫ガ歿シテ後チ例ノあぬどにいノ妻トナリ、あぬどにいニ從ツテ諸所ヲ歴遊シ、後チ離縁ニナツタ。

(四) おおでいぬ又、おおとぬ

のるすノ神學ノ神。のるすノ神ノ中ニ殊ニ勇カニ俊レタモノデアツタ。

(五) えでばす

古代希臘ノ神仙傳又ハ詩ナドニ現レル人。人間ガ避クベカラザル不運ノ運命ノ標本トシテ現レタモノ。

(六) うふれぬしゆれえげる

丁國ノ詩人。一七七九年、十一月十四日出生。幼年ノ時カラ詩ヲ好ミ、遂ニ丁國ヲ屈指ノ詩

人トナツタ。其主ナ著述ハ一八一四年出版ノ「Sienkoder」及「Tordenskiold」。一八五〇年歿。丁國詩人ノ中テハ殊ニ一流ニ位スル人トノ評ガアル。

(七) うるすてづ

丁國ノ博言學者。電氣的磁石學ノ開祖。一七七七年、八月十四日出生。一八二二年二十六歳ノ時化學カト電氣カトノ一致ヲ説キ夫イニ名ヲナシ、電氣ト磁器トノ關係ヲ發見シ、全世界ニ鳴リ渡ツタ。一八五一年歿。博物學ニ於イテハ近代ノ大家デ、博物學者ガ殊ニ仰グR.S. カラモ賞牌ヲ受ケ取ツタ。

(八) おおけぬ又、おけぬ

獨逸ノ博物學者。一七七九年出生。一八〇二年「博物學原理(Grundriss der Naturphysiologie)」

著シ、ソレカラ學者トシテ世ニ立ツタ。其主義ハ餘程ノ新説デ、植物モ動物モ唯いぬふゆ(一)そりわが進化シタモノデ如何ナル有機質デモいぬふゆ(二)そりわヨリ大キクハ出來ヌ、大キクナルノハソレガ發達シタノデ、スベテいぬふゆ(三)そりわが其土蠶デアルコトヲ論ジタ。ソレカラ一八〇五年更ニ進化ノ理ヲ説キ、スベテノ有機質ハ細胞カラ成リ立ツト云フコトヲ定メ、一代カラ仰ガレタ。

(九) おるべるす

獨逸ノ星學者、兼醫者。一七五八年出生。一八四〇年歿。初メゴッていんげぬデ學ビ遂ニ自身司天臺ヲ建テ、其所ヲ觀測シ、一七七九年慧星ノ現レタ時ソレヲ觀測シテ圖ラズ慧星ノ軌道ヲ計算スル新法ヲ發見シ、一七九七年其始

末ヲ記載シテ世ノ中ニ現レ、大イニ世界カラモ賞賛サレタ。此外ニ星學上ノ發明ガ頗ルアリ、一八〇四年H. R. S. トナリ、更ニ又一個ノ慧星ヲ發見シ、ソレニ自分ノ名ヲ付ケ七十四年間デ一廻轉スルモノト云フコトヲ測リ出シタ。

(一〇) おりひえ

佛國ノ辯者。一八二五年出生。初メ法律ヲ修メ、法律家トナツテ世ノ中ニ立チソレカラリべらる黨ニナリ、一八六九年拿翁ノ下ニ屬キ、其總理大臣トナツタ。一八七〇年一月ニハ司法大臣トナリ、聲名一時ニ重ク、世ノ中カラモ仰ガレタ。一八七〇年總理大臣ノ位ヲ退イテ後ヲ歿シタ。

(一一) おかまる第一世、又あふう、はふ

さふいぬる・かたふ

もはむめづニ次イテ其跡ヲ繼イメ王。

(一二) おおび

英國ノ女性ノ文學者。一七六九年出生。一八五三年歿。初メ著シタノガ詩デ、ソレカラ「父ト娘」ト題スル物語リヲ作り、社會ノ喝采ヲ博シ、續イテ「Adelene Mowbray」ナドヲ著シタ。

一八五三年歿。

(一三) おれえぬぢゆ

蘭國ノ共和國ヲ建テタ有名ナ人。一五三三年出生。人トナリ勇悍デ、下ヲ愛シ、ヨク人望ヲ繫キ、遂ニ蘭國ノ共和國ヲ組ミ立テタ。其間ノ苦心ハ一ト方デ無カツタガ、此人ノ武畧ト才智トニ由ツテ大事業ガ成就シテ蘭國デハ後世ニ至ツテモコレヲ仰グ。一五八四年叛逆人

ノ手ニ暗殺サレタ。

(一四) おれりやな

第十六世紀ニ斑國ニ出タ有名ナ航海者。一八三一年ペタニ航海シ名ヲ轟カンダ。一五四九年あまぞぬ河ヲ探險シヤウト出掛ケテ熱病ニ罹リ、其次ギノ年歿シタ。

(一五) おるふひら

一七八七年あはぬニ生マレタ有名ナ醫者、兼航海者。モト佛國人デアツタ。一代ニ醫學ニ就イテ研究ヲ遂ゲタ所頗ル多ク、其主ナ著述ハ「毒ノ論」、「化學ト藥學トノ關係」、「裁判藥學」ナド。巴里ニ歸リ、解剖學博物館ヲ建テタ人。一八五三年歿。

(一六) おりわに

伊國ノ星學者。一七五二年出生。一八三二年

歿。一七九八年出版ノ其著述「水星新説」、及
ヒ一八〇六年出版ノ其著「球體三角術」ナドガ
有名ナ作デアアル。

(二七) おりぢえぬ

一八六年埃國ニ生マレタ人。基督教ノ文學者
トシテ最モ有名ナモノ。聖書讚美歌ナド數多
ノ著述ヲ遺シタ。

(二八) おるむすづ

古代ノ波國ノ神學ノ神。光リ、潔白、眞理、善
ナドヲ保護スル神。

(二九) おるふゆうす

古代希臘神仙傳ノ神。詩人、音樂者、又ハ發明
者トシテ尊ハレル。

(三〇) おすいりす

埃國ノ神仙傳ノ神ノ中、ないる河ノ神デアアル

ト云フ。

(三一) おっそり

米國ノ貴婦人。其一代ノ歴史ニ就イテ名高カ
ツタ。一八一〇年、五月二十三日出生。父ハ法
律家テ此婦人モ幼年ノ時カラヨク教育ヲ受ケ
、早ク拉丁語、希臘、佛語及ヒ伊語ニ通シ、一八
三五年父ニ死ナレテ後チハばすとぬテ言語學
ノ教授トナリ、一八三九年えけるまぬノ著
げえてトノ會話ヲ翻譯シ、一八四〇年「The
Dial」雜誌ノ記者トナリ、其第二卷デげえてノ
作ニ批評ヲ試ミ、非常ニ世ノ中ニ仰ガレ、えま
るそぬモ大イニ賞賛シ、一八四六年英國ニ渡
リ、かわらいる其他ノ文學者ト交際シ、倫敦カ
ラ一轉シテ佛國ヲ經テ伊國ニ遊ビ、羅馬ニ於
イテ貴族おっそりニ會ヒ、自分ヨリハ年下ノ

人デアツタガ遂ニツレテ夫ニシタノハ一八四
七年十二月ノコトデアツタ。丁度此時伊國ニ
獨立戰爭ガ起コリ、自由主義ノ波ガ社會ニ瀾
漫シテサタ所デ此婦人モ大イニ其自由主義ニ
傾キ、一八四九年羅馬ガ圍マレテ死傷ガ多ク

クツタ所デ其等ノ看病ニ怠リ無ク、奔走シタ。

一八五〇年其夫ト共ニ米國ニ歸ル途中七月十

六日ろんぐ島ノ近邊デ船ガ難破シ、忽チノ中

碎ク遂ニ夫婦并ニ子共ニ溺死シタ。

(三二) おおていす

米國ノ志士、兼辯者。一七二五年、二月五日出
生。一七八三年五月雷ニ撲タレテ歿シタ。民
黨ノ味方トナリ、大イニ政治界ニ鳴リ渡ツタ
人。

(三三) おつうり

英國ノ狂言作者。一六五一年出生。一六八〇
年「孤」ト題スル悲劇ヲ作り、喝采ヲ博シ、其外
ニモ傑作ハ「Gains Marjns」。一六八五年飢エテ
死ンダトイフ。

(三四) ううでいのお

一七六七年出生ノ佛國ノ軍人。佛國ノ軍人ノ
中デハ殊ニ屈指ノ人。一八〇七年六月ふりい
づらぬづノ戰ヒノ時七万五千ノ露國ノ兵ニ抵
抗シ、一步モ動カズ、遂ニ佛國ノ味方チ安安ト
血路ヲ開カセタ人。一八四七年歿。

(三五) おおへるべ

獨逸ノ畫工。一七八九年出生。初メうぬあ
デ學ビ、一八一〇年羅馬ニ遊ビ、其時代ノ大家
ト交際シ、遂ニ一流ノ人トナツタ。一八六九
年歿。

(二六) おひつづ

羅馬ノ詩人。前四三年出生。幼年ノ時カラ詩才ヲ現シ、大イニ父兄ヲ驚カシタ。主ナ作ハ今日ニモ残ル。其中「Amores」及ビ「愛情ノ技術 (Ars Amatoria)」ナドハ傑作ノ物デアッタ。

P

(一) ぱがにすにす

以國ノ音樂者。殊ニはいりぬニ熟シ、其伎倆ニ於イテハ當代無類トノ評デアッタ。一七八四年出生。一八四〇年歿。

(二) べすぬ

一七三七年一月出生ノ英國ノ政治學者。初メ布哇島ニ住居シテ居タ。後チ壯年ニナツテ英國ニ戻リ、段段著述ヲシテ社會ニ知ラレ、遂ニ

一代ノ政治學者トシテ仰ガレタ。主ナ著ハ一七九一年ばるくノ「佛國革命論」ニ對シテ「人間ノ權利 (Rights of Man)」ト題シテ非常ニ有名ナ論文ヲ書イタ。一八〇九年歿。

(三) だばれすつりいな

伊國ノ音樂者。一五二四年出生。一五九四年歿。

(四) べえれす

英國ノ文學者。一七四三年出生。一八〇五年歿。主ナ著ハ「自然神學 (Natural Theology or Evidences of the Existence and Attributes of the Deity)」。

(五) ぱりすい

一五〇六年頃ノ出生ノ佛國ノ陶器職工。千辛萬苦ヲ經テ遂ニ一ツノ陶器ヲ發明シタ。此人

ノ發明スル辛苦ハ一ト方デ無ク、西國立志編

ニアル通り其身ガ如何ナル貧窮ニ陥テモ志シテ變ヘズ家ノ根太板ヲ取ツテ竈ノ下ニ焚イタクヲ井ノ苦辛ヲシタ。

(六) ばらでいな

五一八年伊國デ出生ノ建築學者。伊國ノ建築學者ノ中第一流ニ位スル。ヘにすナドニアル主ナ殿堂ハ此人ノ手ニナツタ。一五八〇年歿。

(七) ばららす

普國ノ博物學者、兼旅行家。一七四一年出生。一七六六年「動物學雜誌 (Miscellanea Zoologica)」ヲ著シテ世ニ知ラレタ。殊ニ此人ノ名チ不朽ニサセタノハ西伯利亞地方山ノアル邊ニ古代カラ今マデニ掛ケテ存在スル上古ノ三種ノ岩ノアルコトヲ發見シタコトデ之ヲバ佛國ノく

ひえモ非常ニ賞メタ。一八一一年歿。

(八) ばあまるすたぬ

英國ノ大宰相。一七八四年出生。一八三五年歿。

(九) ばひふひらす

希臘ノ畫工。希臘ノ中有名ノ名譽ヲ轟カシタ。繪畫ニ幾何學ヲ應用シタ人。前三九〇年カラ三五〇年マデノ間ニキタ人。

(一〇) でばありす

佛國ノ軍人。一七二六年出生。ころしか島ノ獨立ヲ計リ、佛國政府ニ抗シ、續イテ拿翁ト爭ツテ有名ナ人。一八〇七年歿。

(一一) ばるかる

米國ノ神學者。一八一〇年、八月二十四日出生。神學ノ著述ガ數多アッタ。其全集ハ一八

六三年カラ六五年ニカケテ十二卷ニナツテ倫敦出版サレタ。

(一一二) ぱりしゅ

有名ナ米國ノ醫者。一七七九年九月二十一日出生。一八四〇年三月十八日歿。能ク拉丁語ト佛國トニ通シ、文學ノ伎倆モアリ、一代ノ大醫トシテ仰ガレタ。

(一一三) ぱるり

英國ノ航海者。一七九〇年出生。一八五五年歿。諸所ヲ航海シテ其旅行日記ヲ著シ、何レモ世ノ中ニ愛讀サレタ。一度北極ヘ旅行ヲ試ミテ殆ド北緯八十二度四十五分ノ所マデ到着シタ人。其北極探險ノ始末ヲハ一卷ノ書物ニ纏メ、一八二八年「北極探險史」ト題シテ出版シタ。

(一一四) ぱすかる

佛國ノ哲學者、兼數學者。一六二三年、六月十九日出生。佛國ノ哲學者デハ屈指ナ人デアツタ。一六八〇年頃既ニ計算器ヲ發明シ父兄ヲ驚カシ、一六四八年風雨計ヲ以ツテアル山ニ登リ空氣ノ壓力ト真空トノ關係ノ實驗ヲ遂ゲテ大イニ名ヲ轟カシタ。一六五四年馬ニ乗ツタ所其馬ガ非常ニ暴馬デ酷イ目ニばすかるヲアハセ、アハヤ命ニモ及バウトシタ。其時心中ニ驚イテ人間ハ心ヲ儘ニ定メテ居ナケルヲナイト云フ氣ニナリ神學ニ志シ、一方ニ於イテハ數學者トシテ一方ニ於イテハ神學者トシテ世ノ中ニ立ツタ。一代ニ集メタ所ハ一舉ゲキレヌラサデ佛國デモにうとぬト相對シテ之ヲ賞メル。一方ニ於イテハ神學ヲ深ク

研究シ、一六七〇年神學ト哲學トノ主義ヲ記載シ、「ばすかるノ思想(Pensées de Pascal)」ト云フノヲ出版シタ。之ヲはらひガ評シテ屈指ノ著述ト稱ヘタ。其外ノ著ハ「真空論」ト題シ

真空ヲ論シタモノ、及ビ幾何學ヲ論シタモノ

「De l'Esprit géométrique」。一六六二年、八月十

九日發狂テ歿シタ。

(一一五) びる

英國ノ政治家。一七八八年二月五日出生。一八五〇年落馬シテ歿。こぬさるばていひふ黨

ノ首領トシテ世ノ中ニ立チ議會ヲ横行シ一代

ノ政治家ト云フ名譽ヲ轟カシタ。

(一一六) ぺりこ

伊國ノ詩人。一七八九年出生。一八五四年歿。

ばいゝぬナドト交際シ、一八三二年「ワガ獄屋

ノ心持ナ(Le mie Prigion)

ノ心持ナ(Le mie Prigion)」ヲ著シタ。其著「人間ノ義務」ト題スルモノハ道德學ノ書物トシテ最モ傑作デアツタ。

(一一七) ぺりそぬ

佛國ノ著述家。一六二四年出生。一六五三年

出版ノ其著「佛國學士會院史」ガ有名デアツ

タ。其他ニハ一七四九年出版ノ「るい第十四

世紀」ナド。一六九三年歿。

(一一八) ぺろびだす

古代希臘國すいふすノ政治家、兼武人。いばみ

のぬだすナドト相結托シ、すばるたト争ツテ

大イニ勇名ヲ轟カシタ。前三六四年戰ヒテ歿。

(一一九) びいゝるぶす

古代希臘國神仙傳ノ魔神。

(一二〇) ぺぬぬ

一六四四年、十月十四日倫敦デ出生ノ人物。米國デペぬしるばにわノ國ヲ創建シタ人。小學校ニ居ル中カラ宗教ノ念ニ厚ク、道德堅固ニ品行正シク、ソレカラ世ノ中ニ立ツテモ道ヲ履ンデ苟シクモ曲ガラズ、衆人ノタメニ身ヲ犠牲ニ供シ、スベテノ利益ヲ計ラウト云フ義俠ノ念ニ富ンダ。幼年ノ時ニハ有名ナ哲學者ルックノ友デモアツタト云フ。ヨク學問ヲ學ビ、古學ニ熟シ、傍ラ近代ノ言語ニモ通シ、神學ト歴史トナ好ンデ修メ、其間ニハ體育ニモ注意シタ。現ニ艦艇競争ナドニハ何時モ熟練ノ名ヲ現シタクラサデ、之ガタメニ身體モ堅固デ、心モ確ニナリ、遂ニ多數ノ人民ヲ代表シ、自身ヲ犠牲ニスル迄ニシテペぬしるばにわノ國ヲ建テタ。其國ヲ建テル間モ基督教ノ主義

ヲ守ツテ人心ヲ結ビ付ケ、遂ニ今日モ其國ノ父ト云ハレル。一七一八年歿。

(二二二) ばるでいッカス

ませにわノ大將。歴山大王ニ從ヒ、亞細亞ニ遠征ノ時軍ニ出タ人。前二二一年ないる河ノ邊デ戰歿シタ。

(二二二) べりくりいッ

古代希臘ノ人。雅典ノ政治家。辯者トシテモ聞コエタ。政治家トシテ其社會ニ鳴リ渡リ、此人ガ世ニ立ツテ居タ時代ニ大イニ希臘ノ技術文學ナドヲ進歩サセタトテ今日モ名ガ轟イテキル。外國ニ對シテモ頗ル能ク政治ヲ行ヒ、希臘ノ名譽ヲ轟カシタ。

(二二三) べろか

佛國ノ著述家。一六二八年出生。一七〇三年

歿。主ナ著ハるい十四世ノ時代ノ「名士傳」ト題スルモノ。

(二二四) べるり

米國ノ海軍ノ將官。一七九五年出生。こびもる。べるりいノ兄弟。一八四七年墨國ノ戰ヒニ出、一八五二年始メテ米國使節ノ任ヲ帯ビテ日本ニ渡リ、談判ノ上交通ヲサセル事ヲ約束シタ人。日本ト此人ノ間ニ關係ハ最モ深イ。一八五六年其旅行日記ヲ三卷ノ書物ニシテ出版シタ。一八五八年歿。

(二二五) べるとの

伊國ノ畫工。一四四六年出生。一五二四年歿。肖像畫ニ長シタ。

(二二六) べすたるッ

瑞國ノ教育學者。一七四六年出生。初メハ農

夫ノヤウナ事ヲシテ居タガ旨ク行カズ、其後ヲ教育家トナリ、身ヲ以ツテ生徒ノ鏡トシテ大イニ人望ヲ得、遂ニ教育家ノ泰斗トシテ仰ガレタ。一七八一年「Leinhardt und Gerund」トイフ教育小説ヲ著シ、貧民ノ童子ニ學ヲ與ヘル主義ヲ企テタ。一七九七年「人物發達論」ヲ著シ、教育學ノ殆ト基礎ヲ定メタ。一八二三年歿。

(二二七) びいたる第一世、又、べかつる第一世

日本デ訛ツテペえとる第一世トモ云フ。露國ノ大王。一六七四年、六月十日出生。甚ダ勇氣ニ富ミ且ツ勉強デ、物ニ當タツテ苟シクモ屈シナカッタ。自ラ皇族ノ身ヲ落トシテ學校ニ入り、大工ナドノ職業ヲシ、其技術ヲ修メ、天

晴レ我が國ニ海軍ノ術ヲ進メル計畫ヲサヘシ
 タ。スベテ熱心ガ此クヲサデ、ソレカラ天下
 ナ香ム氣ガ出、段段ト各國ト鋒ヲ交ヘ、殊ニ土
 國ヲ取ルガ第一ノ方策ト考ヘタ故頻リト争
 ツタ。露國ガ今日ノ地位ニ達シタノハ此大王
 ノ力デソレ故露國人ハ今日ニ至ツテモ此人ヲ
 崇拜スル。一七二七年歿。

(二八) *びいたる・すい・はるみつ*

十字軍ニ現レタ一種ノ奇人。非常ニ宗教ニ熱
 心デ、十字軍ヲ起コサセルトテ人民ヲ煽動シ
 タトテ有名ナ人。身ニ纏フ所ハ一枚ノ破レタ
 衣ハカリ、ソレデ諸所ニ演説シ遂ニ十字軍ニ
 從ツテ軍サニ出タ。一一一五年歿。

(二九) *べていあぬ*

一七七〇年出生ノはして、共和国ノ第一ノ大

統領。一八一八年三月二十九日歿。人トナリ
 仁愛デ、且ツ勇氣ノ念ニ富ミ、其歿シタ時モ大
 イニ惜マレタ。

(三〇) *びいつらるく*

一三〇四年、七月二十日出生フ以國ノ詩人。以
 國ノ詩人中屈指ノ人。幼年ノ時カラ文學ヲ好
 ミ、殊ニ古代ノしせる、及ビはるる心ヲ傾
 ケ、其著述ヲ愛讀シタ。其容貌ハ非常ニ美麗
 デ、且ツ才力モ俊レ、其美麗ヲ所カタ市中ヲ歩
 イテ居ル時ハ何時モ人ニ注目サレタ。一三二
 七年不圖愛情ノ奴隷トナリ或ル貴婦人ニ眷
 戀シ、ソレカラシテ詩才ガ發達シタ。之ヲ初
 メトシテ詩人トナルコトナリ、遂ニ大名ヲ
 蘇カスヤウニナツタ。一八三〇年羅馬ニ遊
 ビ、深ク古代ノ跡ヲ視テ感慨ノ念ヲ興シ、轉シ

テ佛國、獨逸、班國ヲ歴遊シタ。一般カラノ待

遇モ頗ル善クナツタ。スベテ一生涯ハ自分ノ
 身ガ詩デアルヤウニ非常ニ柔カナ愛情ニ富
 ミ、ソレヲ其儘詩ニ現シタ所カラ世ニモ仰ガ
 レ、感情ガ詩ノ中ニ勃勃トシテ居タ。著述モ
 數多アル中デ散文デハ「De Contempu Mundi」
 ナドモアル。

批評家ノ説ニ據レバ「此人ノ性質ノ特色ハ
 心ガ最モ感情ニ富ミ烈シク燃エルクヲサナ様
 子ガ何時モ其作ニアツタコトデアツタ」。

(三一) *べいす*

英國ノ政治經濟學者。一六二三年出生。一六
 八七年歿。一六二二年出版ノ其著「租稅論」、
 及ビ一六九二年出版ノ其著「愛國解剖的政治
 學史」ナドハ最モ有名デアツタ。

(三二) *ふわいふある*

一八三四年出生ノ獨逸ノ有名ナ建築學者。十
 六歳ノ時合衆國ニ渡リおはいかナド建築ナ
 ドニ從事シソレカラ熟練ヲ經テ遂ニ大家トナ
 ツタ。

(三三) *ふひでいあす*

前五〇〇年或ヒハ四八五年頃雅典ニ生マレタ
 有名ナ彫刻家。世界開闢以來屈指ノ人デ、其
 彫刻ハ今日ニ至ツテモ遺リ、大イニ彫刻家ノ
 龜鑑トシテ貴ハレル。有名ナ羅馬ノ建築はる
 せのぬノ殿堂ニアル彫刻ハ此人ガ施シタモノ
 ト云フ。らすきぬノ説ニ據レバ「世界デ今マ
 デニ現レタ有名ナ彫刻家ハふひでいあす、ぎ
 お、とう及ビあぬちえろノ三人デアツタ」トイ
 フ。

(三四) ふひりっぶ 第二世

ませせにわノ王。前三八二年出生。歴山大王ノ父テ非常ニ策略ニ富ミ、段段希國ニ取り入り、遂ニ歴山大王ヲシテ早ク世ノ中ニ現レル地歩ヲ固メサセタ。賢君ノ一トシテ數ヘラレル。前三三六年臣下ニ暗殺サレタ。

(三五) ふひりっぶ 第二世

斑國ノ王。一五二七年、五月二十一日出生。斑國ノ王ノ中デハ歴史上屈指ナ人トシテ仰ガレル。其性質ナドニ於イテハ餘リ善クナカツタ。

(三六) ふひりっぶ

米國ノ社會改良者。奴隸制度全廢ノ時同シク義俠ノ人トナツテ現レテ有名デアツタ。一八一一年、十一月二十九日出生。

(三七) ふひろびいまぬ

希國ノ武人。前二五二年出生。前一八二年毒ヲ飲ンデ歿シタ。武人トシテハ非常ニ腕ガ鋭ク、堅イ所ヲ破ルノカ最モ容易デ、ソレガ此人ノ長所デアツタ。

(三八) ふひすい

米國ノ外科醫。一七六年出生。米國ノ外科醫ノ中デハ殊ニ名ノアル人。一八三七年、二月十五日歿。其歿シタ時ニ社會ガ一般ニ此人惜シンダ。

(三九) ぴいゐるす

合衆國ノ第十四ノ大統領。一八〇四年、十一月廿三日出生。にら、はひぶしゐるすノ知事ノ子。ヨク教育ヲ受ケ、政治家トナリ、遂ニ大統領ノ職ニ就イタ。一八六九年歿。

(四〇) びぬだる

希國ノ大詩人。殊ニ叙情詩ニ富ンダ。前五二〇年頃出生。其時代ノ詩人トシテハ一流ノ名ヲ博シ、今日ニ至ツテモ其著ハ二三遺ツテ愛讀サレル。歿年ハ四三九年トモイヒ、或ヒハ四四二年トモイフ。

(四一) びっつ (William)

一七〇八年十一月十五日出生ノ英國ノ大政治家。始メ政治家トシテ現レタノハ一七三五年、其二十八歳ノ時デ、此時議會ニ入り、其翌年(うゑゑるす王家ノ結婚ノ事ニ就キ、議會ニ於イテ動議ヲ提出シ、コレヲ初步トシテ一流ノ政治家トナリ、段段ト世ノ中ニ立チ、ソレカラ其鋭イ辯テ敵ヲ撃チ倒シ、其劇シイ辯テ相手ヲ困ラセ、次第ニ人望モ重ク、遂ニ總理大臣ノ

位ニ昇リ、一代ニ名譽ヲ轟カシタ。一生ノ中ニ行ツタ事業ハ、イツレモ大キナモノハカリデ、英國ガ近代ニ於イテ長足ノ進歩ヲ爲シタノハ全ク此宰相ノ力デアツタトイフ。其子ノびっつ、モヤハリ大政治家トシテ仰ガレル。一七七八年貴族院デ發言權ヲ得、イザ演説ヲ爲ヤウトイフ所デ卒中デ歿シタ。其一代ニ書キ著シタモノハ四卷ノ書物ニナリ、一八三〇年カラ四〇年カケテ出版サレタ。

(四二) びっつ (The Right Honourable William)

一七五九年五月出生ノ英國ノ政治家。前ノびっつノ子。七歳ノ時、其父ガ貴族ニ列セラレタトイフ事ヲ聞キ斯ウイッタ。——「アア嬉シイ。私ガ總領デナカッタガ、私モ父ノヤウニ

衆議院デシヤヘツテ見タイ。貴族院デハシヤ
 ベツテハ見タウナイ。小サイ中カラ此氣象
 デ大イニ人ヲモ驚カシ、遂ニ一流ノ政治家ト
 イフ名譽ヲ轟カシ、父ヨリハ一増重イ人トナ
 ヲタ。丁度此人ノ出タ時ハ佛國革命ガ非常デ
 アツテ、トモスレハ英國ニ及ハウトスル其中
 ニ堅ク構ヘテ國ヲ鎮メ、遂ニ佛國革命ノ波ヲ
 受テズニ仕舞ツタ。一八〇四年五月總理大臣
 トナリ、暫ク支配シテ居タ。一八〇六年一月
 廿二日歿。政治家トシテ伎倆ハ近古ニ殆ド敵
 ノナイ人デアツタ。

(四三) ぶれえどお、又、ぶらどお

前四二〇年頃出生ノ大哲學者。家ハ雅典ノ貴
 族デアツタトイフ。幼年ノ時ノ名ハありすと
 して、其祖父ノ名ヲ繼イタモノ。其額ガ廣

ク、立派デアツタ處カラ仇名ガ本當ニナリ、ぶ
 らど即チ「廣イ」トイフ意味ノ語トイヒ、一説
 ニヨレハ額デナク、肩カラ付イタ名デアツタ
 トイフ。其傳ニ就イテハヨク分カラヌ。何ニ
 シロ其頃ノ大哲學デアツタニハ相違ナカツ
 タ。或人ノ話シニ據レバ、此頃既ニ世ノ中ニ
 ハ大哲學者をくらてすが現レテ居タ。此をく
 らてすが或時夢ヲ見タ。其夢ニハ若イ白鳥ガ
 わかですす森ノ方カラ來テそくらてすノ胸
 ニ來テ巢ヲ造リ、好イ聲ヲ出シテ鳴イタトイ
 フ事デ、ヤガテ此ぶれえどおモそくらてすノ
 門人トナツテ大哲學者ノ名譽ヲ轟カシタ。音
 樂、修辭學、書學、其他スベテ學術トシテ、技藝
 トシテ學バヌトイフ事ハ無ク、ソレカラ學校
 ナ開イテ、生徒ニ教ヘタ。所謂わかでみいと

イフ言葉モコレニ基イテ始マツタ事デ、わか
 でみいとイフ森デ生徒ヲ集メテ教授シタ。其
 生徒ノ中ニハ婦人ナドモ多ク、男子ノ中ニハ
 有名ナありすとつるモ出ク。哲學者トシテハ
 實ニ屈指ノ人デ、其哲學ハ後ニありすとつる
 ニ至ツテ種種ニ變ハツタ。此人ノ獨特ノ主義
 ハドウイフモノデアアルカ、其處ハタシカニ分
 カラス。何故トイハヨホドそくらてすノ説
 ガ雜ツテ居タ。後世一般ニ評ズル處デ見レバ、
 此人ノ哲學ハ二大綱領ニ分カレ、即チ其一方
 ハ方法、及ビ其一ハ結果、此二ツニ依ツテ哲學
 ナ研究シタノデアラウトイフ（そくらてす參
 考）。先ツ此人ノ主義ニ據レバ神即チGodハ宇
 宙ノ非常ニ俊レタ靈妙ナ理想デアアルノデ、其
 身ノ中ニスベテノ森羅萬象ノ物ヲ含ンデ同時

ニ此神トイフモノガスベテ宇宙ノ根源トナツ
 テキル。神ハ最善最良ノモノデ、嫉妬モセズ、
 恨ミモセズ、清淨潔白デ然モ永久不滅ニ尊イ
 モノデ、此頃ノ時代ニハ種種ノ神ニハイヅレ
 モ人間ト同シク、裝飾ヲ備ヘ、人間ノヤウナ心
 ナ持チ、人間ノヤウナ我儘ノ説ガ行ハレタ、此
 説ニぶらどおハ劇シク抵抗シテ遂ニコソヤウ
 ナ説ヲ立テタ。「非常ニ立派ナ最善最良ノ神
 ガ有ル」トイフ事ヲ生徒ニ教ヘテキル間、同時
 ニ其神ヨリハ劣等ナ神ガアルトイフ事ヲ認メ
 タ。此人ノ哲學ノ主ナモノハ此人ノ觀念ノ説
 デアツタ。觀念トハ人間ノ心デ出來タ想像、
 或ヒハ理解トイフノニ他ナラズ、其人間ノ精
 神トイフモノハ永久不滅ノモノデ常ニ存在ス
 ル。ソレカラ其存在スル故ニ苟シクモ理想ガ

ラシテ出テ此世ノ中ニアルベクモ無イラキ
 ナ立派ナ處ニ到着スルダケノ觀念ハ人間ニ具
 ハツテキルノデ、ソレ故若シモ茲ニ非常ナ書
 工ガ有ツタナラバ、其人ガヨシヤ非常ナ美人
 ナ見タ事ガナイニシロ、心ノ中ニ美人ハ斯ウ
 イフモノデアルトイフ理解ハ付キ、其觀念ニ
 因ツテ其筆ニ其美人ヲ畫キ出ス事ハ出來ル。
 ガ、此美人ハ、此世ノ中ニ必ズシモ有ルヨリハ
 一層立派デアアルカモ知レヌ。引キ括メテ言ヘ
 ハ、ソレマデニ種種ニ亂レテキタ希國ノ哲學
 ナ種種ノ方面カラ巧ミニ取リ合ハセヨノデ、
 之ガ抑ぶらとホノ眞面目デアツタ。シカモ此
 理想ニノミ傾キ、スベテ此社會ノ事ヲ以ツテ
 實體ヨリハ理想ノ方ニ傾カセヤウトシタノハ
 短所デ、其短所ヲ鋭クモ看破ツテ一派ノ説ヲ

立テタノハありすとホつるデアツタ(*あり
 すどおつる参考)。ぶらとホノ書物ハ許多反譯
 サレテ今日マデモ残ツテキル。

(四四) ぶらに

露國ノ博物學者。二三年ノ人。博物學ト歴史
 學トニ富ミ、所所ヲ歴遊シ、法律ナドヲモ修
 メ、其著述今日ニ遺ツテ有名デアアル。七九年
 八月以國ノへすひらす山ノ噴火ヲヨク目撃
 シ、ソレヲ其儘書キ記シテ今日マデモ遺シ
 タ。今日ニ殘ル其著ハ其「博物學(Nature His-
 tory. Libri XXXVII)」。

(四五) ぶらに

希國ノ哲學者。ねおぶらとにツク派。二〇四
 年出生。羅馬デ哲學ヲ教ヘ、二四五年ニ歿シ
 タ。哲學ニ就イテノ著述五十四卷ヲ遺シタ。

はらひノ評ニ據レバ此人ハ非常ニ宗教ノ念ニ
 富ミ、若シモコレカラ一世紀ノ後チニ生マレ
 タナラハ基督教徒トシテ有名ナ人ニナツタデ
 アラウトイフ。

(四六) ぶらに

希國ノ哲學者、兼道德學者、兼歴史家。五〇年
 頃出生ノ人トイフ。學者トシテハ有名ナ人
 デ、哲學ノ主義ハぶらとホノ説ヲ取り、之び
 ぶらとホノ派ニハ最モ劇シク反對シタ。文
 章デハ其時代ニ匹敵ガ無ク、大家ト仰レタ。
 今日ニ愛讀サレルノハ、此人ノ豪傑傳デ、其以
 前ノ名士ノ傳ヲ描イタモノ。ソレヲ拿翁モ愛
 讀シタトイフ。道德學者トシテモ一流ノ名譽
 ハ轟カシタ。

(四七) ぶらに

以國ノ古學者、兼詩人。一七五四年出生。一
 四九四年歿。主ナ著ハ拉丁ノ詩ノ反譯。

(四八) ぶらに

合衆國ノ第十一ノ大統領。一七九五年、十一月
 二日出生。一八四九年歿。一八二五年てね
 すいカラ選ハレテ議會ニ入り、遂ニ大統領
 トナツタ。

(四九) ぶらに

へねしあノ旅行家。一二五二年頃出生。諸國
 ナ旅行シ、一代ニ仰ガレ、一二七五年蒙古ノく
 ぶらに汗ノ許ニ至リ、大イニ其人ニ愛サレ、此
 王ノ命ニ依ツテ支那カラ東洋ニカケテ使節ト
 シテ送ラレタ。始メテ支那ヲ見タ歐洲人デ、コ
 レデ五六年間ヲ過ゴシ、ヤガテ此くぶらに汗
 ノ承諾ヲ得テ支那ノ海岸ヲ測量シ、一二九五

年へにすニ歸リ、金剛石其他種種ノ土産ヲ齎シタ。ぢえのあ人トノ戦ヒガ始マツタ時、此人モ出タガ破レテ虜ニナツタ。ソレカラ捕ハレテ井ル中、其經歷シタ趣キヲ歴史ニ編ンダ。コレガ世ノ中ニ傳ハリ、各國ノ語ニ反譯サレタ。中ニハ嘘ノ事實モアツタモノ、然シ面白イモノデアツタ。一八二四年歿。旅行家探險家トシテハ今日マデモ名譽ハ轟カシタ。

(五〇) ぽりびあす

希臘ノ歴史家。前二〇六年出生。文章ハアマリ人ヲ喜バセルホドデモナカッタ。ガ、其歴史ガ大イコ古史ノ研究ニ必要デアルトイフ處カラ有名デアアル。

(五一) ぽりぐのおたす

希臘ノ畫工。前四六〇年カラ四三〇年頃マデ

ノ人。

(五二) ぽびぺー

前一〇六年、九月卅日出生ノ羅馬ノ人傑。すらノ手ニ從ツテ社會ニ現レ、遂ニ其時代ノ屈指ノ人トナツタ。後チししゐるト權ヲ争ヒ、數多ノ戦ヒノ後チ、遂ニししゐるニ負ケ、果敢ナク歿シタ。然シナガラ羅馬ノ爲メニハ功勞ノアツタ人故。此人ノ肖像ハ羅馬ノ殿堂ニ飾ツテアル(『ししゐる参考』)。

(五三) ぶらしゆいぬ、又、ぶらしゆいぬ

一七九九年出生ノ露國ノ詩人。幼年ノ時カラ早ク詩ノ好ミヲ現シ、一八二一年其有名ナ著「Ruslan and Lyndmila」ヲ著シ、續イテ一八二二年「高加索山ノ虜(Pennik Kavkasoi)」ヲ著シ、

一方ノ詩人トイフ名譽ヲ轟カシタ。一八三七年人ト決闘シ劇シク傷ヲ受ケ、遂ニ歿シタ。

(五四) ぽおぶ

英國ノ詩人。あでいそぬト相並ンデ其時代ノ一流ト仰ガレタ。一六八八年五月廿二日出生。亞麻布屋ノ子デ幼年カラ詩ニ巧ミデ最早八歳ノ頃ニハはあさるノ詩ヲ讀ミ、コレヲ愛シ、十六歳ノ頃「Pastorals」ヲ著シ、一七〇九年マデハ出版サレナカッタ。一七一〇年批評ニツイテノ詩ヲ作り、ソレカラ段段ト地位ガ社會ニ重ク、遂ニ結局スル處ハ其大著述「Essay on Man」トイフ詩ニナツタ。コレハ一七三三年ノ出版デ、此人ノ名ヲ不朽ニサセタ原因デアツタ。實ニ英國ノ詩人ノ中デハ一流ノ名ヲ博スベキ人デ、後人モ此人ヲ仰グ。性質ハ少シ人ヲ嘲

ルノガ好きデ、且ツ批評ノ念ニ富ミ、少シ邪雅深クアツタ。ガ、然シ一個ノ詩人トシテハ立派ナモノデアツタ。

(五五) ぽるあぬ

希臘ノ學者、兼批評家。一七五九年、十二月廿九日出生。いいとぬ大學及ビつりにていゝ大學デ修業シ、ソレカラ社會ニ現レ、けいぶりぢゆデ希語ヲ教ヘ、古學者トシテ仰ガレタ。其主著ハ一七九七年出版ノ「Heebla」ナド。

(五六) ぶらあぬ

佛國ノ畫工。歴史畫、景色畫共ニ上手デ佛國ノらばあえるトイハレタクヲキソ人。一五九四年出生。十八歳ノ時カラ畫ヲ學ビ、段段巴里デ修業ヲ遂ゲ、其時代ノ大家ト仰ガレタ。一六六五年歿。

(五七) ぶれすこつ

米國ノ歴史家。一七九六年、五月四日出生。はるばるづ大學ヲ修業シ、希語ト拉丁語トニ熟シ、傍ラ古文學ヲモ研究シ、一代ニ歴史家トシテ仰ガレタ。米國ニ出タ歴史家ノ中デハ此人ガ第一ノ人デ、主テ歴史モ多クアル中デ、殊ニ一八四三年出版ノ「墨國征服史」、及ヒ一八四七年出版ノ「秘露征服史」ナドハ殊ニ有名デアッタ。ソレカラ又英國ニヒリッヂ第二世ノ時代ノ歴史モ此人ノ大著述ノ一ト數ヘラレル。

(五八) ぶりいすつりい

英國ノ哲學者、兼化學者、兼神學者。一七三三年、三月十三日出生。近代ノ化學者ノ中ノ屈指ノ人デ、化學ニ於イテ新タニ發見シタ處ガ頗ル多カッタ。一七七三年空氣ノ各種類ヲ研究

シ、續イテ呼吸ト血液トノ關係及植物ト炭酸瓦斯トノ關係ヲ發見シ、更ニ又窒素瓦斯、酸素ナドヲ發見シ、一七七四年酸素ヲ又水銀ノ沈澱物カラ得ルコトヲ發明シ、大イニ其時代ノ學者ヲ驚カシ、一方ニ化學者トシテ仰ガレタ。一七七二年カラ七四年ニカケテ宗教ノ著述ヲシ、一七七四年カラ八〇年ニカケテ空氣ニ就イテ詳シイ研究ヲ遂ゲ、續イテ又、哲學上ノ論文ナドヲモ著シタ。「基督教廢頓史」ハ此人ノ著述デ一七八二年ノ版。一七九一年ニハ佛國革命ニ就イテノはるばるノ論ニ對シテ議論ヲ草シタ。スベテ一代ハ化學、哲學共ニ有名トノ名ヲ轟カシタ。一八〇四年二月歿。

(五九) ぶるばるしやす

羅馬ノ詩人。前五〇年頃出生ノ人。非常ニ口

調ノ好イ詩ヲ作ッタ。

(六〇) どれみ・くるでいあす

希臘ノ星學者、兼地理學者。モトハ埃及ニ生マレテあれくさぬづりあニ住居シテ一二五年頃カラ一六〇年マデオタ人トイフ。星學者トシテハ大イニ今日マデモ其作ヲ遺シテ有名デアッタ。

(六一) びじ

英國ノ政治家、兼辯者。一五八四年出生。一六四三年歿。

(六二) ばるらす

前三一八年頃いばいらすニ出タ王。有名ナ武人デ、現ニはぬにはるナドハ此人ヲ非常ニ譽メ、名將トシテ此人ガ最モ屈指デアルトイフヤケナコトヲ言ッタ。所所デ戰ツテ非常ニヨ

ク克チ、羅馬人モ度度惱マサレタ。ぶるたるくふノ説ニ據ツテモ此人ハ實ニ軍事ニハ慣レ、決斷モ早ク、人君トシテハ最モエライ人デアッタ。

(六三) びさこらす

前六〇〇年頃出生ノ古代希臘ノ大哲學者。其詳シイ履歴ハ分カラヌ。ヨク諸學ニ通シ、遂ニびさこらす派トイフ一流ノ哲學ヲ象ツタ。哲學即チ Philosophy トイフ名ハ此人ガ始メテ作ツタモノトイフ。人心ヲ籠絡スルノガ一ノ立派ナ筋道デ、學者ノ志スベキ處ト考ヘタ處カラ、其弟子共ニ對スル關係モ甚ダ厚クアツタ。ソレ故、内外ノ區別モ明キラカニ、スベテ生徒ナドハ無言デ業ヲ修メロトイフ教ヘデアッタ。弟子共ニ對スル力ハ非常ニ大キク、

イツレモヨク此人ヲ仰ギ、此人ノ言フコトヲ聞カヌ者ハナカツタ。靈魂移轉論ヲ主張シ、惡念ハ惡念デ他ノ體ニ入ツテ結ビ付クモノトイッタ。後人ノ説ニ據レバ、印度ニ入ツテ釋迦ノ説ヲ受ケテ一種ノ主義トシタノカトイフ。著シタモノハ今日マデモ殘ルガ十分ニ委シクハ書イテ無イ。

Q

(一) でくえへおえへりええがす、班國ノ著述家。殊ニ人ヲ嘲ケル才ニ富ンダ。一五八〇年出生。一六四五年歿。主著ハ一六四九年出版ノ「夢、幻(Suenos)」。其技倆ハ假ルテゐるニ似タ。

(二) くいのね

佛國ノ狂言作者。一六三五年出生。一六八八年歿。其傑作ハ一六八六年出版ノ「Armede」。

(三) くいのねたわあ

一七七二年出生ノ班國ノ詩人、兼志士。一八五七年歿。一七九〇年カラ詩人トシテ現レ、一七九八年海ノ詩ヲ作ツテ大イニ世ニ知ラレ、續イテつらばるがるノ戰ヒテ詩ニシテ、コレ又喝采ヲ博シ、一八〇七年カラ三四年ニカケテ「班國名士傳」ヲ著シ、世ニ知ラレ、一八五五年班國ノ女王カラ橄欖ノ冠リヲ賜ハリ、詩人トシテハ大イニ名譽ヲ轟カシマ。

(四) くいのねていりあ

羅馬ノ批評家、兼修辭學者。四〇年或ヒハ五〇年頃ノ人。一一八年頃歿。其著述「Insulatio」ハ一七五六年英語ニ反譯サレタ。

R

(一) らぶふれえ、又、らぶれえ

佛國ノ文學者。殊ニ滑稽ノ才ニ富ンダ。一四九五年出生。一説ニ據レバ一四八三年始メテ僧徒トナリ、中途デコレヲ嫌ヒ、職業ヲ罷メテ文學者トナツタ。希語、拉丁語、其他各國ノ語ニ通シ、一五三〇年頃カラ藥學ヲ修メ暫クハ藥劑師トナリ、續イテ羅馬駐在ノ佛國公使ニツイテ羅馬ニ至リ、其處デ詩ヲ研究シタ。一五五三年歿。其大著述ハ「がるがぬつわノ面白キ物語リ(Les Fuits et Diets du Géant Gargantua et de son Fils Pantagruel)」デ、社會ヲ罵倒シテ最モ鋭ク、殊ニ僧徒ノ社會ノ内幕ヲ暴露イタ。

(二) らしぬぬ、又、らしぬ

一六三九年、十二月出生ノ佛國ノ詩人。殊ニ狂言作者トシテ名譽ヲ轟カシマ。佛國ノ詩人ノ中デハモリえるト肩ヲ並ベテ一流ノ名ヲ繫ク人デ、初メハ希語ト拉丁語トニ通シ、ソレカラ各國ノ言語ヲ修メ、一七六〇年「せぬ川ノ神女(La Nymphe de la Seine)」ヲ著シ、コレデ詩人トシテ世ニ知ラレ、ソレカラ神學ヲ修メ、巴里ニ行キ、モリえるナドトモ交際シ、一六六四年其有名ナ悲劇「La Thébaïde」ヲ著シ、續イテ一六六七年始メテ「Andromaque」ヲ著シテ大家ノ名ヲ博シタ。コレカラ全ク地位ガ社會ニ重ク、遂ニ悲劇ニ於イテハ匹敵スル人モ無イホドニナツタ。一六七七年三十八歳デ妻ヲ娶リ、一六八九年「Esther」、一六九一年「Athalie」ヲ著

シタ。此第二ノ作ナドハ其友人ふゐるおノ説ニ從へハ、らしぬぬノ作ノ傑作デアツタトイフ。晩年二十年ハ全ク宗教ノ事ニ關係シテキタ。一六九九年四月廿一日歿。後代ノ批評家ハ何時デモ佛國ノ詩人ヲ語ル時ハ此人トこるぬいゆトチ相對サセル。

(三) ろゐり

日本テ訛ツテられいトイフ。一五五二年出生ノ英國ノ政治家。殊ニ冒險ノ念ニ富ミ、一生ハスベテ小説ノヤウナ事ヲ終ツタ。女皇エリザベスニ愛サレ、米國ナドニモ渡リ、烟草ヲモ歐洲ヘ移シタ始メテノ人トシテ後チニモイフ。權力モ次第ニ社會ニ重ク、政治部内ニハ人望モ有リ、一方カラハ歴史家トシテ文才モアリ、萬能共ニ達シタ。後チ人ニ忌マレ、一六

一八年十月斬罪ノ刑ニ處サレタ。幾分カ一代ハ才智ノ方ガ實際ノ事業ヨリハ優ツテキタ人デアツタ。

(四) らぬぢるふ

一七七三年出生ノ米國ノ辯者。其辯舌ニ於イテハ其時代ニ敵ガ無カッタ。

(五) らふゐえる。又、れえふゐえる。又、らふゐえる。

一四八三年、四月六日出生ノ畫工ノ大家。近代ノ畫工ノ中デハ第一流ノ名ヲ博シタ。天性丹青ノ業ニ熟シ、筆ヲ取ツテ紙ニ臨メハ自カラ畫ヲナシタ。幼年ノ時カラ事ヲ好ミ、研究怠リナク、遂ニ一流ノ名ヲ轟カスヤウニナツタ。其畫ハ穩カデ、シカモ愛ラシク神女ナドヲ描カセテハ敵ガナツタ。此人ノ畫ハ歐洲ニ殘ツ

テキルモノノ、イヅレモ珍重サレ、價ニシテハ何十萬圓トイフ相場ガ付イテキル。一五一五年羅馬法王ノ毛氈ノ圖案十種ヲ作り、其物ハ今日モ遺ツテ美術家ガ珍重スル。一五二〇年、四月六日三十七歳テ歿。

(六) れ

一六二一年、十一月廿九日出生ノ英國ノ植物學者、兼動物學者。鍛冶屋ノ子デアツタ。主ナ著ハ一六七〇年著シタ「英國植物圖譜」(Census Plantarum Angliæ)ナドデアツタ。後チニF. R. S. トナリ、一六八六年カラ一七〇四年ニカケテ出版シタ「植物學語彙」ト題スルモノハ今日モ植物學者ガ無一ノ參考トシ、一六九三年著シタ「爬行動物及ヒ蛇」ト題スルモノモ動物學者ノ無一ノモノデアアル。一七〇五年

歿。

(七) でふ。れおおむる。

佛國ノ物理學者。一六八三年出生。寒暖計改良家トシテ有名ナ人。今日日本ナドドイツ列氏ノ寒暖計ハ此人ガ製作シタモノ。鐵ヲ鋼ニスル事ヲ研究シ、一七二二年其始末ヲ記シテ大イニ世ニ益ヲ與ヘ、一萬二千リイブルノ賞與ヲ得タ。續イテ人工デ卵子ヲ孕ス事ヲ工夫シ、遂ニ一七三一年計ラズ寒暖計ヲ作り出シタ。此人ノ寒暖計ハ氷點ト沸騰點ノ間ヲ八十度ト定メタモノデ、此事ノ一代ノ事業ニ就イテハくびエモ賞讃シタ。一七五七年歿。

(八) れかみえ

佛國ノ美人。一七七七年出生。一七九三年時ノ銀行家れかみえトイフ人ニ嫁シ、ソレカラ

まだむ・で・すてゑるト親交ヲ結ビ、一八〇五年ニハ大イニ拿翁ニ愛サレ、一八〇六年其夫ガ破産シタ處デ、まだむ・で・すてゑるノ許ニ住マヒ、ヤガテ普國ノわうぐすつす王ニ眷戀サレ、結婚ノ約定ヲシタガ、未練ハ前ノ銀行家ニ殘リ、ソレカラ遂ニ約定モ破レル事ニナツタ。一八一一年ソレラノ事カラ拿翁ニ怒ラレ、巴里ヲ追ハレ、暫ク外ニアリ、拿翁ガ居ナクナツテカラ巴里ニ歸リ、住居シテキタ。其容貌ノ美ハシクアツタノト才能ノ長ケタノト有名デアツタ。一八四九年歿。

(九) れえでい

以國ノ博物學者、兼詩人。一六二四年出生。一六九五年歿。哲學ハがりれおノ派デ其時代ノ大家トシテ仰ガレタ。主ナ作ハ一六六八年

出版ノ「無血蟲論」ナド。

(一〇) れぢおもぬたぬ

獨逸ノ星學者。本名ハよはぬみるれるデアツタ。主ナ著ハ「新曆(Kalendarium Novum)」デ、一四七五年同シク九四年及ビ一五二三年ノ三年間ノ月日ヲ記シタモノデ、歐洲ニ始メテ曆ノ出版サレタ開祖デアツタ。其他ニ一四六四年出版ノ「平面立體三角形」ト題スルノガ傑作デアツタ。

(一一) れふある

佛國ノ詩人。一六五五年出生。一七〇九年歿。滑稽ノ才ニ富ミ、諸國ヲ歴遊シ、ヤガテアル貴婦人ニ心ヲ寄せ、其人ヲ妻ニシヤウト思シタ處、其婦人ノ前ノ夫ガ存生デアツタ故叶ハナカッタ。一六八一年カラ翌年ニカケテハ北冰

洋マデモ行キ、巴里ニ歸ツテカラ狂言ヲ作ツタ。其中ノ傑作ハ「La Joueur」。

(一二) りんぶ

蘇國ノ神學者、兼哲學者。一七一〇年四月出生。處處デ哲學ヲ修メ、一七六四年「人心論」ヲ著シ、一七八五年「人智論」ヲ著シ、同八八年

外共ニ取り、コレヲ哲學ノモトトシタ。ソレホドデアアル故此人ノ説デハ物ト心トノ二元ハ存在スルモノト定メタ故、後世カラハ二元論者トモイフ。かぬつト比較シテ劣ル點ハ注意ノ綿密デアツタニ拘ハラズ活用ノ才ニ於イテ乏シカッタ一點デアツタ。

(一三) れむふらぬつ・はぬ・らいぬ・又、れむふらぬつ・へるりつ

「人心活力論」ヲ著シ哲學者トシテ知ラレタ。一七九六年歿。此人ノ哲學ハひらむトハ反對デアツタ。思考ト實用トノ二ツデ人心ノ作用ガ出來、ソレカラ衆人ノ理解力デ考ヘテ神聖ト認メタモノガ眞理デアルト定メタ。ソレ故此人ノ論ハべえこぬトでかるつトノ二ツノ説ヲ合ハセタモノデアツタ。即チべえこぬハ外界ノ實驗ヲ元トシ、でかるつハ内界ノ思想ヲ元トシタ。其處チ双方折衷シ、此りいづハ内

蘭國ノ畫工。歴史畫、肖像畫共ニ長シタ。一六〇六年、六月十五日出生。坑夫ノ子デ幼年ノ時カラ畫ヲ好ミ、段段修業ヲ遂ゲ、遂ニ一代ノ大家トナツタ。一六三二年アル博士ノ手ニナツタ解剖學講義ニ挿シ畫ヲシ、大イニ社會ニ知ラレ、ソレカラ所所カラ畫ヲ依頼サレテ遂ニ有名ナ人ニナツタ。一六九九年十月歿。

(一四) でふ・れむらざわ
 佛國ノ哲學者、兼大臣。一七九七年出生。一八四五年出版ノ其著、「獨逸哲學」ト題スルノガ屈指デアツタ。

(一五) れふのぬ
 佛國ノ文學者、兼東洋學者、兼批評家。一八二三年出生。初メ僧トナラセト思ヒ、一轉シテ宗教家ノ列ヲ離レ、一八五五年せみて、^いック語ノ沿革史ヲ著シ、言語學者トシテ世ニ知ラレ、ソレカラすいりわナドヲ漫遊シ、其古代ノ言語ヲ調べ、歸ッテカラ大學ノ教授トナツタ。主ヲ著ハ一八六三年出版ノ「耶蘇ノ傳」及ヒ一八六六年出版ノ「耶蘇教根原史 (Histoire des Origines de Christianism)」。

(一六) でふ・れえす

佛國ノ僧。策略ニ富ミ、殊ニ人望ヲ取ルノガ上手デアツタ。一六二四年出生。種種ノ計策ヲ運ラシ、寺院ニ大改革ヲ行ツタ。名ハ僧デ、事業ハ全ク政治家ト同シヨトナシテ、大名ヲ世ニ轟カシタ人。一六七九年歿。其著一七一七年出版ノ隨筆ハ大イニ面白イモノデア

(一七) ろいふりいぬ
 獨逸ノ文學者。一四五五年出生。拉丁語ト希臘トニ熟シ、其時代ノ有名ナ學者デアツタ。一五二二年歿。主ヲ著ハ「Speculum Oculare」。

(一八) れぬゐるづ
 一七三三年、七月十六日出生ノ英國ノ陶器畫工。英國ノ陶器畫工ノ中デハ、最も屈指ノ人デアツタ。羅馬、^てふるれぬすナドヲ歴遊シ、大イ

ニ智識ヲ弘メ、歸ッテカラ第一等ノ名ヲ博シタ。其傑作トシテ聞コエルノハ一七八六年露國ノ皇后ノ命ヲ受ケ陶器ニへるさゆりいすガ蛇ト争フ圖ヲ描イタ。コレラハ此人ノ傑作トシテ遺ル。一生妻ヲ娶ラズ、其腕ノイイ處カラ許多ノ報酬ヲモ受ケ、財産モ多ク拵ヘ、一七九二年二月歿シタ時ニハ八萬磅(我が四十萬圓餘)ノ地所ヲ遺シタ。此人ガ畫ヲ描クニ於イテハ非常ニ敏捷デ、最モ手早クアツタトイフ。

(一九) りちやるづとぬ
 英國ノ小説家。一六八九年出生。英國ノ小説ヲ中興シタ開祖トシテ今日モ仰ガレル。村ノ學校ニシテ教育ヲ受ケ、其間ニ文才ハ既ニ現レテ井、或ル妙齡ノ婦人達ニ頼マレ、其女ノタ

メニ代筆シテ其女ガ情夫ニ送ル艶書ヲ認メテ大イニ重寶ガラレ、ソレヲ婦人達ニ愛サレタ。十七歳ノ時、倫敦ノ印刷業ノ家ニ職工トナリ、ソコデ印刷業ヲ修メ、主人ニモ氣ニ入ラレ、後チ其主人ノ娘ヲ妻ニ娶リ、一七四〇年ハシメテ其第一ノ著述「Pamela」ヲ著シ、非常ニ世ノ中ニ行ハレ、コレガ爲メ遂ニ英國ニ一種ノ文學ガ成リ立ツタ。續イテ一七四八年「History of Clarissa Harlowe」ヲ著シタ。之ナドハ既ニモウ此人ノ最後ノ傑作トシテ知ラレタ。ソレカラ一七五三年「Sir Charles Grandison」ヲ著シタガ、コレハ少シ評判ガワルカッタ。一七六一年、七月四日歿。

(二〇) でふ・りしえりゆら、又、でふ・りしえら
 しえら

佛國ノ人傑。一五八五年、九月五日出生。政治家トシテ最モ有名ノ名ヲ轟カシタ。性質ハ策略ニ富ミ、巧ミニ人ノ心ヲ籠絡シ、段段ト社會ニ地位ガ重クナリ、遂ニ佛國ノ大權ヲ握リ、其一顰一笑ハ佛國ノミナラズ歐洲全體ニ影響ガ及ンダクヲサシコナツタ。政治上ノ敵ハ多ク、（一）でめいでいしすデ、コレト種種ニ權威ヲ争ヒ、殆ド一代ハ權力ノ争ヒテ埋マツタ。此リシエリウガ一代ニシテ仕業ノ大キナ事業ハ加爾維尼教ヲ鎮壓シタ事デ、其腕前ノ上手デアツタ事ハ今日ニ至ツテモ兎モ角モ賞メル。佛國ノタメニ充分ト盡シタ處モアリ、佛國ノ版圖ヲモ擴メ、敵カラ非常ニ憎ガラレタモノノ、一個ノ屈指ノ政治家トシテ人民カラモ仰ガレタ。ガ、人ノ傳フル處ニ據レバ、憎マレタ方ガ多

ク、一六四二年、十二月四日コレガ巴里デ歿シタ時ニハ人民ノ多數ガ大イニ喜ンダ、然モ喜ビノ火ヲ焚イタトイフ。
性質文學ノ鑑識チモ有シ、著述家、美術家、技術家ナドチモ随分ト保護シタ。
（二）りふてゐる、又、トやぬ、ばうる
普通ニトやぬ、ばうるトシテ有名ナ人。獨逸ノ文學者、兼著述家。一七六三年、三月廿一日出生。父ハ學校ノ體操ノ教師デ、其後チ僧徒ニナツタ。りふてゐる幼年ノ頃ニハ餘リ教育チ受ケズ、ソレナガラ哲學ニ深ク、拉丁語ト希語トニ熟シ、一七八〇年（一）ら（二）い（三）く（四）ノ大學ニ入ツタ。其後チ神學チ修メ、殊ニ詩ト哲學トチ好シダタメ、神學チ打チ捨テテ仕舞ヒ、文學者ニナル氣ニナツタ。然シナガラ家ガ貧乏デ一身

ニ負ツタ借財モ多ク、ソレヲ償却スルタメ一七八三年（一）ぐ（二）り（三）い（四）ぬ（五）ら（六）ぬ（七）づ（八）ノ訴訟事件ト題スルモノヲ著シ、幾分カ金ヲ得タ。ソレカラ一七八八年「Auswahl aus des Tenfels Puhieren」ヲ著シ、一七八五年（一）ら（二）い（三）ぶ（四）つ（五）い（六）く（七）ノ大學チ去リ、ソレカラハ暫ク母ト共ニ住居シ、小學校ナドヲ教ヘ、アマリ評判モ無クテ暮ラシタ。一七九三年ニ至ツテ始メテ「Die unsichtbars Loge」ヲ著シ、世ノ中ニ聞コエ、續イテ翌年小説「Hesperus」ヲ著シ、大イニ喝采ヲ博シ、全クコレカラ一代ノ文學者トシテ仰ガレタ。コレラニ勇氣チ付ケラレテソレカラ一七九八年精神不滅ニ就イテノ作「Das Campansal oder die unsterblichkeit der Seele」ヲ著シ、コレ亦大喝采ヲ博シタ。一八〇一年妻チ娶リ、一八〇九年

大宰相カある（一）ふ（二）を（三）ぬ（四）た（五）る（六）べ（七）る（八）カラ一七九〇年（一）ロ（二）オ（三）リ（四）ヌ（五）ノ年金ヲ得、コレカラハ生計モ豊カニナツテ、全ク一個ノ文學者トナツテ社會ニ立ツタ。一八二五年歿。主チ著述ノ中、小説デハ一七九六年出版ノ「Quintus Fixlein」、一七九七年出版ノ「Der Julel Senior」、一八〇〇年カラ同三年ニカケテ出版マシ「Titan」及ビ、一八〇五年出版シタ「Elegjalne」ナドデアツタ。殊ニ此中デモ「Titan」ハ其傑作トシテ聞コエ、一八六三年英語ニモ反譯サレタ。ソレカラ又此人ノ大著述ト聞コエルノハ一八〇四年出版ノ「審美學入門（Vorschule der Asthetik）」デ、今日モ人ガ珍重スル。又一八〇七年出版ノ「Levin」モコレ又有名チ哲學ノ論文デアツテ、教育學ニツイテ大イナ研究チ遂ゲタモノデアツ

タ。一八二六年カラ三三年ニカケテ、八卷ニナ
ツテ其「自傳 (Wahrheit aus Jean Paul's Leber)」
ヲ著シタ。

(二二二) りえぬすい。又、りえぬぞお

古代羅馬ノ志士。國中ガ無政府ノ姿ニナツテ
大イニ頽廢シタノヲ見テ、慨然トシテ人民ヲ
鼓舞シ、自カラ其大將トナリ、國ノ運命ヲ恢復
シヤウト思ツテ世ノ中ニ聞コエタ人。後チ敵
ニ憎マレ、國チ追ハレ獨逸ヲ漂泊シ、遂ニ捕ハ
レ、二三三四年羅馬ニ送リ歸サレ、殺サレタ。
此人ノ傳チハ半分小説ニ仕粗ンデリ。どぬガ
「Rienzi」ト題シ、世ニ行ハレル。又詩人ばい
るぬ、其有名ナ大著「Childe Harold」ノ中チ次
ギノヤウニ詠ツタ。

“Redeemer of dark centuries of shame,—

The friend of Petarch,—hope of Italy,—
Rienzi! last of Romans!”

即チ譯セバ、「耻辱ノ聞ノ何千年！其聞カラ
國チ救ハウトシタ人。べつらるくふノ友、い
たりいノ望ミノ綱。嗚呼りえぬ！羅馬男子ノ
最後ノ人！」

(二二三) りてぬはらす

米國ノ星學者、兼數學者。一七三二年、四月八
日出生。一七五〇年頃ハにうさぬ「Principia」
ニヨク通シ、十九歳ノ前ニ「Fluxions」ノ理ヲ發
明シ、其後拉丁語ヲ修メ、數年間ハ時計屋ノ職
工場ニ行ツテ時計ナドヲ作ツテサタ。ソレガ
ヲ熟練ヲ經テ、段段機械學ノ智識ヲ得、遂ニ數
學者、兼哲學者トナツテ世ニ知ラレタ。一七
六三年、六月三日金星經過ノ時、精密ヲ研究チ

遂ゲ、世ノ中ノ學者輩ヲ驚カシ、一七九五年
F. R. S. トナリ、全ク星學者トシテ世ニ立ツタ。

主チ著ハ「Transactions of the American Philoso-
phical Society」。一七九六年六月歿。

(二二四) りてゐる

獨逸ノ地理學者。一七七九年出生。歐洲諸國
ヲ漫遊シ、歴史學ナドヲ學校ヲ教授シ、傍ラ地
理學者トシテ世ニ聞コエタ。一八二二年「Die
Erdekunde im Verhältniss zur Natur und zur
Geschichte des Menschen」十八卷ヲ著シタガ、コ
レハ實ニ此人ノ傑作デアツタ。一八五九年歿。

(二二五) りばゐる

佛國ノ文學者。殊ニ滑稽ト頼オトニ富ンダ。
一七五三年出生。一八〇一年歿。主チ著ハ「名
士小傳 (Petit Almanach des Grands Hommes)」。

(二二六) ろうべすびゐる。又、ろうべすび
える。

佛國ノ惡黨。一七五八年出生。佛國革命ノ時
ニ當タリ政治家トシテ現レ、殘虐チ隊伍ヲ組
ミ、人民ヲ煽動シ、血ヲ見ルコト水ノ如ク、一
派チ自由自在ニ振ルヒ、佛國ノ天下ヲ蹂躪シ、
亂暴狼藉至ラヌ限ナク、惡人ト命セラレタモ
ノノ、勢力ノ有ル處暫ラクハ餘年ヲ食リ、遂ニ
一七九四年、七月二十八日其共謀ノ仲間廿人
ト共ニ斬罪ノ刑ニ處セラレタ人。

(二二七) ろぢぢやるす

英國ノ詩人。一七六三年出生。一八五五年歿。
學校チ卒業シテカラ、父ノ銀行ヲ手代トナッ
テ業ヲ營ミ、一七八六年迷想ニ就イテノ詩ヲ
著シ、一七九二年「記憶ノ愉快 (Pleasures of

Memory)「著シ、非常ニ優美ナ詩トシテ大イ
世ノ中ニ知ラレ、續イテ一八一九年「人間ノ
生涯(Human Life)」著シテ、全ク大家トイ
フ名ヲ博シタ。一生妻ヲ娶ラナカッタ。

(二二八) ろらぬづ

有名ナ婦人。一七五四年、三月十七日佛國出
生。父ハ彫刻家デ、此ろらぬづモ幼年ノ時
カラヨク教育ヲ受ケ、拉丁語ト音樂トニ熟シ、
好シデふるたるくふノ豪傑傳ヲ愛讀シ、九歳
ノ頃ハソノ文章ニ通シタ。一七七五年頃、ろら
ぬづ氏ニ嫁シ、ソレカラ後ナハ慈善ノ事業
ニ當タリ、其時代ニ屈指ノ人トナツタ。一八八
四年夫ト共ニ英國ニ至リ、一七八七年瑞國ニ
至リ、其土地ニ自由主義ノ騒ギノアツタ處ニ
當タツテ大イニ其自由主義ノ味方ヲ取り、其

方ニ扶助ヲ與ヘ、婦人ノ身ヲ以ツテ社會ノ事
務ニ當タリ、非常ニ名ヲ轟カシタ。一七九二
年其夫ガ内務大臣トナツタ時、ヨク夫ヲ扶ケ
テ内外ノ事ニ注意ナシ、コレガ爲メニ夫ガ受
ケタ影響ハ一方ナラナカッタトイフ。一七九
三年五月夫ノろらぬづハトやてびぬ黨ニ憎
マレ、去ツテ田舎ニ行キ、其處ニ暫ク住マツテ
シタ。妻ノ此ろらぬづ夫人ハ巴里ニ止メラ
レ、其後チ六月十一日牢ニ入レラレタ。丁度
此前ニ可笑シナ物語リガアツタ。此時ニ世ノ
中ニ聞コエタ若イ紳士ぎろぬづでいすの黨ノお
ぞツトイフ人ハ非常ニ性質モ立派デ且ツ人
品モ美シクアツタ處カラ幾分カ此ろらぬづ
モ此人ヲ愛スル念ガアツタ。其事チ夫ノろら
ぬづガ知ツテ幾分カ不愉快デアツタ故、牢

ニ入ツテキル中ハムシロ家内ニ風波ガ起コラ
ナイト思ツテ安心シテサタホドデアツタ。後
チ牢カラ赦サレ、遂ニ斷頭臺ニ送ラレ、斷頭臺
ノ露ト消エタ。死ヌ時ニ於イテモ自由ノ名ヲ
呼シテワルビレナカッタトイフ。一七九三年
十一月九日歿。

婦人トシテハ事業ガ如何ニモ恐ロシクアツ
テ、ソレカラ餘マリ柔テカイ徳ニ背クトイフ
モノノ、兎モ角モ不思議ナ烈女デアツタニハ
相違ナイ。其人品モ氣高シ、心モ雄雄シク、佛
國ノ婦人ノ中デハ世界ニ鳴リ渡ル人デアッ
タ。一八六五年出版ノ之でいひばるぐ評論雜
誌ノ記者ハ此人ヲ評シテ斯ウイッタ。——「吾
吾ノ今日ノ意見ニ依ツテ此人ヲ評スレバ、温
柔ノ徳、眞實ノ情、道徳ノ念ナドニハ欠ケテア

ツタ婦人デアツタガ、其生キテキタ時代ノ道
徳カラ標準ヲ立テテ見レバ如何ニモ貴イ人デ
アツタラウ。此人ガエライトカ貴イトカイフ
事チイフガ、英雄崇拜ノ主義ガエライトイフ
ナラバ如何ニモ此人ハエライニ違イナイ。

(二二九) ろみり

一七五七年出生ノ英國ノ政治家、兼法律家。
一八一八年十一月發狂シテ自殺シタ。法律ニ
於イテハ最モヨク深ク通シ、議會ニ於イテモ
鏘鏘タル名ヲ現シ、殊ニ有名デアツタノハ一
八一五年拿翁ガえるば島カラ遁ケテ戻ツテ來
タ時、此人ニ對シテ戰ヘトイフ事ヲ主張シ、大
イニ人ヲ勸カシタ。主ナ著ハ一八一四年出版
ノ「英國刑法論」。

(三三〇) ろむらす

羅馬ノ開祖。半分ハ小説的ノ人物。前七五〇年頃ノ入トイフ。

(三二一) るおざ

以國ノ書工。歴史書、人物畫、戰爭畫共ニ其長所デアツタ。一六一五年出生。一六七三年歿。想像ガ最モ大キク廣ク、且ツ毒毒シイホド細カク、ソレ故、戰爭ノ圖ナドニ最モ技術ヲ現シタ。

(三二二) るすこお

英國ノ歴史家、兼詩人。一七五三年三月八日出生。一八三一年歿。奴隸制度全廢ノ説ニ左袒シ、ソノ爲メ種種ノ論文或ヒハ詩ナドヲ書イタ。歴史家トシテハアマリ勝手ナ評論ヲスルノデ、幾分ガ評判ハワルイ。ガ、然シナガラ眼ハ鋭ドカッタ。

(三三三) るす (Sir James Clark)

F. R. S. 有名ナ英國ノ南氷洋ノ航海者。一八〇〇年四月倫敦デノ出生。一八六二年歿。段段航海ニ熟練ヲ得、遂ニ南氷洋南緯七十八度ノ處マデ到着シ、マルズ氷ヲ埋マツタ大陸ヲ發見シ、コレヲピクトリウラぬフト名付ケ、其海岸七百哩ダケヲ旅行シテ見タ。四年ヲ經テ後、英國ニ歸リ、此始末ヲ殘ラズ記シテ出版シ、大イニ學者ノ參考ニ供シタ。

(三四) るす (Sir John)

一七七七年出生ノ蘇國ノ航海者。前ノ叔父。北氷洋探險デ有名ナ人。一八五六年歿。

(三五) るす (S. S. S.)

一七九二年二月廿九日出生ノ以國ノ音樂者。一八六八年歿。

(三二六) るうとあ

一七二二年六月廿八日出生ノ瑞國ノ哲學者、兼能辯家。時計屋ノ子デアツタ。母ハ非常ニ賢女デアルトノ評判ガアツタ。ガ、此るうとあガママ乳呑ミ子ノ中ニ早ク身罷リ、ソレ故充分ノ教育ハ與ヘラレナカッタ。幼年ノ時此人ガ愛讀シタノハふるたるくふノ作デ、此影響ヲ受ケテ大イニ自由主義ヲ愛シ、獨立ノ念ニ富ンダ。一七二二年ノ頃、父ハ或軍人ト喧嘩シ、其爲メ國ニキラレナクナリ、余所ニ遁ゲ其子ヲ叔父ノ許ニ預ケタ。一七二六年即チるうとあガ十五歳ノ頃、或彫刻家ノ許ニ丁稚トシテ送ラレ、其處デ非常ニ虐待サレ、遂ニ堪マラズ、一八二八年遁亡シ、ソレカラ貴族をレ殺す家ノ令夫人ニ憐レマレ、大イニ其人ノ保

護ヲ得テ始メテ安安トシタ世ヲ送ルヤウニナツタ。ソレカラ所所ノ貴族ノ家ニ給事トシテ召使ハレタガ、其間苦辛ヲ勉強シタガツマリ他日大哲學者トナル元デアツタ。一七三六年われぬすノ令夫人ニ從ツテ、しゑるめツツノ田舎ニ移リ、其處ニ二三年間住居シタ。此頃ガ實ニ他日記シタモノニ因ツテモ幸福ナ時代デアツタ。最モ世ノ中ノ苦シイ思ヒヲ嘗メ盡シタ時デアツタト其有名ナ大著述懺悔録ニ記シアツタ。幼年ノ時カラ鬱憂性デ神經質ノ傾キガアリ、間發狂スルカフ成績ガ現レタ。一七四一年音樂ニ就イテ幾分ガ發見スル處ガアリ、ソレヲ以ツテ名譽ヲ得ヤウト思ヒ、巴利ニ行ツタ。其時ノ懷中ハ實ニ乏シカッタ。ソレカラ或學者ノ紹介ヲ得テ學士會院入り、其自

分ノ新發明ノ論說ヲ朗讀シタガ、全クコレデ恥ヲ揆イタ。シカモ用キラレヌトイツテ擯斥サレタ。コレカラ愈窮迫ハ窮マリ、如何ニモ苦シク、其間ヲ辛クシテ忍ンテ生活ヲシテ中、漸クヘにテ駐在ノ佛國ノ公使モぬてトイフ人ノ書記トナリ、ヤウヤウ給料ニ有リ付イタ。ソレカラヘにテ二十八ヶ月ヲ。一七四五年巴里ニ歸リ、時ノ大家ト交際モ結ビ、コレカラガ段段世ノ中ニ現レタハシメデアツタ。ソマリ一生涯ハ全ク逆境ヲナシタノデ、此方ニ就イテノ經驗ハ最モ深ク、ソレ故懺悔錄ヲ著マテ、其中ニ記シタ事實モ一涙カト思ハレシヲ痛快デアツタ。一七五二年始メテ「Se Devin du Village」ヲ著シ、非常ニ成功シ、時ノ王モ其作ノ愛テタイノニ感シテ此著

者ニ逢ヒタイト言ツタ。ガ然シるうそかハ何ト無シ氣ガヒケテ逢フノモ面倒臭ク、遂ニソレヲ拒ンダ。其性質ハ逆境ヲ踏ンダ故、斯ウイフ風デアツタ。一七五二年人間世界ノ不平均ヲ原因ニ就イテノ論ヲ著シ、スベテ人間トイフモノハ平等ニ様ノ運命ヲ持タナクテハナラヌト論シタ。コレヲモ自分ノ境遇カラ論シタ事デアツタ。ソレカラ自由主義ヲ愛シ、人間ノ權利ガ平等デアルトイフノモ幾分カ自分カ逆境ヲ踏ンダ故テ、若シモコレヲ踏マナカツタナラバ其味イハ分カラナイ。一七五三年社會ノ虚飾ヲ論破シタ文ヲ記シ、一七五四年しえのニ至リ非常ニヨク優待サレタ。此頃ハ既ニモウるうそかガ一ノ大哲學者大文學者トシテ現レタ。ソレカラ處處ニ歴遊シ、一七六

〇年「Nouvelle Héloïse」ヲ著シ、又其大著述トイフノデ世間ヲ驚カシ、愈一流ノ名ヲ轟カシタ。殊ニ此人ノ名ヲ不朽ニサセタ作ハ所謂「Confessions」即チ懺悔錄デ、イハハ自傳トモイフベキモノ。シカモ其主義トイフモノヲ描イタモノデ、一個ノ小説トシテモ見ラレル。ムシロ哲學ノ論文トシテモ見ラレル。空前ノ大作デアルトイフコトハ何時モ人ガ承認スル。一七七八年七月二日歿。

(三二七) るわあえ・こらゐる

佛國ノ哲學者、兼政治家。一七六三年出生。一八四五年歿。佛國大學テ哲學ヲモ教授シタ。革命ノ時ニハ人民ノ味方ニナツテ可ナリノ名ヲ擧ゲタ。其哲學ノ主義ハりいづノト同ヲデアツタ。其最後期ニ言ヒ殘シタ句ガ面白カツ

タ。即チ「世界ニ何が難イトテ宗教ノ念ヨリ難イモノハナイ」。

(三八) るうべぬづ

一五七七年出生ノ佛國ノ畫工。歴史畫、人物畫、肖像畫、景色畫、動物畫共ニ長シデアツタ。ソノ傑作ハ「あまぞぬ川ノ戦ヒノ圖」ナド。此人ノ門カラシテ種種ノイイ畫工モ出タ。

(三九) るうせゐる

一二一八年出生ノ人。埃國ノ帝國ノ創建者。一二九一年歿。

(四〇) るうぬけぬ。又、るうねふけぬ

獨逸ノ博言學者、兼批評家。一七三三年出生。初メ法律ト歴史ト古文學トヲウゐてひべる。テ修メ、遂ニ博言學者ノ名ヲ博シタ。主ナ著述ハ「Epistola Critica」ナド。一七九七年歿。

ナ御マ、徳ヲ以ツテ名譽ヲ繫イタ人デアツタ。宗教ノ念ニ富ミ、苟クモ善道ヲナクテハ蹈マズ、波國ノ賢人ト云フ評サヘアツタ。詩ニ於イテハ叙情詩ガ上手デ、言句明亮、音調優美、波國ノ詩ノ代表トシテ立派デアツタ。

(二) さびぬ

英國ノ數學者。一七八八年出生。F. R. S. 一八一九年北氷洋ニ遠征ヲ試ミ、歸ツテ磁針ノ變化ノ工合ヒテ研究シタ書物ヲ著シ、一八二二年亞非利加ト南亞米利加ヲ旅行シ其後一八二五年「Pendulum Exposition」ヲ著シタ。

(三) ぶよ・なす(S)

佛國ノ東洋學者。一七五八年出生。一八三八年歿東洋各國ノ言語ニ通シ、傍ラ獨、英、以、及ヒ班國ノ語ニ通シ語學者トシテ仰ガレタ。主

ナ著述ハ一七九九年出版ノ「一般ノ文法論」。

(四) さとれえとあ、又、さあせれつてい

以國ノ文人。一四七七年出生。一五四七年歿。主ナ著述ハ一五三八年出版ノ「Phaedrus, sive de Laudibus Philosophiae」。

(五) さぬつぶらふ

佛國ノ批評家。一八〇四年十二月廿二日出生。一八六九年十月歿。巴里ノ大學デ學ビ藥學ヲ修メ、其後諸所ノ雜誌ニ投書チシ、一八二八年第十六世紀ノ佛國ノ詩學會及ヒ佛國劇場批評ト題スルモノヲ著シ、續イテ一八二九年二三ノ著述モアツテ全ク其銳利ノ批評眼ガ世ノ中ニ現レタ。主ナ著述ハ一八三〇年出版ノ詩集「Consolations」デ其他ニモ此人ノ傑作トシテ今

日マデモ傳ツテキルノガ幾ラモアル其批評ガ如何ニモ鋭ク着目ガ鋭敏デ觀察ガ手嚴シクアツタ。

(六) でふ・さぬびえる

佛國ノ文人。一七三七年、一月十九日出生。初メハ軍隊附屬ノ工學ヲ修メ、其後チコレヲ罷メ、露國ニ行キ二年間又技師トナツテキタ。一七六六年佛國ニ歸リ、諸所ヲ歴遊シ、續イテ、一七七三年佛國ノ島島ノ旅行日記ヲ著シ大イニ世ノ中ニ知ラレ其後チハ全ク一個ノ文學者トナツテ暮シタ。

(七) でふ・さぬす(S)

佛國ノ哲學者。殊ニ社會主義ヲ唱道シタ人。一七六〇年出生。一八〇七年第十九世紀ノ「理學的勞働始末」ト題スルモノヲ著シタ。コ

レガ此人ノ傑作デアツタ。一生社會主義ヲ唱道シテ其方ノ領袖ト仰ガレタ。

(八) さらす

埃國ノ王。一二三七年出生。トエるされヒチ征服シヤガテ第三十字軍ト戦ツテ負ケタ人。

(九) さらすつ

羅馬ノ歴史家。前八六出生。前三四年歿。主ナ著述ハ「かていりぬノ叛亂史(Bellum Octavianum)」。

(一〇) そあまづ、又、さるめえしわす

佛國ノ學者。一五八八年出生。ヨク拉丁語及ヒ希語ノ言語ニ通シ、十歳ノ頃既ニ其方ニ敵ガ無イクラキデアツタ。一六二〇年其有名ナ歴史「Historiae Augusta Scriptores Sex」ト云フノヲ著シ、全ク世ニ知ラレ、其他ニ今日モ傑作

und Liebe」デマツタ。一七八四年「Phaia」ト題
 劇場ニ關係シテ雑誌ヲ發兌シ、ツレニ其有
 名ヲ作「Don Carlos」ノ作ヲ掲載セタ。一七八
 五年らいついゝくニ移リ、其所デ其非常ニ優
 美ナ詩「愉快(Lied an die Freunde)」ヲ著シ續イテ
 「Geist—Sieher)ヲ著シ、一七八七年わいするニ
 至リげえて、入るるでるナドニ會ヒ、げえてノ紹
 介ニ由ツテ一七八九年えかノ大學校デ歴史ノ
 教授トナリ、其翌年二十二歳ノ時妻ヲ迎ヘタ。
 ガ、此妻ト云フ人ガ非常ニ才能ニ長ケ、且ツ技
 藝ニ通シタ人デ一七九一年三十年戦争ヲ出版
 シタ。コレヲかあらしるナドハ賞メテ「獨逸
 デ他國ニ對シテ自慢ノ出來ル大著述デアアル」
 ト云ツタ。一七九九年ニナツテ此人ノ詩ノ中
 デ殊ニ屈指ト作「Wallenstein」ガ世ノ中ニ現レ

非常ナ大喝采ヲ博シ、獨逸文學ノ中ノ屈指ノ
 モント云ハレタ。ソレ故各國デモ反譯シ殊ニ
 英國ナドハ極ハメテ能クコレヲ愛讀シタ。げ
 えてト交際シテカラ非常ニ自分ノ詩才モ進
 ミ、一七九九年カラ一八〇一年ノ間ニ又數多
 ノ小サナ物ヲ著シタ。即チ「Die Jungfrau von
 Orleans」及ビ「めす」(S)チノ花嫁(Die Braut von
 Messina)ヲ著シ、續イテ「Musen-Armach」雜誌
 チ出版シ、其主筆ニ坐ハリげえてナドモ筆ヲ
 取ツタ。一八〇四年ニナツテ其大著述ノ一
 「Wilhelm Tell」ヲ著シタ。一八〇五年五月九
 日肺病デ歿。
 實ニしるるハ獨逸ノ詩人ノ中屈指ノ人デ
 げえてチ除イテハ感情ハ最モ鋭ク、心ハ最
 モ高ク諸所ノ方面カラ種種ノ意味ヲ以ツテ

描キ出スノガ此人ノ長所デアツタ。殊ニ愛國
 ノ念ニ富ミ、國ト云フ念ハ少シモ去ラズ、げえ
 てト相並シテ下ニ就イテ獨逸文學ノ基礎ヲ
 固メタ。此人トげえてトノ間ニ多少主義體
 面ノ違ツテアル工合ヒガ丁度ばいゝぬト沙
 翁トノ間ニ異ル所ガアルト同シテ即チし
 るれるハばいゝぬト同シク最モ烈シイ感情ヲ
 内ニ藏メル方、げえてト沙翁トハコレヲ非常
 ニ數限リナク變化サセテ殆ンド外ニ現ス方デ
 アツタ。併シナガラばいゝぬヨリハ一層立チ
 上ツタ詩人デアツタ。
 (一一) *ふをぬしゆれえける*
 獨逸ノ詩人、兼東洋學者。一七六七年九月八日
 出生。一七九七年三十一歳ノ時カラえかノ大
 學デ希語及ビ拉丁語ノ教授トナリ其頃ハしる

れるトモヨク交際シタ。一七九八年其兄弟ト
 「Athenaum」ト云フ雑誌ヲ著シ大イニ世ノ中
 ニ知ラレタ。性質最モ深ク沙翁ノ作ヲ愛讀シ
 其著述ヲ反譯シタ。一七九八年カラ一八一〇
 年迄ノ間ニ十一卷ノ書物ニシテ出版シタ。一
 八〇二年カラ五年ニ掛ケテ柏林ニ住マヒ、ま
 だひで、すてえるノ朋友トナリ、共ニ諸所チ
 歴遊シ其子供達ニ教授チシタ。またひで、す
 てえるナドモ此しゆれえけるヲ賞メテ「獨逸
 第一流ノ批評家」ト云ツタ。其一代ノ作ノ主ナ
 ノハ「Arion」トイフ詩、及ビ「文學及史論(Essais
 littéraires et historiques)」トテ佛國チ以ツテ著
 シタモノナドデアツタ。一八四五年五月歿。
 其全集ハ一八四六年十三卷ニナツテ出版サレ
 タ。

(二二二) しゆららゝゐるまわくえる
 獨逸ノ著述家、批評家、兼辯者。一七六八年出生。宣教師トナリ宗教家トシテ世ノ中ニ知ラレタガ、一方ニ於イテハ議論ニ富ミ、批評ナドニハ敵ノナイ位デアツタ。一八〇三年「Grundlinien einer Kritik der bisherigen Sittenlehre」ト題シ、ソレマデノ倫理學ノ主義ヲ批評シ非常ニ世ノ中ト賞セラレタ。一八〇四年カラ之ニテ大學ヲ哲學及ヒ神學ノ教授トナリ神學者トシテ名譽ヲ轟カシ、ヤガテ拿破第一世ノ騒ギシ時此之ニテ土地ガ普國カラ分離シテカラ此學者モ仕方ナシ伯林ニ移ツタ、即チ一八〇六年。一八〇四年カラ二八年ニ掛ケテ三卷ニシテふらとれノ作ヲ反譯シ、コレ又世ノ中ニ知ラレタ。其一代ノ中有名ナノハ多イモノノ

殊ニ前記ノ他ニハ一八一七年出版ノ「Ueber die Schriften des Lukas ein Kritischer Versuch」及ヒ一八二二年カラ二二年ニ掛ケテ出版シタ「Darstellung des Christlichen Glaubens nach den Grundsätzen der Evangelischen Kirche」二卷ナド。一八三四年二月歿。
 (二二三) ふをぬ・しゆるのゝえる
 獨逸ノ歴史家。一七三五年出生。一八二五年歿。主ナ著ハ「北方人歴史」。一七七二年版。
 (二二四) しゆのる・ふをぬ・かるるすふえる
 一七九四年出生ノ獨逸ノ名有ナ畫工。維也納ヲ暫時學ビ、一八一八年羅馬ニ至リ其所ヲ種ノ研究ヲ遂ゲ、遂ニ世ノ中ニ大名ヲ施シタ。
 (二二五) すこおふひいるづ

米國ノ軍人。一八三一年出生。一八六四年、九月二日あつらぬヲ奪ツテ名ヲ轟カシタ人。
 (二二六) すくうるくらふつ

有名ナ米國ノ旅行家、兼理學的著述家。みッそグイ河近傍ノ測量ヲ施シ、一八一九年其始末ヲ出版シ、地質學者トシテ世ノ中ニ知ラレ、諸方ニ遠征ヲ試ミタ。主ナ著述ハ一八四八年出版ノ米國ノ根元、古事ナドニ就イテ精細ニ調査シタモノ。
 (二二七) しよべぬばうえる

獨逸ノ哲學者。今日ノ人物。一七八八年出生。一八六〇年歿。厭世ノ主義ヲ殊ニ佛教ニ能ク通ツタ。主ナ著ハ「一八一九年出版ノ「Die Welt als Wille und Vorstellung」及ヒ一八四一年出

版ノ「倫理ニ大原理」、及ヒ一八五一年出版ノ「自由意志論(Parega und Paralipomena)」ナドデアツタ。此人ノ説ニ據レバ人間ノ心三即チ「意志」ハ總テノ宇宙ノ根元ヲ其他ノモノハ唯外鏡ヲ見エルモノヲ實在ノモノデアハナイト云ツタ。
 (二二八) すこつ

蘭國ノ學者。一五五二年出生。一六二九年歿。巴里、班國ヲ遊歴シテ學問ヲ修メ修辭學ノ教授トナツタ。其著述モ多ク何レモ博識ヲ示メシタガ主ナモノハ班國、葡國及ヒ印度ナドノ歴史家ノ名ト傳記トヲ集メタモノヲ「Hispania Illustrata」及ヒ一六〇八年出版ノ「Hispania Bibliotheca」ナド。
 (二二九) しわぬたれる

獨逸ノ美術家。一八〇二年ひぬへぬデノ出生。一八四八年歿。やぬ・ばうる・りふてゐるナドノ像ヲ刻ンダ人。

(三〇) すしびお、又、すしびお・あふりけえなす

有名ナ羅馬ノ大將。前二三五年或ヒハ二三四年ノ出生。軍器ニ富ミ、はぬにはるガ羅馬ノ天下ヲ蹂躪シサウニナツタ時此人ガコレヲ迎へ撃チ、幾度カ苦戰ノ後チ遂ニ直チニかるせえぢゆノ都ヲ衝キ、其タメはぬにはるモ餘儀ナク國へ歸リ、遂ニ戰ツテ此人ニ負ケタツラキデ、軍事ノコトヲ云フ者ハ必ズ此人ヲ推ス。傍ラ學問ニモ富ミ、希語ニモ通シ、其一代ノ人物トシテ仰ガレタ。

(三一) すこつ

英國ノ小説ノ大家。一七七一年、八月十五日出生。家ハモト貴族デアツタ。幼年ノ時カラ文學ヲモ好ンダ。ガ、併シナガラ餘リ好イ成績ハナカッタ。學校ニ居テモ上達セズ、教師モ之ヲ愚者トシテ更ニ愛セズ、友達カラモ笑ハレタ。數學、佛語及ビ修辭學ナド種種ヤツタモノノ多クハ大抵忘レル方デ更ニ望ミト云フモノガナカッタ。然シナガラ大器ハ晩成ト云フ譬へノ通り此力ヲ溜メテ居タノガ後チニ至ツテ發スル所デ、段段ソレカラ大學ヲ經テ幾分カ進ンデ行き、遂ニ一七九六年始メテ二十六歳ノ時「Wild Huntsman」ト云フ詩ヲ出版シテ始メテ社會ニ現レタ。コレカラ詩人トナツテ暮ラシタノデアツタ。ガ、然シナガラマダマダ之ダケデハ名譽ハ現レナカッタ。其間幾ラモ作ッ

タゴトハ作ツタケレドモ面白イ成功ハ無ク、一八〇五年ニナツテ始メテ「Lay of the Last Minstrel」ト云フ詩ヲ著シテ、忽チニ社會ノ大喝采ヲ博シ、其時代第一流ノ詩人ト云フ名ヲ轟カシタ。實ニ此詩ノ賣レ高ハ非常ナモノデ僅出版ニナツテカラ廿五年間ニ四萬部以上賣レダ。コレニ勇氣ヲ付ケラレテ續イテ一八〇六年十一月「Murmion」ヲ著シタガコレ又最モヨク成功シテ、ノ名ヲ知ラヌ者ハ無イヤウニナツタ。ソレカラ今日モ學校ナドデ教科書トシテ用キル「湖上美人(Lady of the Lake)」ガ現レ、ソノ語句ノ極ハメテ優美ナ所カラ大イニ喝采ヲ博シタ。一年ノ間ニ此詩ノ賣レタノハ二萬部デ一八三六年迄ノ間ニハ五萬モ賣レタト云フ。此非常ナ成功ニ援ケラレ愈詩界

ノ大王トナツテアハレル氣ニナリ、段段ト手ヲ延バシカカッタ所デ圖ラズ不思議ナ敵ニ出逢ツタ。即チ其不思議ナ敵トイフノハすこつト元ハ學校朋輩デアツタばいゝぬ。即チ他日すこつト相並ンデ英國ノ大文學者トシテ仰ガレル此ばいゝぬガ強敵トシテ現レタ。忽チすこつト獨リデ占領シテキル詩ノ本領ニ突キ入り、短兵急ニ鋭イ勢ヒテ社會ヲ蹂躪シタタメ、すこつトモ驚キ、一ト先ツ鋒ヲ藏メル氣ニナリ此度ハ小説ノ方ニ手ヲ出スコトニ決心シ、一八一四年七月ニナツテ其有名ナ小説「Waverley」ヲ著シタガ、コレ又非常ニ傑作ノ名ヲ博シタ。素ヨリ初メハすこつト云フ名ヲ記サズばいゝぬニ對シテ此方デ若シ成功スルカドウカ分カラヌト云フ心配ガアツタ所カ

テ匿名出版シタガ非常ナ成功デアッタ。其著者ハ誰レデアルカト云ツテ至ル所評判デ其小説ノ賣レタノハ非常デ是ガタメ英國ノ小説界ニ革命ガ起コッタ。ソレ迄ノ小説ハ一向進マナカッタガ忽チ此人ニ掻キ廻ハサレテ體面ガ變ハリすこつ。風ノ小説デナシテハナラヌナドト云フクラサデソレヲニ益勇氣ヲ付ケラレテ是カラハ全ク小説ノ方ニ著手シタ。實ニ此頃ハすこつノ非常ナ盛リノ時代デ、死ヌマデ其名譽ヲ持テ續ケタ。紙ニ臨ンテ筆ヲ取ル場合ヒニ當ッタテモ其原稿ヲ書ク事ノ速カラアルノハ眞ニ驚クニキ程デ、初メ小學校ニ居テ人ニ馬鹿トカ痴鈍トカ云ハレル人ガ此シテサニナラサトハ思ハレヌクラサマツタ。其年數ハ僅デアッタガ、然シナガラ其著述ノ數

ハ多クアッタモノノ得意トスル所ハ時代物デ、世話物ニハ評判ガナカッタガ、時代物ヲ書カセテハ英國開闢以來今日迄モ敵ガ無イ。其原稿ニ當ッタテ非常ナノハ感情ガ進マナケレバドウシテモ筆ヲ取ラズ、暫眺メテサレ。ガ、一旦筆ヲ取ツテハ、一萬千里ノ勢ヲ其技倆ニ至ツテハ其時代ニ敵ガナカッタ。ソノ主ナ作ハ左ノトホリ。

Waverley (1814) / Guy Mannering (—15) / The Antiquary (—16) / The Black Dwarf (—16) / Old Mortality (—16) / Rob Roy (—17) / The Heart of Midlothian (—18) / The Bride of Lammermoor (—19) / Legend of Montrose (—19) / Ivanhoe (—19) / The Monastery (—20) / The Abbot (—20) / Kenilworth (—21) / The Pirate (—21)

The Fortunes of Nigel (—22) / Peveril of the Peak (—23) / Quentin Durward (—23) / St. Ronan's Well (—23) / The Red Gauntlet (—24) / The Talisman (—25) / The Rattraced (—25) / Woodstock (—26) / Chronicles of Canongate (—27) / Fair Maid of Perth (—28) / Anne of Geierstein (—29) / Count Robert of Paris (—31) / Castle Dangerous (—31)。

歴史ノ方ニモ随分力ハ奮ツタモノテ拿翁第一世ノ傳ナドモ出版スルヤ否ヤニ版ヲ重テ、著者ノ手元ニ這入ッタ利益ハ一萬八千磅(我が十一萬圓餘)アッタトイフ。晩年ハ著述デ非常ニ金ヲ溜メ最モ安樂ナ生活ヲ遂ゲタ。

(三三二) *せぢぢゆうゐ*

米國ノ女性ノ文學者、兼道德學者。一七八九

年出生。一八六七年歿。一八二二年にうゝんぐらぬづの物語リヲ著シ、評判ヲ博シタ。續キテ一八二七年「Hope Leslie」ヲ著シ、米國ノミナラス歐洲大陸ニモ聞コヒ、獨逸語ナドヲモ反譯サレタ。續キテ一八三〇年「Clarence」ト云フ小説ヲ著シ、一八三五年「The Linwoods」及ヒ一八五七年「Married or Single」ナドヲ著シ、女性ノ文學者ノ中デハ殊ニ屈指ト云フ名ヲ博シタ。

(三三三) *せるでぬ*

英國ノ法律家、兼政治家。一五八四年出生。おぐすふをるづ大學デ修業シ、一六〇四年倫敦ニ來テいぬなるてむぶるニ入學シタ。ベぬ・トよぬそぬノ親友デ、最モヨク語學、古物學、歴史學ナドニ通ツタ。一六〇六年始メテ

「Analecion Anglo-Britannicon」ヲ著シ、大イニ
 社會ノ評判ヲ博シ、一六〇七年「しりあノ神學
 (De Dis Syris)」ヲ著シ、一六二三年議會ニ入り、
 一六二六年カラ二八年ニ掛ケテ「ばっさんはんはむ
 ノ貴族ヲ所置スルコト」ニ就イテ非常ニ力ヲ振
 ルツタ。其後「Closed Sea」ト題シ英國ハ四方海
 デ圍マレテキル所カラ説キ及ボシ英國ヲシテ
 海上ノ權利ヲ充分世界ニ向カツテ持タセルヤ
 ヲニシロト云フコトヲ論ジタ。其後モ種種ナ
 著述ノアル中ニモ「希伯語教育法」ト云フノガ
 アリ、學者トシテモ名ヲ轟カシタ。一六五四
 年十一月歿。

(三四) せみらみす

わしりあノ有名ナ女王。大イニ遠征ヲ好シ
 マ。前一二五年頃在世。位ニ即イテカラ後チ

ばびろぬノ町ヲ建テ、其他ニモ種種ノ都ヲ造
 リ波國ナドヲ蹂躪シ、非常ナ軍隊ヲ以ツテ印
 度ヲ襲ツタガ是ハ成功ガ少ナカッタ。象ナド
 チ軍ニ用キタトテ今日モ物語リニ殘ル。

(三五) せねか

有名ナ羅馬ノ哲學者、兼道德學者。前五年頃
 ノ人。羅馬ヲ教育ヲ受ケ、修辭學、哲學及ビ法
 律ナドヲ修メ、學校ヲ去ツテカラハ代言人ナ
 ドナシテ世ニ立ツタ。ソレカラ諸國ヲ歴遊シ、
 歴遊ノ間ニ其有名ナ著「Consolatio ad Helviam」
 ナ著シ、四九年羅馬ニ歸リ、ソレカラ政治家ト
 シテモ社會ニ聞コエタ。其後チ政治上ノコト
 カラびそト云フ人ノ一味ノ者ト疑ハレ、此ビ
 そガ皇帝ニ向カツテ何か企テタ事ガアルノデ
 ソレニ加擔シタトカイフ疑ヒテ遂ニ死刑ニ處

セラレタ。一六五年ノコトヲ熱湯ニ入ツテ殺
 サレタト云フ。實ニ此せねかハ有名ナ辯者デ、
 且ツ文筆ニ於イテモ屈指ノ人デアツタ。其著
 述モ數多殘ル。其中ヲモ「安心論(De Animi
 Tranquillitate)」ナドハ殊ニ傑作トシテ今日モ傳
 ハツテキル。

(二六) さるとかりあす

有名ナ羅馬ノ大將。ヨシ教育ヲ受ケタ。前一
 ○一年頃カラ社會ニ現レ、すらチ敵トシテ大
 イニ運動シ、羅馬ノ武人ト云フ名譽ヲ輝カシ
 タ人。前七六年ばびろノ班國ニ來タトキ此
 人ガぼびろニシタタカ破ツタ。然シナガラ
 前七二年其自分ノ配下ノ者ニ暗殺サレタ。

(二七) さるびいたす

班國ノ神學者、兼醫者。一五〇九年出生。一五

五三年十月チえねばデ死刑ニ處セラレタ。其
 死刑ト云フノハ火炙リテ、宗教上ノコトカラ
 此様ナ猛惡ナ刑ニ處セラレタ。主ナモノハ「三
 位一體迷信論(De Trinitatis Erroribus)」及ビ
 「Christianismi Restitutio」。

(三八) せすてにす

有名ナ以國ノ古物學者、兼旅行家。一七五〇
 年出生。一八三二年歿。こぬすたぬていのお
 ぶる、獨逸、佛蘭西ナドヲ歴遊シ、一八一三年
 びざノ大學ノ名譽教授トナツタ。一代ニハ古
 物學ト其旅行カラ得タ智識ニ由ツテ地理學等
 チ研究シ、其類ノ著モ數多殘ル。其中デ最モ
 貴重ナノハ「Sistema Numismatico」十四卷デ、
 學術ニ於イテハ殆ドソノ時代第一ノ人トナツ
 タ。

(三九) しやふすばり (Anthony Ashley Cooper)

英國ノ貴族、政治家。殊ニ其策略ニ有名デアツタ。一六二一年、七月廿二日出生。一六八三年六月歿シタ。

(四〇) しやふすばり (Anthony Cooper)

一六七一年出生ノ英國ノ貴族。文學及ビ哲學ニ富シタ。哲學者ルックニ就イテ學ビ、大イニルックノ主義ヲ傳ヘ、一六九三年廿三歳テ議會ニ入り民黨トナツテ硬骨男子ノ名ヲ博シ、一六九八年蘭國ニ至リ、一六九九年古郷ノ父ガ死シタ所テ歸ツテ貴族院ニ入ツタ。ウゐるゐむ第三世ノ政友デ、常ニ國家重要ノコトニ關シテハ帝王カラ顧問トシテ待遇サレタ。一六一三年ウゐるゐむ帝ガ崩御ノ後チ此人モ官

ヲ罷メテ民間ニ下ダリ、一七〇八年「忠義論」ト題スルモノ、及ビ一七〇九年「道德學者」ト題スルモノ、及ビ一七〇九年「滑稽頓智論 (Sausus Communis)」ナドヲ著シ、文學者及ビ哲學者トシテ世ノ中ニ知ラレ、大イニ喝采ヲ博シタ。一七二三年二月歿。其全集ハ一七二三年「Characteristics of Men, Manners, Opinions, and Times」ト題スル題テ出版サレ、哲學者らハ此ニツナドモ大イニ此書物ヲ見テ賞賛シタ。倫理學者トシテハ今日デモ此人ノ名ガ傳ハル。

(四一) しやくほふすき

露國ノ貴族。狂言作者トシテ世ニ知ラレル。一七七七年出生。一八四六年歿。主ナ著述ハ「ありすつふゐにいすノ傳」ト題スルモノ。

(四二) しええくすびいゐる (John)

英國ノ東洋學者。一七七四年出生。一八五八年歿。殊ニひぬゑすたぬノ語ニ熟シ、遂ニ一八一七年ひぬゑすたぬ語辭書ヲ著シ、大イニ學者ノ喝采ヲ博シタ。續イテ一八五五年ニハひぬゑすたぬ語文法ヲ編纂シタ。

(四三) しええくすびいゐる (William)

一五六四年出生ノ英國ノ空前絶後ノ詩人。父ハツマラヌ職業ノモノデ母ハめえりいゐるでぬト呼バレタモノ。モトハ貴族ノ末デアツタト云フ。沙翁ハ八人ノ兄弟ノ中デ、長男デアツタ。今日ニ於イテハ此人ノ傳記ガ眞ニ曖昧デドレガ眞實デアルカ更ニ分カラヌ。其實際ノ傳ヲ調べル材料ハ實ニ乏シイ。其幼年ノ頃ノ様子ハ更ニ分カラズ、十九歳ノ頃カラハ倫

敦ニ行ツタラシク、其所デ俳優トナリ、舞臺ニ現レタ。若シ此時ノ場合ヒニ於イテ後人ガ記載スル所ノ説ヲ信トスレバ、眞ニ舞臺ニ出テモ非常ニ能ク藝ヲ演ヲタト云フ。ソレカラ、傳ヘル所ニ據レバ、斯ウ云フ物語リガアル、鹿チ盗ンデソレカラ探偵ガ嚴シク、居タマラズニ逃ゲル事トナツタト云フ。後人ノ沙翁ノ傳ニ斯ウ書イテアル「實ニ少年ノ血氣ニハヤツテ沙翁モ悪ルイモノノ仲間ニ入ツタノモ仕方ナカッタ。ソレカラ其等ノ者ノ所業ヲ見様見眞似ニ公園ニ飼ツテアル鹿チ盗ンデハ食ツテ仕舞ツタ。此公園ト云フノハすつらつふをるづノ近傍ノ貴族ノ所有デ此所デ其鹿チ盗ンダト云フ所カラ訴ヘラレテ刑罰ニ逢ヒサウニナツタデアツタ。實ニ此時沙翁ガ烈シク探

偵吏ニ追ハレタノハ深ク沙翁ノ腦髓ノ中ニ餘
 リ殘酷スギルト云フ念ヲ抱カセ、後ニ此貴族
 ニ對シテ嘲ケリノ詩ヲ作ツタト云フコトデア
 ツタ。抑モ沙翁ガアレ程ノ大詩人トシテ世ノ
 中ニ立ツ其始メテノ時作ツタ詩ハ笑フ計ラン
 此意味ノ復讐ノ詩デ、其詩ハ今日ニハ殘ラヌ
 ガ如何ニモ心ヲ烈シク憎ンデ居タ所デ最モ感
 情ガ猛烈ニ、自分ガ追レタソレヨリモ恐ロシ
 イ返報ヲシタニハ相違ナカツタト。後チニ
 此沙翁ガ作ツタ脚本「Merry Wives of Windsor」
 ノ序幕デアアル男子ノ上着ニ風ガ付イテ井ルト
 云フコトガアル。ガ、其風ハ即チ英語デ「Luce
 其鹿ノ公園ノ貴族るうしー」ト云フ名ニ當テタ
 謎デアツタト云フ。何ニシテモ沙翁ガ鹿ヲ盜
 ンダコトハ事實デ、而モ餘リ酷ク取り扱ハレ

タタメるうしート云フ名ヲ最モ憎ンデ居クノ
 ハ違ヒハナカツタ。
 倫敦へ沙翁ガ到着シテカラ後チノ物語リハ
 傳ニ左ノ通りニ書イテアル。——「倫敦へ來テ
 俳優ノ群レニ入ツタ時ハ最モ卑イ階級ノ所ニ
 置カレタ。ガ、其天然ノ才智、其天然ノ頓智ガ
 舞臺ニ現レテハ燦爛タル光リヲ放チ、忽チノ
 中ニ衆ニ抽キ出デ——非凡ナ俳優トヨシ云
 ハレヌニシタ所ガ——非凡ナ文學者ト云ハレ
 タ。其頃ノ習慣トシテ他ノ俳優ト共ニ沙翁ノ
 名ヲモ芝居デ印刷シソレチ人ニ配ツタ、其中
 ニ名ガ見エテキルガ、扱ドノ狂言チシタカト
 云フハヨク分カラナカツタ。唯唯自分ガ作ツ
 タ狂言はひれッ、デ自分ガ化ケ物ニナツテ現
 レタト云フノガ儘ト事實デアツタ」。

第一ニコノ人ガ拵ヘタ脚本ハ何デアツタガ
 ソレハ分カラヌ。人ノ説ニ據レバ「早イ時此
 沙翁ハ演劇ニ關スル詩全體ノ上ニ就イテ論文
 ナ書カウト思ツタ。丁度此頃ハ演劇ノ脚本ト
 云フモノハ最下級ノ程度デアツタモノデ、ソ
 レ故コレヲ沙翁ハ歎イタト。一五九三年世
 ノ中ニ現レタ此沙翁ノ詩、即チ「Venus and
 Adonis」ノ初メニ最イテアル文句ニ自分ノ詩
 ナ斯ウ云ツテアツタ。——「自分ノ新奇ニ發明
 シタ議論ヲ實際ニ始メテ當テ嵌メタモノ、即
 チ「The first heir of his invention」デアツタ。ガ、
 然シ此作ハ一五九三年ノコトデアアルガ、コレ
 ヨリモ前ニ實際筆ヲ取り出シタト云フハ儘デ
 アツタ。始メテ戯曲トシテ世ノ中ニ現レタ臺
 本ハ一五九四年即チ前ノ作ノ翌年デアツタ。

其時ニ始メテ「Lucrece」ガ世界ニ紹介サレタ。
 コレカラハ常ニ筆ヲ取ラヌニシタ所ガ常ニ
 脚本ノコトニハ注意チシタコトデアツタ。説
 ニ據レバ「へるぎ」紳士（Two Gentlemen of
 Verona）、「Comedy of Errors」、「Love's Labour's
 Lost」、「Love's Labour's Won」、「Midsummer
 Night's Dream」、「Merchant of Venice」、「Richard
 II」、「Richard III」、「Henry IV」、「King John」
 「Thus Andronicus」及「Romeo and Juliet」ナ
 ドノ十二種ハ一五九八年即チ沙翁ガ二十五歳
 ニナル迄ノ間ニスベテ皆作ラレタ。
 沙翁ハ實ニ其時代デモ非凡ナ人物ト評サレ
 タ。昔ニ今日カラコレヲ仰グノミナラズ其時
 代ノ學者達ズベテ沙翁ノ作ヲ見タ者ハ何レモ
 コレヲ賞メタ中デモさうさびぶとぬノ貴族

(五三爵)ナドハ非常ニ此沙翁ノ作ヲ愛シ、沙翁ガ買ヒタイト思フ物ヲ買ヘト云ツテ其實與トシテ一千磅ヲ與ヘタツラキデアツタ。此頃ノ一千磅ハ今日カラ見レバ譯モナイモノソノ其時代デハ大金デ今日ノ五六千磅ニモ敵スルホドデアツタ。コレヲ沙翁ニ與ヘタト云フノデ其愛顧ノホドハ分カツタ。ソレ故沙翁ニ於イテモ此人ニ恩モアル所カラさうさむぶとぬノ貴族ニ其早イ頃ノ詩「Venus and Adonis」及ビ「Lucree」ナドヲ進呈シタツラキデアツタ。

一五九六年沙翁ハタツタ其一人ノ男ノ子ニ死ナレタ。一五九八年ベぬトよぬとぬト交際ヲ始メタ。トよぬとぬ此時ハマダ世ニ現レズ、唯ノツマラヌ人物デアツタ。ツマラヌ人物デアツテ一トツノ脚本ヲ作り、之ヲ芝居ニ

持ツテ行き、「ドウソ演劇ニ掛ケテ吳レロ」ト頼シマ。芝居ノ者ガ之ヲ讀ムデ見テ、「ツマラヌモノダ、何ノ役ニモ立ツモノカ！」ト云ツタ一ト口ニアハヤツレテ返却シテ仕舞ハウトシタ所デ、圖ラズ沙翁ノ眼ニトマリ、「ドンナ脚本カ先ヅ見ヤウ」ト云ツテソレヲヨクヨク視テ是ハ面白イモノ、決シテ非凡ナ才ガ無ツテハ作ラレルモノデハ無イト沙翁ノ慧眼ガ鋭クモ早ク認メ、コレヲ人人ニ周旋シタ所カラ始メテトよぬとぬモ社會ニ現レルコトニナツタ。全ク此トよぬとぬノ現レタノハ沙翁ノ御蔭デソレ故コレヲ思ヒ感シテ無二ノ朋友トナツタ。此時トよぬとぬガ作ツタ脚本ハ「人サマザノ心 (Every Man in his Humour)」デアツタ。

沙翁ハ其時代ノ帝王ナドノ愛顧ヲモ多ク得タ。其中デモえりさへす女皇、トえむす一世オドニハ最モ能ク愛サレタ。えりさへす女皇大イニ沙翁ノ才ヲ愛シ、其作ヘぬリ第四世ノ中ニアルふをゑるすたふト云フ人物ヲヨク描キ出シテアルト云ツテ感心シ、モウ一度舞臺ニ上セテ見タイト云フノデ沙翁モ更ニ趣向ヲ立テ、其結局ハ遂ニ「Merry Wives of Windsor」トナツタ。トえむす第一世モ最モヨク愛シ、一六〇四年十一月ノ初メマデニ其王宮はわいの。はゑるデ沙翁ノ脚本六種ヲ演シサセ、尙其他ニハ此王自身筆ヲ取ツテ沙翁ニ慰勞ノ手紙ヲサヘ贈ツタクヲキデアツタ。

一六〇八年沙翁ハ父ヲ失ツタ。一六〇七年其娘ノすうさぬちガ其時代デ有名ナ醫者はゑ

ト云フ人ノ許ヘ嫁シタ。其翌年沙翁ハ妻ヲ失ヒ、其後ハ社會カラ非常ニ名譽ヲ受ケテ其古郷すのらつふをゑるブデ晩年ヲ送ツタ。歿年ハ一六一六年、四月廿三日。齡五十二歳。

沙翁ノ才能ト道德上ノ念ニ付イテハ之ヲ今日ニ云フモ無駄ナクヲキデアツタ。其觀察ガ最モ鋭ク、而モ能ク想像ニ富ミ、人物ヲ活動サセル技術ニ於イテハ一點モ隙ガナイクヲキ巧ミデアツタ。實ニ千万無量ト云フクヲキデ大キイ所ハ何處マデモ大キク、小サイ處ハ何所マデモ小サク、時代物ヲ書カセテモ、世話物ヲ書カセテモ、滑稽物ヲ書カセテモ、乃至ハ又改マツタ四角張ツタ儀式メイタ文字デモ或ヒハ崩レニ崩レタ文章デモ、ドレガ惡ルイト云フ所モ無ク、何レニモ能ク通シ、ドレヲ取ツテモ

熟練ノ手際ヲ現シタ。コレガ實ニ沙翁ノ長所
 デ、世界開闢以來種種ノ學者モ出タガ唯此一
 點ニ於イテハ沙翁程ニ才力ヲ現シタ人ハナカ
 ヲ。或ヒハ愁歎物ニ傾イテキルトカ、或ヒハ
 滑稽物ニ傾イテキルトカ、或ヒハ世話物ニ傾
 シトカ、或ヒハ時代物ニ傾シトカ、スベテ其得
 意ト云フモノハ多少アツタ。ガ、沙翁ハ何レヲ
 取ツテモ上手デ、實ニ世界開闢以來空前絶後
 ト云フ價值ハ充分ニアル。頃ハ違ツテモ此沙
 翁ニ對シテ——縦ヤ些少ノ批難ハ容レタトテ
 ——大キナ攻撃ヲ加ヘル人ハ一人モ無カッタ。
 素ヨリ無イ筈、其作ガ如何ニモ名作デ、森羅萬
 象天地宇宙ノ理ヲ充分ニ究メ、人間ノ性情ト
 運命トヲ理解シタ上ノ作デコレヲ要スルニ沙
 翁一代ノ全集ヲ讀メバ人間社會ノ情况ハ斯ウ

云フモノデアルカト云フコトガ儘ニ分カル。
 沙翁ガ種種ノ脚本ヲ作ツタ其年ノ年代ヲ作
 ルコトハ今日ニ至ツテモ困難デアル先ヅ説ニ
 從ヒ一五九八年ノ前ニ出來タモノヲ別トシテ
 其後チノモノヲハ大抵順チ追ツテ斯ウデア
 ルカト付ケテ見レハ即チ次ノ通りデアツタ。
 「King Lear」、「Macbeth」、「Timon of Athens」、
 「Hamlet」、「Cymbeline」、「The Winter's Tale」、
 「The Tempest」、「Measure for Measure」、「Antony
 and Cleopatra」、「Julius Caesar」、「Trials and
 Cressida」、及「Coriolanus」。
 殊ニ沙翁ノ一代ノ作ノ中テ其悲劇「まぐべ
 す」、「さんぐりある」、「おせろ」、「はむれ
 つ」、及「ろめおとぎゆりえつ」ナドハ最モ
 傑作ノ名ヲ博シタモノデ、又「へぬり第四世」

ノ中ニアルをみるすたふノ様子ナドハ眞ニ
 ヨク描キ出シテアルモノデ、凡ソ滑稽物ト云
 フ物ハ古今多イ中テ此をみるすたふノ人物
 ニ上チ超スモノハナカッタ。滑稽物ノ方デノ
 ハ其傑作ハ「つうあるふす・あいつ」、「ま
 ちゆ・あづら・あばうつ・なすいんぐ」、及ビ
 「みづさひまる・ないつ・づりいひ」、「めり・わ
 いふす・あぶ・うぬぞる」、及ビ「てえみんぐ・
 おふ・すい・しゆりゆうづ」五種デアツタ。
 ソレカラ又滑稽物カ愁歎物カドナラカ分カヌ
 ノハ「すい・まるちやぬつ・おふ・べにす」、
 「すい・てむべすつ」、及ビ「あす・ゆう・らい
 く・いっつ」ナドデアツタ。ソレカラ又後世ノ
 批評家ガ多ク見テ多分ハ沙翁ノ眞ノ作テナ
 イ、後人ノ擬物デアラウト思ハレルンハ「Plus

Andronicus」、及「Pericles」デ、殊ニ此第一ノ方
 ナドハ其趣向カラ文章カラ酷ク沙翁ノ作トシ
 テ劣ツテキタ。
 沙翁ノ特色ハ甚シク趣向ニ波瀾チ起コサセ
 ルヨリハ寧ろ其中ニ現レル人物ヲ種種様様ニ
 一個人ニ整然トシテ區域ノアルヤウニ描イタ
 コトデアツタ。ソレカラ其歴史ニ關スル脚本
 ニ於イテハ事實チ曲ケタリ善惡チ誤ツタリス
 ルコトガ無ク、實ニヨク其時代ノ神聖ノ歴史
 ト相一致シテキタ。當ニ歴史上ノ脚本ニ於イ
 テサウデアアルノミナラズ歴史上デナイ方ノ脚
 本デモ一時代ト決マツテキタ所ニハ決シテ其
 時代以外ノコトハシナカッタ。
 ぼおふハ此詩人ヲ評シテ斯ウ云ツタ。「創造
 ノオト云フ名ハ實ニ此沙翁ニ與ヘルベキモノ

テ自然ノ機會デアツテ唯自然ヲ摸擬スルダケ
ノ人デハ無ク、寧ロ自然カラ然ルベキ自然ノ
現レル所ヲ探リ取ツテコレヲ輝カシテ放スト
云フヨリモ一層ノ上ニアル——即チ寧ロ自然
ヲ貫イテ自然ノコトニ就イテヨク解釋分解ス
ル能力ヲ持ツタト。

獨逸ノ有名ナ批評家しゆれえげるハ又斯ウ
云ツタ。——「沙翁ホド人物ノ性情ヲ能ク描キ
出ス詩人ハ恐ラク天下ニ敵ハアルマイ。其男
女或ヒハ年齢ナドノ區別カラ上ハ帝王カラ下
ハ乞食マデ、一ハ勇將カラ一ハ拘摸マデ、一ハ
賢人カラ一ハ愚人マデ一様ナ手際ヲ以ツテ一
様ニ描キ出シテ宛然精神人情ヲ魔術ニ由ツテ
現スヤウニ見エル」。

獨逸ノれすいんぐハ評シテ斯ウ云ツタ。

「凡ソ詩人モ數アル中殊ニ此沙翁ハ人間ノ精
神ノ鬱憂、疾病、發狂ナドヲ描ク段ニ於イテハ
無類デアツタ。實ニ正當ナ醫者マデモ此沙翁
ガ描イタ發狂人ノ様子ヲ研究ノ材料トスルコ
トヲ非デアツタ」。

凡ソ沙翁以後ノ大家ガ此人ニ對シテ挾ンダ
ノハ萬口一致、非常ナ大偉人トシテ崇メル段
ニ於イテ少シモ異論ハナカツタ。其所デ又不
思議ナ事實ガ近頃ニナツタ云ヒ出サレタノ
デ、此沙翁ハ是程ニ非凡ナオノアル程デア
ルニ其素性モ人物モ一向分カラヌノハ不思議
ナ事ト遂ニ此頃沙翁ト同時代ニ出タ大哲學者
ベえこぬ、此人ガ沙翁ノ一身分體デ、ツマリ沙
翁ハベえこぬノ假リノ名デアラウト云フ奇妙
ナ説デ、此説ガ出テカラ歐洲一般孰レモ驚イ

タ。其説ノ出タ故ヲ探レハ沙翁ハ如何ニモ高
大ナ理想ヲ持チ、其戯曲ニ現レル所ノ哲學上
ノ考ヘガ實ニ高ク、普通人ノ行ク所デナイ、寧ロ
ベえこぬナラハ行ケルダラウト云フ考ヘデア
ツタ。又其書キ現シテアル意味ニ於イテモベ
えこぬニ似テキルト云フ所カラシテ此説ガ世
ノ中ニ現レテ來タ。ガ、然シ素ヨリマダ確カ
ト云フ決定デナイ。

(四四) しえい

英國ノ詩人。一七九二年、八月四日出生。十三
歳ノ時いよいよノ學校ニ入り、少年ノ時カラ
非常ニ想像ニ富ミ、大キナ物語リ、又ハ深ク
考ヘニ沈ムナドト云フコトヲ好ンダ。十六歳
ノ頃二種ノ小説、即チ其一ハ「Astrozi」及び其
一ハ「Saint Irvyne」ヲ著シ、コレガ文壇ニ現レ

ル初メデアツタ。一八一〇年おっくすむを
グニ行キ、大學ニ入り、其時小サナ雜誌ノヤウ
ナモノヲ出シタ。是等ノ中カラ最早既ニモウ
大文學者トナル様子ハ現レテキタ。朋友ナド
モ此人ヲ頗ル賞メタ。然シナカラ此頃學校ノ
規則ト云フモノハ嚴格デ最モしえいノ性質
ニハ適セズ、其壓制ナ事ヲ痛論シタ雜誌ヲ出
シタ所カラ學校カラモ憤ラレ、遂ニ不運ニモ
放逐トナツタ。しえいハ勿論其朋友迄モ餘
リ猛烈ダト云ツテ訴ヘタガ採用ニナラズ、始
メテ征途ノ逆境ヲ踏ンテ浮キ世ノ苦シイコト
ヲ知ツタ。ソレカラ倫敦ニ行キ姉妹ニ援ケラ
レ、カスカニ暮ラシテキタ。一八一一年妻ヲ
娶ツタガ、縁ガ熟セズ、一八一二年双方承諾ノ
上離縁トナツタ。次ギノ年大陸ヲ旅行シタガ、

此時伴ナツタ人ト云フノハ新タニ娶ツタ妻めりい。こづらぬ。中ヨク大陸ヲ旅行シテキダガ、然シナガラ此こづらぬト云フ人モ不思議ナ人デ人間ノ結婚ト云フモノハ無用デアアル、無用ト云フヨリハ寧ロ壓制ナ所置デアアルト云フ事ヲ主張シテキタ。後チ歸ツテカラ後チ一八一六年ニナツテ妻ガ自ラ身ヲ投ゲテ死ンダト云フ事ヲ聞イテ非常ニしえれいモ悲シンダ。大抵發狂スルクラキニナツテ實ニ其感情ノ強スギルタメ餘程可笑シイクラ非デアツタ。一八一七年此しえれいノ作ツタ詩ノ中デハ一番長イ作「Rivolt of Islam」ト云フノヲ拵ヘテ最モ能ク、其政治上ノ意見、社會ノ制度ニ就イテノ不思議ナ一己ノ考ヘチ記シタ。其語句ハ麗ハシク流暢デアツテ如何ニモ立派ナモノ

デ、想像ナドモ溢レテキテ眞ニ此人ノ天才ハ充分現レテキタ。一八一八年ノ後チ以國ニ行キ、十九年間居リ、其所デ「The Gencl」ヲ著シ、續イテ其年「Witch of Atlas」續イテ翌年「Plo-melheus Unbound」續イテ其翌年「Adonais」其他小サナ詩ナドヲ作ツタガ何レモ傑作デアツタ。一八二二年七月、れぐはるぬト云フ所カラれりらニ行カウト思ツテ小舟ニ乗ツテ出掛ケタ。實ニ無殘ナコトデ此時此小舟ガ不思議ニ沈没シ、遂ニしえれいモ同マク藻屑トナツテ仕舞タツ。其後チ二週間ノ後チ死骸ガ海岸ニ漂泊シタ。コレヲ見テ人人涙ヲ流シタ。其懷中ヲ探ツテ見レバ詩人さいつツ詩集ガアツタ。此樽ガ忽チ早ク傳ツタ所デしえれいと交際シテキル詩人ハ何レモ悲シミ、ソレヲ人ノ中ニ

ハ有名ナばいるぬ。れい。はぬ。ナドモアツタ。ソレカラ立チ合ヒノ上火葬シ、羅馬ノ新教ノ寺院ニ葬ツタ。

實ニコノしえれいハ齡ヲ全フセズ死ンダ故著シタ數モスクナイ。ガ、若シ天ガ之ニ齡ヲ借シテ充分ニ作ラレルベキ餘地ヲ與ヘタナラバ決シテばいるぬ、づらいでぬアタリノ下ニハ出ヌデアラウトハ後世一般ノ學者ガ承認スル所デアツタ。僅少年ノ中作ツタ物デサヘ想像ハ充分溢レテキル、コレガ最モ發達シタナラハ天晴レ英國ノ飾リガ益スデアラウト云フ。勿論ソレダケデモ英國ノ上流ニハ位シテキル。其詩ノ特色ハ語句ノ流暢デアアルハカリデナク、一種ノ氣概ニ富ンダ。又スベテ人間ノ誠心ト習慣ト云フモノハ連合シテ存在スル

モノデ、其誠心ガアル故習慣モ成リ立ツテ行クモノト考ヘタ。此習慣ト云フノハしえれいニ於イテハ例ノ學校教育ノ中ニ酷ク辛イメニ逢ツタソレラガ根ヲナシテしえれいノ心ニ深ク感情ヲ刻ミ入レタモノデアツタ。名ハ習慣、即チ Custom ト云フモノノ、其實ノ意味ニ於イテハ壓制、即チ「Tyanny」ノ意味デアツタ。

ふるわる。此詩人ノ詩ヲ評シテ斯ウ云ツタ。「此詩人ノ詩ハ一節ゴトニ思想ガ段段變ハツテ行ツタ。一節チ過ギルマデニ眼ヲ射テセテソレカラ跡ハ眼ガ痛ム。譬ヘテ見レバ一個ノ眼鏡ガ數千個ニ碎ケテ光リチ放ツツヤウデアツタ」。しえれいとばいるぬトノ間ノ交際ハ最モ暖

カクアツタ。ガ、其實性質ハ全ク違ツテ、しえ
れハ不思議ニ思案ニ凝ル性デ、口モロクニ
聞カズ類ヲ傾ケテ考ヘテバカリキタ。ばい
ぬノ方ハ考ヘノ烈シイコトハ烈シカツタガ、
しえれハヨリハ活潑デ、筆口切り開ケタヤウ
デアツタ。

(四五) しえりだぬ (Philip Henry)

有名ナ米國ノ大將。一八三二年出生。一八四
八年士官學校ニ入り、一八五三年名譽ヲ以ッ
テ及第シ、一八六一年カラ軍隊附屬ノ士官ト
シテ世ノ中ニ現レ、遂ニ名將ノ名ヲ轟カシタ。
諸所ニ轉戦シ將軍ぐらぬツノ手ノ下ニ附キ、
大イニ武名ヲ擧ゲタ。

(四六) しえりだぬ (Richard Brinsley Butler)

愛國ノ辯者、兼狂言作者。一七五一年出生。其
生マレタ土地デ學ビ、幼年ノ時ハ愚人トイフ
評判ヲ受ケタ。一七七二年妻ヲ娶リ、一七七
五年「The Rivals」ト題スル滑稽ノ狂言ヲ作り、
其所デ非常ナ詩才ヲ示シタガ不運ナコトニハ
初メハ冷遇サレタ。次ギノ年「The Duenna」ト
イフノヲ著シ非常ナ成功ヲ遂ゲ、其一時機ノ
間七十五回モ芝居ニ演ジタ。一七七七年其傑
作「School for Scandal」ヲ著シ、遂ニ其時代第一
流ノ狂言作者トナツタ。ソレカラ其芝居ノ株
ヲ買ヒ一七七九年「The Critic」ヲ著シ、一七八
〇年議會ニ入り、辯者トシテ忽チ勇ヲ振ルヒ、
内務次官トナリ、一七八七年へえすていんぐ
スノ彈劾ノ時其有名ナ演説ヲシ、其演説ハ其
儘速記ニ殘ツテ今日モ珍重サレル。一生涯ノ

生計ハ甚ダ立派デ、餘リ立派過ギタメ借財
ニ苦メラレ、晩年ハ全ク借金取りニ攻メラレ
テキタ。一八一六年七月歿。頓才ノアル段ニ
於イテハ甚ダ有名ナデアツタ。

(四七) しやるまぬ

米國ノ武人。一八二〇年、二月八日出生。一八
六一年六月歩兵第十三聯隊ノ大將トナリ、其
七月二日ぶるらぬノ戦ヒニ艦隊ヲ帥弁、勇名
ヲ轟カシタ。

(四八) しづにす (Algeron)

一六二二年出生ノ英國志士。共和主義ヲ固ク
持シ其時代ニ於イテ人民ヲ煽動シ暫刑罰ヲモ
蒙リ、遂ニ一六八二年ソレヲノコトカラ死刑
ニ處セラレタ。然シ非常ニ勇氣ノアツテ且ツ
人民ノタメニ身ヲ犠牲ニ供スル義侠心ニ富シ

ダト云フコトハ誰レモイフ。

(四九) しづにす (Sir Philip)

英國ノ著述家、兼武人。一五五四年始メテ著
シタ文學上ノ著述ハ「五月ノ美人 (The Lady of
the May)」デ、一五七八年舞臺デ演セラレタ。
一五八六年歿。「散文ニ最モヨク熟シ、コレヲ
麗ハシク運轉スル技術ニ於イテハ英國ノ中ノ
屈指ナ人」トハはらむノ評シタ言葉デアツタ。

(五〇) しえす

佛國ノ政治家。一七四八年出生。革命ノ時ニ
ハばぶりて黨トナリ、大イニ名ヲ轟カシタ。
一八三六年歿。

(五一) しりまぬ

米國ノ博物學者。一七七九年、八月八日出生。
歐洲ヲ旅行シ、一八一二年其旅行日記ヲ二卷

シ、大イニ社會ヲ罵リ飛ハシ、非常ナ評判ヲ受ケテ。一七四八年小説「Roderick Random」ヲ出版シ、非常ニ喝采ヲ博シ、コレニ振ルヒ興ザレテ一七五一年小説「Peregrine Pickle」續イテ「Count Fathom」ナドヲ著シテ。醫者トシテハ餘リ名譽ガ無シ、一七五八年一轉シテ歴史家トナリ、「英國史」ヲ著シテ大イニ社會ノ喝采ヲ博シタ。ガ、此英國史ハ其行文ノ他ニ實ハ取ル所ガナカシク。一七七一年十月歿。

(五八) すにやでつたS
波蘭ノ數學者、兼星學者。一七五六年出生。らぶらすナドト親密ナ交際ヲ結ビ、其時代ニ仰ガレタ。一八三〇年歿。主ナ著ハ星學ノ著述ノ他ニかぬツノ哲學ヲ難クテ哲學上ノ著述「人心哲學」ト題スルモノ。然シナガラ數學上

ノ著述及ヒ星學上ノ方ノ著述ガ有名ナモノニナツテキル。

(五九) そくらていす
普通ニ誤ツテそくらていすト云フ。希國第一流ノ哲學者。前四七〇年出生。少年ノ時カラ才智ガ非凡ヲ隨分人チモ驚カシ、物チ學ブ心厚ク、ソレ故其土地ノ富家ニ愛サレ、其人ノ助ケヲ得テ學問ヲ修メタ。一代ノ傳記ハ餘リ委シクハ分カラヌ。但シ一時ハ兵卒トナリ三度モ戰ヒニ出タコトガアツタト云フ。ソレカラ又戰ヒニ於イテモ勇氣ヲ現シ、其手柄ヲ以ツテ賞與ナドチモ受ケタナドノ事モアルトノ事デアツタ。ガ、軍人ト云フヨリハ全ク一個ノ大哲學ト云ハレテ充分ナ、寧ロ餘ルクヲキク名譽ヲ博シテキル。社會ニ於イテモ大學者トシテ

許サレ、其他政治ニモ味チ容レ、種種ナ難局ニ當メツテモ屈セズ、一代ノ賢者トハ云ハレテキタ。哲學者ニナツテカラ何時頃カラ教授ヲ始メタカ其邊ハ分カラヌ。而シ先ヅ幾分チ手懸リニナル所カラ推スレバ餘程早イ頃カラ既ニモウ社會ニ立ツテ哲學者トシテ聞コエテキヌラシカツタ。前四〇〇年頃らいこぬト云フ辯者トめれたすト云フ詩人トわにたすト云フ惡徒ト三人ガ共謀シそくらていす、希國ノ神ナ莫ニシ、國體ヲ穢シ、實ニ不道德極ハマルモノデアルト誣ヒシ。此事ガ社會ニ傳ハリ、遂ニそくらていす法廷ニ引キ出サレ種種難問ヲ受ケタ。ガ、無論無實ノ罪、斷シテ固ク取ツテ動カズ、容姿閑雅凜然トシテ動カスベカラザル様子ヲ現シ、手ノ付ケラレヌヤウデアツ

タ所カラ判事モ大イニ怒リ、遂ニコレチ死刑ニ處スルト云フコトニナリ、遂ニそくらていすモ毒チ服シテ死シタ。一生涯ノ歴史チ云ハバ唯コレタケノコトデアツタ。身後ニ殘ル名ハ實ニ馨シク、何千年ノ今日マデモ大學者トシテ後世ノ學者ガ仰グ。ぶらどおノ師匠デモアリ、其ぶらどおカラモありすどつるトイフ大家ガ出ダクヲキク、其モトノ人ハ即チ此學者デ、ソレ故哲學者トシテハ第一流ニ位スル。生徒チ集メテ種種教授スルコ當タツテハ決シテ文章ノ上デハ無ク、口デハカリ論ヲタ。又往來ニ於イテモ忽チ街頭ニ演説シ、人チ集メテ説イテ聞カセタコトモ有ツタ。そくらていすノ前ニハ何レモ詭辯哲學者ガ希國全國チ横行シテキヌラデ其極ハ唯辯ニ於イテツマラヌ

末端ノコトヲ云ヒ争フバカリ、實ニ架空ノ議論ヲ仕方ガナカッタ。其所ヲ此（てくら）ていすガ現レ、其詭辯哲學者ヲ排斥シ容觀的ノ考證ヲ取ツテ眞理ヲ定メヤウトシタ。ソレトイフ詭辯哲學者ハ主觀的、ソレ故（てくら）ていすハ氷炭ノ相違デアッタ。そくらていすノ前世紀ノ學術ハマダ單ニ天地ノコトニ就イテノミ論ヲタバカリテ、ソレ故詭辯哲學ニノミ奔ッタ、其所（てくら）テいすガ天地ノ外ニ主トシテ人間ノ智識ト思想トヲ論シ、客觀的ノ材料ヲ取ツテ哲學ヲ研究シタ。其常ニ云フ所ハ「德則智」ノ一句テ、今日ノ哲學ヲ固メ出シタ。其初メハツマリ此人デアルトハ一般ノ學者ガ承認スル。

(六〇) （てくら）でそりす、いかりばでぬええら

一六〇年出生ノ班國ノ狂言作者。一六八六年歿。さらまぬか大學ヲ法律ヲ修メ、「戀ヒト勤メ」ト云フ脚本ヲ作り、ソレカラ「La Ghinilla」、「Un Bobo hace Ciento」、「El Alcazar de Secretos」ヲ著シ、續イテ一六八四年「墨國侵略史」五卷ヲ著シタ。

(六一) （てくら）すべぬさる

一六五〇年出生ノ英國ノ政治家、兼法律學者。一七一六年歿。

(六二) （てくら）そふをくりいす

希臘ノ詩人。殊ニ悲劇ニ長シタ。前四九五年出生。希臘ノ詩人ノ中ノ屈指ノ人。

(六三) （てくら）すらるつ

一七六九年三月出生ノ佛國ノ武人。一八五一年十一月歿。

(六四) （てくら）さうせら

有名ナ英國ノ文學者。一七七四年八月十二日出生。亞麻布屋ノ子テ幼年ノ時ハ勞働ニノミ服シテ更ニ學問ヲ修メナカッタ。後テ段段獨學シテ修メルヤウニナリ、遂ニ一代ニ仰ガレタ。一七九三年「Wat Taler」ト云フ脚本、及ビ「トやぬだるく傳」ト云フ詩ヲ著シ、遂ニ其時代ノ一個ノ文學者ト云ハレタ。主ナ著ハ其他ニ傳テハ「ねるそぬ傳」、及ビ「道德、及政治論」ナド。散文家トシテハ有名ナ人デアッタ。

(六五) （てくら）すうべすつる

佛國ノ文學者、兼新聞記者。一八〇六年出生。一八五四年歿。

(六六) （てくら）すばるくす

米國ノ歴史家、兼傳記學者。一八二五年出生。

一八六六年歿。傳記ヲ數多出版シ大ニ學者ニ益ヲ與ヘタ。

(六七) （てくら）すべぬさる

近代ノ英國ノ大哲學者。一八二〇年出生。初メハ機械工學ヲ修メ、一八四五年中途テ廢シ、一轉シテ哲學者トナリ、今日ノヤウナ大名ヲ轟カシタ。進化論者ノ屈指ナ人テ社會學ニ於イテハ新説ヲ著シ、今日ノ哲學者ノ中テハ第一流ノ名ヲ博シテキル。其著ハ「綜合哲學」ト云フ名義デ「第一義 (First Principles)」ヲ初メトシ、「社會學」、「心理學」、「生物學」、「一般進化論」ナド數多アル。日本テハ非常ニ此人ノ作ヲ仰イダ。無論大哲學者デハアル。

(六八) （てくら）すべぬさる

英國ノ詩人。一五五三年出生。英國詩人ノ中

ノ第一流ニ位スル人デ、沙翁、みるゝといふ、ばい
ろぬナドト肩ヲ並べル。一七七五年A.M.ノ學
位ヲ取り、後チ北英國ニ住居シ「Shepherd's
Calendar」トイフヲ著シ、一五七九年之ヲ出版
シタ。其他ニモ數多ノ作ハアツタ。殊ニ此人
ノ名チ不朽ニサセタノハ所謂「神女傳」(Fenice
Queen)「テ新タニ九脚ノ韵脚ヲ作り、開祖ト
云ハレタ。此一種ノ作デすべぬさるノ名ハ英
國ノ文學史上ニ輝ク。

(六九) すひひぬくす

希ノ神學ノ魔神。女ノ顔、鳥ノ翅、獅子ノ胸、
足、尾。びらみづノ邊ニアル。

(七〇) すびのら

一五六九年出生ノち、之のわノ貴族。有名ナ武
人デ、殊ニ軍事ニ熟シタ。一六三〇年歿。班

國ノ軍隊ヲ帥キテにいざるらぬづチ攻メ、勇
名ヲ轟カシタ人。

(七一) すびのおさ。又、すびのさ。又、
すびのおさ。

一六三二年十一月廿四日わひすてるだむ出生
ノ大哲學者。其兩親ハ班國人トモイヒ、或ヒ
ハ葡國人トモイフ。少年ノ時カラ希伯語其他
古學ヲ學ビ、最モヨクでかるつノ哲學ヲ愛シ、
其著述ヲ大イニ讀ンダ。幼年ノ時カラソレ故
一派ノ哲學上ノ意見ヲ持チ、ソレヲ人ニモ
云フ所カラ邪教家ト疑ハレ、猶太教徒カラ大
イニ譴責ヲ受ケタ。一六五六年すびのおさが
二十五歳ノ時ナドハ邪教家ト思ハレルコトガ
最モ酷ク、遂ニ其反對ノ連中ガコレヲ暗殺シ
ヤウト思ツタ。殆ド暗殺ニ逢ツテ傷チモ受ケ

タ。僅カ傷チ受ケタハカリテ其土地ヲ逃ゲ、
れいでぬニ移リ住ミ、其所デ玻璃鏡、望遠鏡、
又ハ顯微鏡ナドヲ造ツテ生活ヲ遂ゲテキタ。

其間常ニ節儉ヲ守リ、苟シクモ浪費セズ、一六
六八年頃ハわけニ移ツタ。其哲學上ノ大著
述「Tractatus theologicus-politicus」ハ一六七〇

年ノ出版デ死後一六七七年「Opera Posthuma」
ト云フ題デ更ニ其他ノ著述ガ出版ニナツタ。

此哲學者モ一生妻ヲ娶ラヌ、獨身ヲ暮ラシ
タ。歿年ハ一六七七年。死後凡ソ百年間ハ矢
張り邪教ヲ唱道シタ人ト云ハレ、怪物ト見做
サレ、叛逆人ナドト攻撃サレタ。漸ク百年ノ
後ニナツテ近頃デハ益其名ガ現レ、此すびの
おさノ眞價モ知レタ。其眞價ノ知レタノハ獨
逸ガ初メテげて、けっすいんぐナドガ早ク此

人ヲ普通ノ邪教家デ無イト認メタ所カラデア
ツタ。此人ノ一代ノ主ト作ハ倫理學ニ幾何學
ヲ應用シテ論ヲ書物デアツタ。

此人ノ哲學上ノ主義ハ本質一體論デ、物ト
心トハ同一ノ物トシタ。ソシテ此物ト心トノ
一體ハ獨立デ、決シテ苟シクモ他ニ頼ルト云
フ事ガ無イモノデアアル故即チコレヲ絕對的ノ
モノトシ、天帝ト名付ケタ。此所ガでかるつ
ト違フ點デでかるつノ方デハ物ト心トヲ別ニ
シタ故即チ二元論者、すびのおさノ方ハ之チ
一ツニ併ハセタ故一元論者ト云ハレル。コレ
ニ加フルニすびのおさハ「萬有神教」ノ派デ、
唯其本質一體論ヲ主張シ、物ト心トヲハ外界
ノ象トシ、別ニ其本體チ一ツ定メタノハ其哲
學ノ一大短所デアツタ。デ之ニ次イテらいふ

にツツガ出テコレヲ補ツタ。

(七二) でふすてえるほるすたいぬ

一七六六年出生ノ佛國ノ貴婦人。後ヲコまたむ・でふすてえるト呼ハレタ人。時ノ有名ナ富豪家ねッけるト云フ人ノ娘デ、母ニ厚ク教育ヲサレ、遂ニ一代ニ屈指ノ婦人トナツタ。幼年ノ時ハるらそおヲ愛讀シ、るらそおカラモ感化ヲ受ケ文學者トナル兆ヲ現シタ。一七八六年すてえるノばるぬ爵えりツト云フ典國ノ公使ニ嫁シ、ソレヲ夫ニシテヤガテ一七八八年「るらそおノ文章及ビ性質」ト題スルモノヲ出版シ、ソレカラ革命ガ起コツタ所デ其義俠ノ念ヲ現シ、數多殘虐ナ災難ニ遇フ貴族ヲ援フコトニ盡カシタ。コレヲハ其一例デ、ソレカラ一生涯ノ間ニ義俠ノ事業社會公衆ノヲ

メニ身ヲ擲チ、今日ニ於イテハ眞ニ一代ノ烈女ト云フ評判ヲ受ケタ。著述モ數多アリ、文學者トシテハ一方ニ其名譽ヲ轟カシタ。一八〇二年出版ノ小説「Delphine」ハコレ又此人ノ傑作デ、ソレヲ出版シテカラ獨逸ニ遊ビ、げえで、しるれる、ナドトモ交際シタ。人トナリ容貌非常ニ氣高ク、且ツ哲學ノ思想ニ富ミ、辯舌最モ立派デアツタ。一八一七年七月歿。
(七三) すたぬれい
近代ノ英國ノ偉人。亞非利加遠征ヲ試ミテ有名ナ人。
(七四) すたぬたぬ (Edwin M.)
米國ノ政治家、兼法律家。一八一五年出生。一八三六年代言人トナリ、ソレヲ初メトシテ社會ニ現レ、らぬのニ愛サレ、遂ニ一流ノ政

治家トナツタ。一八六九年歿。

(七五) すたぬたぬ (Miss Elizabeth Gady)

有名ナ婦人。一八一六年出生。女權擴張家トシテ開コエタ人。數學、拉丁語、及ビ希語ニ熟シ、議論ニ巧ミテ、遂ニ女權ヲ擴張スル志ヲ振ルヒ興シ、一八四八年七月其夫すたぬたぬト共ニ女權擴張協會ヲ造リ大イニ其主義ヲ世界ニ擴メタ人。

(七六) すていする

一六七一年だぶりぬデ出生ノ文章家、兼狂言作者。少年ノ時わでいそぬノ友人デアツタ。大學ヲ去ツテカラ諸所ヲ歴遊シ、一七〇一年「The Christian Hero」及ビ一七〇二年「葬式 (Grief à la Mode)」ヲ著シ、一七〇三年「優シイ亭主 (The Tender Husband)」ヲ作りソレカラ種

種ノ作ヲ作ツタ。一七二二年出版ノ「Taler」ナドハ此人ノ傑作デ、コレヲわでいそぬモ精密ニ評シタ。文學者トシテハ此ヤウデ一代ノ大家ト云フ名ヲ博シタ。ガ、政治家トシテハ又有名ナ民黨デアツタ。一七二一年、三月五日カラわでいそぬト共ニ有名ナ雜誌「Spectator」ヲ出版シ、大イニ名ヲ揚ゲ、一七二三年議會ニ入り、ソレカラ政治上ノ雜誌「危急ナ場合」(The Crisis)ト云フノヲ著シタ所カラ、一七二三年、(或ヒハ一四年トモイフ)議會カラ放逐サレ、一七二二年ニ至ツテ其有名ナ大著述「The Conscious Lovers」ヲ著シタ。一代ニ随分ト社會ニ高評ヲ受ケタ所カラ收入モ多クアツタガ、何レモ濫用シタタメ一生貧ニ陥ツテ借金ナドニ責メラレテキタ。一七二九年歿。

(七七) すていふぬす

諸國ノ文學者、兼哲學者。一七三七年出生。こかべぬはあげぬノ大學デ修業シ續イテ之カノ大學ニ入りし(えりんぐ)ノ哲學ノ主義ヲ愛シ、大イニカチ博物學ニ傾ケタ。一八一九年「Handbuch der Oryklognosie」ヲ著シ、哲學者トシテ世ニ聞コエ、一八一三年ぶれするカ大學デ物理學ト博物學トノ教授ニナリ、元一三年同シ學術ヲ伯林デ教授シタ。前記ノ外ニ主ナ著述ハ一八〇六年出版ノ「哲學的自然理學初步」、及び一八二四年出版ノ「虛偽ノ神學」、及「眞誠ノ信心」ナドハ有名ナモノデアツタ。又一代ニハ小説モ作ツタ。ソレノ方ノ傑作ハ即チ「四人ノ諸國人(Die vier Novverger)」及び「まてーてい」ノ傳」ナド。一八四五年歿。

(七八) ふをぬすたいぬ

一七五七年出生ノ普國ノ有名ナ政治家。政治學者トシテモ知ラレル。初メ法律ヲ修メ、ソレカラ法律家トナリ、一七八六年英國ニ遊ビ、諸種ノ研究ヲ遂ケ、歸ツテカラ大イニ優待ヲ受ケ、遂ニ一代ノ名流トナツタ。一八三二年歿。普國デハすたいぬト云ツテハ最モ有名ナ名ヲ現シテキル。一八〇八年頃ニハ拿翁ニ憎ガラレ、烈シク追ハレ、彼方此方ヲ流寓シタト云フ。

(七九) すていふぬそぬ

英國ノ機械學者。一七八一年、六月九日出生。機械學ノ才ニ富ミ、わつつが發明シタ蒸氣機關チ更ニ實際ニ當テ嵌メ、好結果ヲ現シ今日用キルヤウニシタトテ有名ナ人。一八四八年歿。

蒸氣ヲ使用シテ今日ノヤウニ汽車或ヒハ汽船ニスルコトニ出來タノハ其モトハわつつが其未ハ此人デアツタ。

(八〇) すたるぬ

一七三三年出生ノ愛國ノ滑稽家。父ハ士官デアツタ。けいふりちゆ(けいふりちゆ)大學デ修業シ、ソレカラ社會ニ現レ、滑稽家トシテ知ラレタ。殊ニ其有名ナ著述ハ一七五九年出版ノ「Fisstram Shandy」デアツタ。一七六八年更ニ「Sentimental Journey」ヲ著シタガコレ又非常ナ喝采ヲ博シタ。實ニ滑稽或ヒハ頓才ニ於イテハ英國ノ第一流ニ位スルデアツタ。

(八一) すていふぬす

有名ナ米國ノ立法家。奴隸制度全廢説ヲ執ツテ有名ナ人。一七九三年四月四日出生。一八

六八年歿。

(八二) すていふぬそぬ

蘇國ノ哲學者、兼物理學者。一七五三年出生。一七七二年「夢ノ説」ト題スルモノヲ著シ、大イニ名ヲ轟カシタ。數學、哲學及ヒ物理學ニ熟シ、一代ニ著シタ所ハ頗ル多ク、一個ノ大學者トシテ仰ガレル。一七九三年ニハ「道德哲學初步」一八〇二年ニハ哲學者クイブノ傳ヲ著シタガコレヲヨリモ尙此人ノ著述トシテ大名ヲ博スルノハ一八一〇年出版ノ哲學上ノ論文デ、其他ハ學術再興以後ノ形而上學、倫論學及ヒ政治家ノ發達沿革ヲ英國百科全書ノ中ニ記シタ一節デアツタ。一八二八年歿。

(八三) すていふぬそぬ

露國ノ武人。勇名ヲ轟カシタ人。三八四年頃

波國ノ公使トシテ送テレタ頃ハ年モ若クアツ
タトイフ。四〇八年歿。

(八四) すどおぬ

一八一八年出生ノ米國ノ婦人。女權擴張ニ於
イテ有名ナ人。辯舌鋭ク、コトニ演説ニ長マ
タ。

(八五) すどおぬ

米國ノ法律家。一七七九年出生。醫者ノ子デ
アツタ。一八〇二年「The Power of Solitude」ト
題スル詩ヲ著シ、其後中途テ詩ヲ廢シテ遂ニ
法律家トナツタ。法律學ノ著述ガ多ク今日テ
モ英國法ヲ講ズルモノハ此人ノ著述ヲ讀ム。
一代ノ主ナ作ヲ擧グレバ一八三三年出版ノ
「Commentaries on the Conflict of Laws」、一八三
六年出版ノ「Commentaries on Equity Jurispru-

dence」、一八三九年出版ノ「Treatise on the Law
of Agency」。其著述ハ何レモ大部ノモノデア
ツタ。

(八六) すどら

米國ノ女性ノ小説家。一八一二年六月十四日
出生。幼年ノ時カラ非常ニ書ヲ好ミ、最も愛
讀シタノハすどらノ小説、あれえびのぬない
つとぬきはあてトデアツタ。ソレカラ哲學
ニ志シテ傾ケ、學校ヲ去ツテカラ後チモ文筆
ニ於イテ早ク名ヲ轟ガシテ遂ニ一流ノ小説家ト
ナツタ。一八三六年廿五歳ノ時博士すどら氏
ニ嫁シ、一八三四年「Uncle Tom's Cabin」ト云フ小説ヲ
著シ、續イテ「The Mayflower」ヲ著シテ非常ニ
喝采ヲ博シタ。續イテ大傑作「Uncle Tom's Cabin」
ヲ著シ奴隸制度ノコトニ就イテ細カニ實際ヲ

描キ、コレ一ツガ此人ノ不朽ノ傑作ト云フ名
譽ヲ博シタ。其他ニ「Died」、「The Minister's
Wooing」ナリ。

(八七) すつらふとるつ

英國ノ政治學者、貴族、同三爵。一五九三年
出生。一六四一年五月斬罪ノ刑ニ處セラレタ。
政治家トシテ社會ニ名ガ重ク、常備兵ヲ立テ
ルコトニハ大イニ力ガアリ一代ニ鳴リ渡ッ
タ。帝王ノ力ヲ矢張り愛國ノヤウニ英國ニ於
イテモシタイト一代ニ計畫シタ。ソレラカラ
社會ニ思マレ、一六四〇年十一月ノろんぐ。ば
ありわめぬつテ叛唐人ト云ハレ、遂ニ死刑ニ
處セラレタ。其一代ノ書簡ナドハ集メテ其後
二卷ニナツテ出版サレタ。

(八八) すつろす

獨逸ノ神學者。一八〇八年出生。こすべるヲ
解説スル神秘ノ理論ト云フコトヲ云ヒ出シテ
有名ナ人。一八三二年つびんげぬノ神學學校
ノ助教授トナリ、宗教家トシテ種種ノ著述ガ
アツタ。其主ナ著述ハ「新教沿革史」
(八九) すつらぐらぬつ

(九〇) すえとおにあす

一七八七年出生ノ米國ノ工學者。一八五四年
歿。
拉丁ノ歴史家。七〇年頃ノ人。主ナ著述ハ
「十二人ノしんるの傳(Vite Caesarum)」。

(九一) しら、又、すら

有名ナ羅馬ノ武人。前一三八年頃ノ人。性質
勇悍、事ニ當タツテ剛毅デ、微賤カラ起コツテ
遂ニ羅馬ノ兵權ヲ握リ、羅馬全國ヲ戰爭ノ渦

ノ中ニ卷キ込ミ、一派ノ領袖ト仰ガレ、まりあ
 ナト戦ヒ大イニ勇名ヲ轟カシタ。此人ノ幕下
 カラ有名ナぼびいナドモ出タ。一代ニ羅馬
 ノ刑法、治罪法ナドニモ改良ヲ加ヘタ。此人
 ナハ巧ミニばいゝるぬカ「Gulde Harold」ノ中テ
 論ジタ。

(九二) さり、又、すり

一五六〇年出生ノ佛國ノ政治家。巴里テ教育
 ナ受ケ、ソレカラ社會ニ現レタ。一六四一年
 歿。軍略ニ富ミ、一五八七年くらつらすノ戰
 ヒノ時ニ自身出軍シ、砲兵隊ヲ帥イテ武名ヲ
 轟カシタ。ソレカラいふりノ戰ヒノ時ハ非常
 ニ多クノ傷ヲモ受ケテ愈信用ヲ重クシタ。性
 質非常ニ活潑デ、直言直行苟クモ屈セズ現ニ
 へぬり帝王ガべるぬいノ公爵ト結婚ノ手紙ヲ

書イタ時帝王ノ面前デソレヲ引ッ裂イタ。

(九三) さひきる

米國ノ法律家。一八一一年出生。奴隸制度全
 廢説ヲ執ツテ有名ナ人。一八七〇年其一代ノ
 著述ガ全集ニナツテ出版サレタ。

(九四) さぬだるらぬづ

一六四二年頃出生ノ英國ノ政治家。殊ニ政治
 上ノ技能ニ富ンダ。まこかれいハ此人ヲ評シ
 テ「非常ニ慧眼ノ人」ト云ツタ。

(九五) すわるつす、又、すばるつす

典國ノ植物學者。一七六〇年出生。うぶさる
 大學テ學ビ、らぶらぬづ、西印度ナドヲ旅行
 シ、大イニ植物ノ智識ヲ擴メタ。主ナ著述ハ
 「Teones Plantarum Incegritarum」及ビ「典國ノ
 植物學(Svensk Botanik)」一八一八年歿。

(九六) すわでむぼるぐ

一六八八年出生ノ典國博物學者、兼數學者。
 一七二五年カラ一六年ニ掛ケテ理學上ノ著述
 「Dædalus Hyperboreus」ヲ著シ一七二八年ふれ
 どりぐす。はふるノ戰ヒニ其所ガ圍マレタ時
 此人ノ工夫ニ由ツテ五艘ノ端艇ト一艘ノ帆前
 船ヲ乘セテ十四哩ノ遠クニ送ル運轉ノ機械モ
 出來タ。一七二七年代數學ヲ著シ、續イテ月球
 ナ觀測シテ土地ノ經度ヲ知ル法ヲ工夫シタ。
 一七二二年蘭國ニ至リ、一七三三年「Opera Phi-
 losophica et Mineralia」三卷ヲ著シ、コレ又大著
 述トシテ世ノ中ニ知ラレタ。一七四〇年カラ
 四一年ニ掛ケテあひすてるだむデ動物經濟學
 (Economiæ Regni Animalis) 及ビ「動物學」(Reg-
 num Animale) ナドヲ著シ、諸所ノ學者ニ愛讀

サレタ。コレヲ著述シタ功績ハ實ニ埋没ス

ヘカラサルモノデ眞ニ非常ナ熱心ト非常ナ勞
 カヲ掛ケテシタモノデ實ニ敵ガ無カッタ。五
 十七歳ニナツテ方向ガ少シ變ハリ。前ニハ形
 而下ノ學術ニ熱心デアッタ。ガ、コレカラ徐
 徐形而上ノ學ニ傾キ、段段研究ガ積ンダ上ハ
 直チニ不思議ナ靈妙ナ世界ト交通ガ出來ルコ
 トト信シ、ソレカラ種種占ヒノヤウナコトヲ
 シタ。ガ、併シ餘程不思議ナコトガアル。ソ
 レハ近代獨逸ノ大哲學者カぬつガ記載シタ事
 實デ、一七五九年七月十九日即チ土曜日ゴッて
 ひふるぐニ此哲學者ガサタ。其ゴッてひふるぐ
 ト云フノハすどぐふをるむカラ凡ソ三百哩
 モ離レテアツテ其所ニ居テ不思議ナ事實ト云
 フノハ即チカぬつノ記載シタ文ニ斯ウ書イテ

アツタ——此學者ガ外へ出テ行ツタト思フ
 中忽チ歸ツテ來テ顔色ハ蒼ザメ恐ロシシ驚イ
 タ顔付キチシテキタ。ソレデ何チ云フカト思
 へハ其三百哩離レタすどくふをるひデ火事
 ガ起コリ、非常ナ力デ火ガ燃エ擴ガツタト云ツ
 テ如何ニモ氣ノ揉メル體デ少シモ安マラズ出
 テ行ツタガ、ヤガテ歸ツテ來テサモ嬉シサウ
 ナ様子『ドウモ有リ難イ。火事ハ消エタ——私
 ノ宅カラ三軒目ヲ消エタ』ソレカラ其翌朝ニ
 ナツテ知事カラ使ヒガ來、而モ此學者ノ豫言
 ト同シ報告ヲ齎シタノデ咸驚イタ。『ドウモテ
 すどくふをるひノ火事ガ此方チ知レタカ其
 次第チ聞キタイ』ト問ハレタ時すむでぬばる
 ぐは火事ノ様子ヲ委シシ話シタ——ドウシテ
 始マツテドソナ體ヲ消エテ何時間而シテ燒ケ

續イテキタト云フコトヲ説明シタ。スルト其
 翌日ハ月曜日デ其日ノ夕方使ヒガ來タ、其使
 ヒガ齎シテ來タ手紙ハ如何ニモ此學者ガ云ッ
 タヤウナ事實デ、正ニ能ク暗合シテキタ。『デ、
 此事ニ就イテハかぬつモ多少不思議ニ思ッテ
 居タ。
 すむでぬばるぐ著述ノ其中ヲ神學ニ關係
 シタモノ第一ハ「天ノ秘密(Arcana caelestia)」
 デ、コレハ一七四九年ニ出版サレ、一七五六年
 ニ完備ニナツタ。一七五八年倫敦デ「An
 Account of the Last Judgment and the Destruction
 of Babylon」[Concerning Heaven and its Wonders,
 and Concerning Hell, being a Relation of Things
 Heard and Seen]及「On the Planets in our
 Solar System」ナドヲマツタ。歿年ハ八十五歳。

一七七二年三月二十九日。一生妻ヲ娶ラナカ
 ヲツタ。

(九七) すうのふつ

有名ナ英國ノ文學者。一六六七年十二月卅日
 出生。殊ニ諷諭ト嘲笑トニ富ンダ。父ハ代官
 人デ、すうのふつハ幼年ノ時——即チ一六八
 二年——始メテのりにていし大學ニ入り學問
 チ修メタガ、其學費ハ叔父ノ方カラ出タ。一六
 八五年十九歳デ卒業シ、母ノ縁續キノてひふ
 るト云フ人ノ書記トナツテ幾分カ錢ヲ取ッ
 タ。ガ、給料ハ甚ダ小額デ僅一年二十磅(我ガ
 百二十圓ハカリ)デアツタ。一六九二年おく
 すふをるづ大學カラM.A.ノ學位ヲ取り、ソレ
 カラシテ宗教家ニナルコトヲナツタ。コレカ
 ラガ此人ノ社會ニ出ル初メテ段段信用モ付

ギ、ソレカラ老いぬそぬト交際シ、ソレニ「See
 me」ト云フ詩ヲ作ツテ送ツタ。一七〇一年「雅
 典及ビ羅馬貴族平民確執論」ト云フ政治上ノ
 論文ヲ著シ大イニ其時ノ民黨ニ愛サレ、時ノ
 民黨ノ首領はりふあわくすナドト親友ニナッ
 タ。一七〇四年其有名ナ著述「Tale of a Tub」
 ト云フノガ出版ニナツタ(コレハ匿名デ)。續
 イテ「書物ノ戰」(The Battle of the Books)ガ現
 レタガ何レモ非常ナ喝采ヲ博シ、其嘲笑ノ如
 何ニモ巧ミテ猛烈デアツタソニハ見ル人ガ舌
 チ捲イタ。コレカラ主義ガ變ハツテ民黨ヲ去
 ヲツテ更黨ニ轉シ、一七〇八年「宗教進歩策」ト
 云ラノ著シ、一七一〇年十一月カラ翌年六
 月十四日までノ間ニ更黨ノ機關雜誌「Examin-
 er」ト云フノヲ毎週發兌シ非常ニ鋭イ筆ヲ揮

ト、當時ノ民黨ノ政治家ヲ罵倒シタ。ソレカラ世ノ中ニ知ラレ段地位モ重ク一方ニ於イテハ政治家トシテ一方ニ於イテハ文學者トシテ大イニ世ニ鳴ツタ。元來人物ハ頗ルモライ人デアアル故其部内ノ信用モ厚ク、若シモ此人ガ宗教家ノ内幕ノ惡ルイ所ヲ評イタ「Theology」ヲ書カナカッタナラバ儘コビシヨッポノ位ヲ取レタデアラウト云フ。一七一三年ハねはむらゐト云フ女ト惡意ニナリ、大イニ其人ニ甘心ヲ得、遂ニ結婚ヲ申シ込マレタ。ガ、コレヲ嫌ツタ其意味ヲ作ツタ詩ガ「Ciculus and Vanessa」デアッタ。一七一六年すてらト云フ婦人ト密カニ婚禮シテシマッタ。ガ、併シ素ヨリ秘密ノコトデアアル故他人ノ居ル所デハ決シテ然フ云フ姿ヲ見セナカッタ。ガ、此

婦人ハ一七二八年歿シタ。すうのふのノ一生涯ノ大作ハ所謂「Guineys Travels」即チガリバると云フモノノ旅行日記デ、無論社會ヲ嘲リ飛ハシタモノデ、英國ニ其種類ノ中ノ上上トハ數ヘラレル。一七四五年歿。性質ハ少シ淡泊デアッタモノノ少シ輕卒ナトコロモアッタ。純粹ノ愛ラシイ所ハアツタ。ガ、餘リ質朴過ギタノガ瑕デアッタ。ソレラカラ交際ハ上手デナカッタ。
(九八) すいでぬあむ
英國ノ醫者。一六二四年出生。英國ノヒッポクラテイト呼バレタ人。一六四二年まぐたりぬはふるニ入り、一六四八年醫學得業生ノ學位ヲ取り、ソレカラけむらぢぢ大學デモ修業シ、遂ニ當代有名ナ大家トナッタ。著述

モ數多アル中ニ、一七六六年出版ノ「熱病治療法」ナドハ殊ニ傑作トシテ知ラレタ。交際ガ巧ミデ大イニ人ニ愛サレタト云フ。

T

(一) たしたす
羅馬ノ歴史家。五五年頃出生。主ナ著述ハ「わぐりこらノ傳」。羅馬ノ歴史家ノ中デハ屈指ノ人デアッタ。其委シイ傳ハ分カラヌ。
(二) でふたれえろぬべりむる
有名ナ佛國ノ公使。殊ニ滑稽、頓智ニ富ンダ人。一七五四年二月十三日出生。一八三八年歿。るい十八世ヲ帝位ニ復シタ時、大イニ力ノアツタ人。一代カラノ人望ハ頗ル厚カッタ。其著述ハ自傳、隨筆ノヤウナモノガアル。即チ

題ハ「Memoires」デ、此人ノ言ツタ文句ニモ有名ナ言葉ガアル。即チ「人ノ言語ハ人ノ思想ヲ云ヒ現スデナク、却ツテ隠スタメニ人ニ與ヘラレタモノデアアル」。

(三) たりあぬ
佛國ノトやてびぬ黨。一七六九年出生。一八二〇年歿。一七九四年七月てるみむるノ時、人民ヲ帥イテ一派ノ領袖トシテ大イニ社會ニ横行シタ人。
(四) てえまるれえぬ
一三三六年出生ノ韃靼ノ豪傑。軍略ニ富ミ、帝位ニ即イテカラ後チハ諸所ヲ蹂躪シ大イニ大名ヲ轟カシ、此人ノ名ヲ聞ク者ハ赤子モ懼レタト云フ。蒙古全體ヲ占領シ、餘派ヲハ歐洲ノ一部ニモ向ケ一方ハ印度ヲ撃チ一方ハ露

國ノ墨斯科ニ至リ、縱横無盡ニアハレ廻ツタ。ヤガテ其勇ヲ集メテ更ニ東北ノ大國支那ヲ襲ハウトシタ。其用意ヲシテ居ル中、一四〇五年三月歿シタ。ガ、然シ版圖ノ治メ方ガマダ充分デナカッタ所デアアル故、惜シイコトニハ遂ニ自分ガ歿シタノデ直クニ其領分ガ切レ切レニナツテ仕舞ツタ。

(五) どおに

有名ナ米國ノ法律家。一七七七年出生。一八六四年歿。

(六) たろ

有名ナ以國ノ詩人。叙情詩ニ富ンダ。一五四四年出生。英國ノみるとぬト併ハセテ賞セラレル。大イニ時ノ貴族スデニ愛サレ其人ノ保護ニ由ツテ樂ナ生活ヲ遂ゲ、其間種種ノ詩

ヲ作ツタ中ニ其大著述「援ヒ取ラレタト」^一 えるされ^一 (Jerusalemme Liberte) 著シタ。一五七三年「Annie」著シ、一五七五年前ノ「援ヒ取ラレタト」^一 えるされ^一 ノ結局ヲ付ケタ。コレラ何レモ時ノ帝王カラ保護ヲ受ケタノデ、ソレ故財政ナドモ非常ニ立派デアッタラシイ。ガ、ドウ云フ譯カサホドデモ無イ様子デアッタ。えすてノ貴族ヲ妹れおのらト云フ人ヲ慕ヒ、其情ヲ寄セタ詩ヲ幾ラモ作ツタ。コレれおのらノ方ハドウデアッタカ果マシテたつと望ミチ容レタカ、ソレハ分カラナカッタ。ガ、然シナガラたつとれおのらノ令妹ト地位ハ非常ニ違フ所デ此婚儀ガ成リ立ツカドウカハ分カラナカッタ。ソレラノ故カ或ヒハ又他ニ原因ガアツタカ其邊ハ分カラナカッタガ稍發

狂ノ氣味ヲ現シ、遂ニ王モソレデハ困ルト云フ所カラ捕ヘテ發狂人ノ取リ扱ヒナシ、コレヲ牢ニ入レタ。程無クシテ其所ヲ脱ケ出シをれぬト云フ所ニ逃ゲ、其所ニハ妹こるぬりあト云フヲ連レテ行ツテ暫時住マツテサタ。ソレカラ王ヘ歸參ノ手紙ヲ書イタ。ガ、許サレナカッタ。段段困リニ困ツテ諸所ヲ漂泊シ、遂ニ餘リ困ツタ揚ケ句ニハ其今マデ思ニナツ

テサタ貴族ニ對シテ無禮ナ言葉ヲ放ツヤウニナツタ。ソレカラ瘋癲病院ニ送ラレ其間詩ヤ哲學上ノ議論ヲ書イタガ何レモ傑作デアツタ。「援ヒ取ラレタト」^一 えるされ^一 ノ第一卷ガ出版サレタ時ハ批評家ガ随分攻撃シタ。ガ、たつとハソレニ答ヘテ駁撃ノ論文ヲ作ツタ。

一五八七年ニハ「Jurismondo」ト云フ悲劇、及

ビ一五九三年ニハ「征服シタト」^一 えるされ^一 (Jerusalemme Conquistata) 著シタ。一五九五年四月歿。はらむナドハ此人ヲ賞メテ「以國第一流ノ人物」ト評シタ。

(七) てすらる (Bayard)

米國ノ旅行家、文學者、兼詩人。一八二五年出生。諸所ヲ旅行シ旅行日記ナド數多有名ナ面白イノガアル。殊ニ傑作トシテ聞コエルノハ希國、露西亞ナドノ旅行日記デアッタ。

(八) てすらる (Jeremy)

英國ノ大僧正、兼著述家。一六一三年出生。宗教家トシテ道德堅固ニ、最モ社會ニ評判ガ宜ク、又、一方ニ於イテハ學者トシテ仰ガレタ。一六五一年出版ノ「Holy Living and Dying」、一六五三年出版ノ「基督教傳」、及ビ一六五四

年出版ノ「Golden Grove」ナドハ非常ナ傑作デ、詩才ヲ現シタ點ニ於イテハ有名ナモノデアッタ。英國ノ僧徒ノ中デ説教ナドニ巧ミテアッタ人ハ殊ニ此人デアツタトハはらむモ評シタ。一六六七年歿。

(九) ていさる (Thomas)

英國ノ學者。ぶらどおにすつト云フ渾名ノアツタ人。一七五八年出生。幼年ノ時ハ非常ニ委シク希臘ノ古代哲學ヲ調べ、段段研究ガ積ンデ遂ニぶらどお、ありすとつるナドニ長シ、ソレヲ反譯モアル。其他ニハあるふひゆうすノ讚美歌ヲ初メトシ、スベテ希臘ノ哲學ニ關シタモノヲ反譯シテ有名デアツタ。一八三五年歿。辯舌モ宜シ、社會ノ交際モ最モ上手デアツタト云フ。

(一〇) ていさる (Zachary)

有名ナ米國ノ武人。合衆國第十二ノ大統領。一七八四年出生。一八五〇年七月九日歿。

(一一) ていねえる

一七八二年出生ノ典國ノ詩人。殊ニ希語ニ長シタ。典國ノ詩人ノ中ノ上流ニ位スル人デ、一八一一年出版ノ其著「Apo」ナドハ有名ナモノデアツタ。一八四六年歿。

(一二) てる

瑞國ノ勇者、兼愛國者。第十三世紀ノ下半年ノ人。しるれるノ傑作「うるるへるむてる」ト題スル脚本ノ主人公デアツタ人。其頃瑞國ハ埃國ノ政府ノ壓制ヲ受ケ、人民一般ニ塗炭ニ苦ンデ非タ。或時てるガ人ト共ニ旅行シテ井タ所、丁度埃國ノ官吏ニ逢ツテ無禮ヲ加ヘラ

レタ。自分ノ帽子ニヨリ禮ヲシロ！サモナケレバ屹度刑罰ニ處ス」ト云ツテ威サレタ。其帽子ト云フノハ其所ニ懸ケテアツタ帽子ダガ

此所ニ於イテ瑞國ノ男子ハ其様ナコトニ屈セナイト云フ顔付キデ一向其言葉ヲ用キズ、儼然トシテ構ヘタ。此官吏ト云フノハげすれるト云フ男デ、げすれるハ尙怒ツテ林檎ヲ擲タセ、若シてるガ林檎ヲ擲テ損ツタナラハ死刑ニ處スルト云フ亂暴ナ言葉デアツタ。てるモ愈力ガ入ツテ益屈セズ其林檎ヲ取ツテ忽チ其げすれるノ子ヲ打テ殺シテ仕舞ツタ。ソレカラ大イニ憤ラレ、忽チ捕ヘラレテ牢ニ送ラレルコトニナリ、船へ積ミ載セラレタ所、途中デ其船ガ激シイ嵐ニ逢ヒ、遂ニてるハ身ヲ海ニ投シテ逃ゲテ仕舞ツタ。コレヲノ話ハしるれ

るノ作ノ方ニ委シクアル。物語リニ據レハてるハ一三五〇年頃溺死シタト云フ。

(一三) てりえす

班國ノ狂言作者。一五八五年出生。一六四八年歿。主ナ著述ハ「女將軍 (La Neger que manda en Casu)」及ビ「婦人ノ謹慎 (Prudence en la Neger)」「らぶらノ田舎娘 (La Villana de la Sagra)」

(一四) ていぶる

英國ノ政治家、公使、兼著述家。一六二八年出生。一六九九年歿。

(一五) ていねえる

英國ノ近代ノ大詩人。一八〇九年出生。けいぶりぢゆのつりにていし大學ヲ教育ヲ受ケ、一八二九年其廿一歳ノ時既ニ「Timbuctoo」ト

云フ詩ヲ賞牌ヲ受ケタ。ソレカラ翌年叙情詩
 ナ多ク集メテ詩集ヲ出版シ、社會ノ歡迎ヲ受
 ケ、早既ニ大詩人ト云フ名譽ヲ現シ、一八三三
 年又、更ニ一ツノ詩集ヲ著シ、大イニ世ニ知ラ
 レ、續イテ一八四七年「The Princess」一八五〇
 年「In Memoriam」ナドヲ著シ何レモ喝采ヲ博
 シ、遂ニ近代ノ英國ノ詩人ノ中ノ泰斗ト仰ガ
 レ、世界ニ此十九世紀デハ匹敵スル者モ無イ
 シライニナツタ。一八九二年即チ昨明治二十
 五年歿。晩年ニナツテ政府カラ貴族ニ列セラ
 レタ。此詩人ノ特色ハ如何ニモ感情ガ細カク
 且ツ柔カク、貴女、婦人ナドノ情ヲ描ク段ニ於
 イテハ最モ得意デ、而モ感動ヲ與ヘ、涙ナド催
 サセル段ニ於イテハ敵ガナカッタ。如何ニモ
 文句ガ優美デ響キガ好ク、此人ノ傑作トシテ

傳ハルモノノ中ニハ「五月女王(The May
 queen)」ナドモ有ル。
 (一六) さかれば
 英國ノ小説家。一八一一年出生。けいふりッ
 ぢ大學ヲ修業シタガ學位ヲ取ラズニ學校ヲ
 去ツタ。父ハ財産家デ、其父カラ非常大財産
 ナ受ケ、樂ニ生活ヲ遂ゲタ。職業ヲ求メ、初メ
 ハ技術家ニナラウト思ヒ中頃カラ遂ニ文學者
 トナツタ。其時倫敦デ出版スル諸所ノ新聞雜
 誌ニ寄書ヲ試ミ、中ニモたいむす新聞ニハ多
 シ原稿ヲ寄セタ。此人ノ特色ハ文ヲ舞ハス
 コトニ於イテ如何ニモ自由自在ニ而モ鋭ク、
 嘲リ飛ハスヤウナ工合ヒテ物ヲ描クノデ、隨
 分ト其文章ハ六ツカシクアツタ所カラ多クノ
 人ニハ讀マレナカッタ。ガ、併シ大家ト云フ

名ヲハ既ニ博シテキタ。一八四〇年「The Paris
 Sketch-Book」ト題シ、佛國ノ巴里社會ノ内情
 ナ嘲リ飛ベシタ作ヲ試ミ大イニ社會ノ喝采ヲ
 博シタ。ガ、主ナ作ハ一八四六年出版ノ有名
 ナ「Vanity Fair」デ、如何ニモコレハ傑作デア
 ヲツタ。續イテ一八四九年カラ五〇年ニ掛ケテ
 「Pendennis」ヲ著シ、一八五二年「へぬり、えす
 もぬづ」ノ傳「ヲ書キ、一八五一年第十八世紀ノ
 英國ノ滑稽的文學者ノ論ヲ講義シ、ソレチ一
 八五三年ニナツテ出版シ一八五二年合衆國ニ
 至リ又コレヲ講義シタ。其他ノ著述ハ「The
 Snob Papers」「The Newcomes」、其他雜筆ナド。
 一八六三年歿。人トナリ器用デ其技術家ニナ
 ラウト云ツタダケアツテ繪ニモ熟シ、其著述
 ナドニモ自分デ筆ヲ取ツテ繪ヲ書イタノガ多

クアツタ。
 (一七) せみすどくりいす
 希臘ノ雅典ノ政治家、兼辯者、兼武人。希臘ノ
 中ノ屈指ナ人物。前五一年出生。常ニ演説ノ
 警古ヲシ、何卒シテ大名ヲ以ツテ社會ニ鳴リ
 渡テウト云フ念ガ厚ク、まらなぬノ戦ヒノ後
 ナハ何ントナク浮キ立タテ常ニ考ヘニ沈ンデ
 夜モロクノ寐ラレヌノヲ見テ友人ガ何故ト
 尋チタ。スルト答ヘテ、「ナカナカ眠ラレドコ
 ロノ國ノ運命デハ無イト云ツタ。一般ノ人ハ
 まらなぬ敵ニ勝ツテ、コレデ戦争モ終ツタ
 コトト信マテキタ。ガ、獨リせみすどくりいす
 ハサウ思ハズ、寧ロコレガ續イテ起ルベキ非
 常大戦争ノ初マリデアルト考ヘ、雅典人ニ
 海軍ヲ増シテ用意ヲシテ置ケト早ク既ニ勸メ

タ。其豫言的中シテ後ニ波國ノさるくせずガ非常ナ大軍ヲ以ツテ寄せテ來タ。其時希國人モ此せみすどくりいすニ服シ直グニコレニ總大將ノ役目ヲ委セ、兵隊ヲ與ヘテ此敵ト涉リ合ハセタ。前四八〇年ノコトデソレカラさらみすノ有名ナ戦争ガアツタ。其時ノ海軍ハ前ニ一般ニ獎勵シテ置イタタメ、當タル所敵ナク、敵ノさるくせずモ酷ク破ラレテ仕舞ツタ。コレガ實ニコノ人ノ一代ノ大事業デアツタ。前四七一年其名譽カラ他ニ憎マレ、叛送人ナドトモ云ハレ、仕方ナク國ヲ去ツテ波國ニ行ツテ大イニ優遇サレタ。ソレカラ波國テ歿シタガ其歿シタノハ天然ニ歿シタノカ或ヒハ自殺デアルカ少シ疑ヒガアル。歿年ハ前四九九年。

(一八) てなゐる。
 佛國ノ化學者。一七七七年出生。一八五七年歿。學者トシテ近代テハ有名ナデアツタ。元素ぼろぬチ發明シ又水素ニ就イテモ非常ニ發明スル所ガ多クアツタ。
 (一九) せおくりたす。
 前二七〇年頃キタ。しらさうすノ詩人。殊ニ田舎ノ詩ニ熟シタ。
 (二〇) せおだりく。
 おすつろをすノ王。大王ト云フ名ガアル。四五五年出生。五二六年歿。
 (二一) せおふらすたす。
 希國ノ哲學者。前三七四年出生。前二八六年歿。雅典テ修業シ、初メおらとのおノ主義ヲ取り、其後ありすとつるノ弟子ニナツタ。能辯

テ講義ナドニモ評判ガ好ク、哲學ニハ深ク通シタ。著ス所ノ物ハ「道德論」ナド。

(二二) トいしゆうす

あつていかに豪傑。幾分カ小説的ノ人物。餘儀ナク雅典カラ妖怪ニ七人ノ美少年ト七人ノ美少女トヲ獻リ、人身御供トスル其時此人モ同ク其群レニ入ッテ一ツ腕ヲ振ルツテ其妖怪ヲ殺サウトシ、ヤガテ其妖怪ノ子ノ姫ニ慕ハレ、續イテ其妖怪ヲ殺シタ。

(二三) ていあすす

有名ナ大男。えだた人ノ小説ニアル人物。非常ニ勇力ノアツタ人ト云フ。

(二四) ていえいる。

佛國ノ歴史家、兼國務大臣。一七九七年出生。政治家トシテモ有名ナデアツタ。主ナ著述

ハ「佛國革命史」。

(二五) とおるく

獨逸ノ神學者。一七九九年、二月卅日出生。柏林大學テ修業シ、東洋語ヲ學ビ、傍ラ神學者トシテ世ニ聞コエタ。一八二三年「Wahre Weisheit & Zweifel」ヲ著シ、大イニ名ヲ擡メタ。其他ニ著述ハ數多アル中テ「Sünden der Andacht」ナドハ殊ニ傑作デアツタ。此人ノ著述ハ大抵英國テ反譯サレタ。

(二六) とおます (Antoine Léonard)

佛國ノ文學者。一七三二年出生。巴里テ學ビ、一七五六年自然ノ宗教ニ關スル詩ニ就イテノ「哲學的、兼文學的鑑察」ト題スル書物ヲ著シ、一七五九年佛國ノ學士會院カラ、賞與ヲ受ケタ。一七八五年歿。著述ハ其他數多アル。

(二七) どおます (George H.)
 米國ノ軍人。一八一六年七月卅一日出生。一八七〇年歿。一八六四年十二月十五日ノ戰爭ニハ敵ヲ大イニ破リ六千人ヲ虜ニシ六十門ノ大砲ヲ分捕ツテ名ヲ轟カシタ人。

(二八) どますしらす

獨逸ノ哲學者、兼社會改良者。一六五五年らいぶつゝくテ出生。一七二八年歿。主ナ著ハ一六九一年出版ノ「論理學入門」、一六九二年出版ノ「道德哲學入門」、一六九二年出版ノ「智愚ノ歴史」ナド。ふりいづり大王ハ此人ヲ指シテ「獨逸第一流ノ哲學者」ト賞シタ。

(二九) どむそぬ (James)

一七〇〇年出生ノ蘇國ノ詩人。エでいびるく大學テ神學ヲ修メ、一轉シ文學ヲ研究シ、一

七二六年始メテ其詩「冬」ト題スルモノヲ出版シ、餘リ成功シナカッタ。續イテ「春」、「夏」及「秋」ナドト題スルモノヲ著シ、ソレヲ「四季ノ詩」(The Seasons)ト名付ケテ出版シ、コレヲ名ヲ知ラレタ。ソレカラ二三ノ脚本ナドヲ作ツタガ成功セズ、一七四八年ニ至ツテすべからるノ神女傳ノ韵格ヲ用キ「Cashie of Indolence」ト題スル詩ヲ作り、大イニ喝采ヲ博シタ。一七四八年歿。此「四季ノ詩」ハソレナガラ獨逸ナドニモ反譯サレ、諸所ニ愛讀サレタ。

(三〇) どむそぬ (Thomas)

蘇國ノ化學者、兼醫者。一七七三年出生。一八五二年歿。主ナ著述ハ一八〇二年出版ノ「化學」(System of Chemistry)及ヒ一八一三年出版ノ「典國旅行日記」。

(三一) どろ、又、どろ

諸國邊テ崇メル神ノ名。諸諸ノ神ノ中最モカノアルモノトイフ。

(三二) どろお

米國ノ博物學者。一八一七年出生。一八三七年はるばるづ大學ヲ卒業シ、ソレカラ博物學者トシテ世ニ聞コエタ。一八六二年歿。

(三三) どるはるづえぬ

一七七〇年、十一月出生ノ蘭國ノ有名ナ彫刻家。一八四四年歿。近代ノ彫刻家ノ中デハ屈指ナ人デアッタ。

(三四) でふ、どお

佛國ノ歴史家、兼政治家。一五五三年出生。一六一七年歿。主ナ著述ハ「近代史」(Historia Sive Temporis)ナド。

(三五) すらしびららす

希國ノ愛國者、兼軍人。前四〇〇年頃ノ人。前三八九年歿。

(三六) すしでいす

希國ノ歴史家、兼武人。前四一年出生。其名ハ其著述ノ歴史へるぼぬすいあソ戰ヒチ叙シタ物デ現レル。文章最モ明キラカデ、持論ガ巧ミデアッタ。まこおれいナドモ大イニ此人ノ作ヲ賞メタ。

(三七) さるろ

英國ノ法律家、兼政治家。一七三二年出生。一八〇六年歿。

(三八) たいびりあす

羅馬ノ有名ノ皇帝前四二二年出生。三二二年歿。

(三九) ていす

羅馬ノ有名ノ皇帝前四二二年出生。三二二年歿。

獨逸ノ詩人、兼小説家。一七七三年出生。好シテ歴史ト文學トヲ研究シ、一七九五年「*Abdallah*」ト云フ詩ヲ著シ、一八〇〇年妻ヲ娶リ同シ年「*Geneve*」ト云フ脚本ヲ著シ、名ガ聞コエタ。文學ニ於イテハ「*おまぬてい*」派デ、其他ノ著述ハ「*顛覆シタ世界*」ナドト云フモノアツタ。一七九九年カラ一八〇一年迄ハ「*おまぬてい*」ハテモ反譯シ、大イニ國人ニ愛讀サレタ。一八五三年歿。

(四〇) *ていしでふまぬ*

獨逸ノ解剖學者、兼生理學。一七八二年出生。一八六二年歿。主テ著述ハ一八一七年出版ノ解剖學及ヒ其他人體ノ動派ナドヲ研究シタモノデ、獨逸ノ解剖學者中ノ第一位ニ位スル。(四一) *ていしづけふ*

獨逸ノ詩人。一七五二年出生。一八四一年歿。主テ著述ハ「*婦人ノ鏡 (Frauenspiegel)*」。

(四二) *ていぬとれ*

一五二二年出生ノベニスノ有名ナ畫工。一五九四年歿。ベネシハ派ノ畫工ノ中デハ屈指ナ人デアツタ。

(四三) *ていしえぬ*

獨逸ノ博言學者、兼聖書ノ學者。一八一五年出生。ちいぶつイック大學デ修業シ英國其他埃國小亞細亞ナドヲ漫遊シ博言學者トシテ知ラレタ。主テ著述ハ一八四六年出版ノ「*Coelx Friderico-Augustanus*」。

(四四) *ていしやぬ*

一四七七年出生ノ以國ノ畫工。ベネシハ派ノ畫工ノ屈指ナ人。殊ニ景色畫ニ長シタ。一五

七六年歿。

(四五) *でふとくびる*

佛國ノ政治家、兼政治哲學者。一八〇五年出生。政治學ヲ哲學的ニ研究シテ大イニ政治學者ノ中カラモ仰ガレタ。一八五六年「*L'ancien Regime et la Revolution*」ヲ著シタ。一八五九年歿。

(四六) *つうく*

英國ノ博言學者、兼政治哲學者。一七三六年出生。一八一二年歿。一七八六年出版ノ其著「*Diversions of Purley*」ガ此人ノ傑作デ大イニ言語學ニ新奇ノ材料ヲ與ヘタ。

(四七) *つうぶふえる*

一七九九年出生ノちえねハノ技術家。美術ニ關係シタ其書類ガ多クアツタ。一八四六年歿。

(四八) *とるでぬす*

丁國ノ大將。一六九一年出生。一七二〇年人ト決闘シテ歿シタ。軍人トシテハ丁國ノ中ノ屈指ノ人デアツタ。

(四九) *とるりせり*

一六〇八年出生ノ以國ノ物理學者。數學ニ通ジ、ヨク物理學ヲ究メ遂ニ其有名ナ發明即チ「*とるりせり*」ノ真空ト名付ケル真空ヲ發明シ、ソレカラ一步ヲ進メテ風雨計ヲ製造シタ。一六四七年歿。

(五〇) *とるちやの*

一四七二年出生ノ伊國ノ彫刻家。あんちえノ親友デ常ニ其技能ヲ憎ミ、烈シクコレトハ敵ニナツタ。暫時英國ニ住居シ、へぬり第八世ノ愛顧ヲ得、へぬり第四世ノ墓ノ飾リヲモ作ツタ。一五二九年班國ニ歸リ、ソレカラ彫刻

家トシテ世ニ立ツタ。

(五一) でふ・つうるぬふふる。

有名ナ佛國ノ植物學者。一六五〇年出生。初メもぬつひべりえるデ藥學ヲ修メ、一代ニ植物家トシテ聞ユエタ。一七〇八年歿。主ナ著述ハ「佛國植物史(Histoire des Plantes qui naissent aux Environs de Paris)」。

(五二) れふ・つうるぬる。

佛國ノ反譯家。一七三六年出生。一七七〇年英國ノ「やんぐノ夜思(Night Thoughts)」ノ詩ヲ譯シ大イニ社會ノ喝采ヲ博シ、續イテ沙翁ノ戯曲ヲモ反譯シ、コレ又世ニ鳴ツタ。餘リ沙翁ヲ此人ガ賞メタメ圖ラズモ時ノ大文學者ばるてゐるノ怒リニ觸レタコトサヘモアツタ。コノ他ニ佛語デ沙翁ノ作ヲ譯シタ人モア

ツタガ然シドウシテモ此人ニハ及バナカツタ。一八二四年更ニ再版サレ、其外ニモ種種反譯ガアツタガ何レモ英語ヲ譯シタノデアソツタ。一七八八年歿。

(五三) でふ・つうるびる。

佛國ノ軍人。伯爵。一六四二年出生。一六六七年カラ軍人トナリ、蘭國及ビ班國ト戦ヒ、次第ニ地位モ世ノ中ニ重シ、一六九〇年六月、ピいちへッブデ英國ノ軍ヲ破ツテ名ヲ轟カシタ。一七〇一年歿。

(五四) つうさぬ・るうべるつうる。

有名ナ黑人ノ軍人。一七四三年はいてイデノ出生。先祖ハ亞非利加ノ貴族デアツタトイフ。其兩親ハ二人トモ奴隸デ、純粹ナ黑人デアツタ。此人ハ幼年ノ時カラ學問ヲヨク教ヘラレ、

而モ天性鋭敏デアツタ所カラ大イニ其上達モ早ク、段段社會ノ事ニモ通ジテ來タ。一七九一年八月ノコトデアツタガ、はいちにゐる黑人ノ奴隸ガ今マデニ白人ノタメニ慘酷ニ待遇サレテ居タ其不滿ガ段段鬱閉シテ餘リ遂ニ破裂シ、一揆トナリ、多數ノ白人ガスベテ虐殺サレタ。此時此つうさぬハ矢張り或ル白人ノ許ニ奴隸トナツテ居タガ此謀ニモ與セズ、心カラ自分ノ主人ヲ大切ニ思ヒ、一心ヲ籠メテ主人ノ命ヲ援フコトニ骨ヲ折ツタ。ソレデ主人ノ家モ全家舉ツテ無難ニ島ヲ去ツテ逃ガレルコトニナツタ。此段ニ於イテハつうさぬノ志シガ徹ツタガ、偕其後チノ内地ノ様子ハ眞ニ亂麻デアツタ折リ惡シク班國人ガ此事ニ干涉シタタメ沸騰ハ一層ニナリ、ヤガテ此つうさぬ

モ黑人ノ大將トナリ英國人ト班國人トニ向カツテ戰爭ヲ試ミル事ニナリ、自由自在ニ荒レ廻ハツタ。自然ニ軍略ニ長ケテキタト見エテ黑人ヲ用キテ戰爭ヲスルコト實ニ巧ミデ、流石ノ英國及ビ班國ノ兵モ散散ニナツタ。其伎倆ハ實ニ黑人中ニ秀デ配下ノ者モ驚キ、コレヲ神トシテ崇メルクヲキノ有様デアツタ。つうさぬノ勢ハ愈高ク佛國ノ政府ハ此時英國ト班國トニハ反對デ而モつうさぬヲ保護スルコトヲキデアツタ。是等ノ功績デ一七九六年佛國ノ公使カラ全軍總督ノ命ヲ受ケ取ツタ。ソレカラ愈兵ヲ進メテ奴隸解放ノコトニ盡力シ、或ヒハ戦ヒ、或ヒハ略シ、朝日ノ昇ルヤウナ勢デアツタ。後チ其功ヲ忌マレ、謀逆人トイフ名目デ一八〇二年六月佛國ニ送ラレ、遂ニ其

翌年四月病死シタ。傳フル所ニ據レバ餓死シ
タノデアラウトイフ。

(五五) たうぬせぬづ

一六七六年出生ノ英國ノ政治家。一六八六年
父ニ次イテ貴族院ニ入り、一七〇九年蘭國ニ
公使トナリ、政治家トシテ世ニ立ツコトニナ
ツタ。一七三八年歿。

(五六) つれえとやぬ

羅馬ノ帝王。五二年頃ノ人。羅馬ノ帝王ノ中
デハ名君ノ名ヲ轟カシタ人デ、此人ノ時代ハ
最モ文物隆盛ヲ極ハメタトイフ評ガアル。

(五七) つれぬちゆ

英國ノ宗教家、兼博言學者。一七〇七年出生。
つりにていゝ大學デ學ビ、學者トシテ世ノ中
ニ立チ、種種ノ著述モアツタ。其中デ主ナノ

ハ一八五二年「版」言語研究論(On the Study
of Words)。

(五八) つらちぶ (Anthony)

英國ノ小説家。次ギノ夫。一八一九年出生。一
代ニ著シタ著述モ多イ中デ一八五五年出版ノ
「The Warden」及ビ一八五八年出版ノ「Doctor
Phorne」及ビ一八六九年出版ノ「Phineas Finn」
ナドハ傑作ノ名ヲ傳ヘタモノデアツタ。

(五九) つらちぶ (Frances)

英國ニ最モ人望ノアル女性ノ小説家。一七九
〇年出生。合衆國ニ三年間住居シ、一八三二年
「米國人ノ家庭ノ景況 (Domestic Life of the
Americans)」ト題スルモノヲ著シ、續イテ其後
ナハ種種ノ物語リ、隨筆ナド頻頻トシテ著ハ
シタ、其中デモ一八三三年出版ノ「伯國及ビ西

獨逸」ト題スルモノ、一八三七年出版ノ「巴里」
ト題スルモノナドハ殊ニ世ニ聞ユニタ。一八
六三年歿。

(六〇) つらちぶ

一五九七年出生ノ蘭國ノ海軍有名ナ軍人。

(六一) つらちぶ

一七五〇年、四月廿四日出生ノ米國ノ詩人、兼
法律家。殊ニ滑稽ノ詩ニ富シタ。一七六七年
ええる大學ニ入り業ヲ修メ、學校ヲ出テカラ
後チ、法律家トナリ、一方ニ於イテハ一種ノ社
會ヲ罵ル詩ヲ作り、名譽ヲ轟カシタ。一七八二
年出版ノ「(No. 1800)」ハ殊ニ此人ノ傑作デ、
三十版ヲ重チタ。一八三二年歿。

(六二) ふをぬ・ちるぬはらせぬ

有名ナ獨逸ノ數學者、兼哲學者。一六五一年出

生。幼年ノ時、歐洲諸國ヲ歴遊シ、歸ツテさく
そにいゝ種種ノ硝子製造所ヲ拵ヘタ。其所デ
望遠鏡ナドノ非常ナ大キナモノヲ造リ、大イ
ニ世ノ中ヘ益ヲ與ヘタ。其中デハ鏡ノ直徑三
尺、燒點ノ距離一丈二尺程ノ大キナモノモア
ツタ。一八六七年其哲學ノ著述「精神ノ藥劑
(Medicina Mentis)」ヲ著シタ。一七〇八年歿。

(六三) ちゆうで

一五〇五年出生ノ瑞國ノ歴史家。瑞國ノ歴史
家ノ中デハ最モ初メノ人。其主ナ著述ハ獨逸
語デ「瑞國ノ歴史年表(一〇〇〇年カラ一四
七〇年迄)」ヲ著シタモノデアツタ。

(六四) たつかる

英國ノ哲學者。一七〇五年出生。父ハ商人デ、
此人モ大イニ財産ヲ受ケタ。一七二七年おッ

くすぶるづ大學ヲ教育ヲ受ケ、一七三六年妻ヲ娶リ、ソレカラ世ニ立ツタ。主ナ著述ハ一七六五年四卷ニナツテ出版サレタ、即チ「The Light of Nature Pursued」。一七七四年歿。

(六五) でふつれえぬ

佛國ノ大將。子爵。一六一一年、九月十一日出生。一六五一年、巴里ニ行キ、一六五二年三月近衛兵ノ總都督トナリ、非常ナ名譽ヲ獲カシタ。一六七二年大軍ヲ率キテ蘭國ヲ攻メ、當タル所敵ナク、和蘭佗人モ漸クノコトヲ國ノ水ヲ塞キ、國中ニ水ヲ溜メテ此人ヲ追ヒ退ケタトイフ。一六七五年戰歿。

(六六) つるこか

一七二七年出生ノ佛國ノ經濟學者、兼財政學者。初メ法律ヲ修メ、一七五二年議會ノ書記

トナリ請願委員トナリ段段社會ノ經驗ヲ歴テ世ノ中ニ立ツタ。一七七四年頃カラソロソロ大藏ノ事務ニ着手シ、著功ヲ奏シ、財政家トシテハ一代ニ重イ人トナツタ。一七八一年歿。

(六七) つるねえぶ

一五二二年出生ノ佛國ノ學者。巴里デ學ビ、一五四七年カラ巴里大學デ希語ノ教授トナリ、其方ノ名譽モ多クアツタ。しせるノ反譯ヲモ、或ヒハ注釋ナドヲモ試ミタ。殊ニ此人ノ傑作ハ一五六四年カラ七三年ニ掛ケテ三部ニナツテ出版シタ「Adversaria」デアツタ。一五四九年歿。

(六八) たるなる (Dawson)

英國ノ植物學者。一七七四年出生。一八五八年歿。主ナ著述ハ一八二〇年出版ノ「のるまぬ

旅行日記」。

(六九) たるなる (Joseph Mallord William)

有名ナ英國ノ景色畫工。一七七五年四月倫敦デノ出生。理髮師ノ子デ、教育ハ普通デ、甚シク高等ナノモ受ケズ、幼年ノ時ハ主ニ倫敦ニ居タ。ヤガラ一七八九年ろわゆる。あがでみいニ入學シ、主ニ水繪ヲ弄ビ、一七九〇年一ノ「宮殿ノ圖」ヲ描イタノガ抑モ大家トナル初メデアツタ。ソレカラ段段經驗ヲ積ミ、信用モ厚ク、遂ニ一八〇五年ニ至ツテ其非常ナ傑作「しやふばらせぬ没落ノ圖」ガ現レ其翌年ニ至ツテ又「霧ノ中ノ太陽ノ圖」ガ出、何レモ世間

ノ喝采ヲ博シ、一八三二年ニ至ツテハ例ノばゐるぬ「Child Haroldノ圖」ヲ描キ全ク一代ノ大家トナツタ。らすさぬノ説ニ據レハ、實

ニ景色畫デハ此人ハ上上ノ位置ニ位スル人デ光線ノ配合、遠近ノ取り方ナドハ類ノ無イ人デアツタ。一生妻ヲ娶ラズ、人ト交際スルノ嫌ヒ、閑居シテ常ニ一人ヲ業ヲ修メタ。一八五一年歿。

(七〇) たいらる

合衆國ノ第十番ノ大統領。一七九〇年、三月出生。初メ法律ヲ修メ、暫クハ代言人ノヤウナコトヲシテ世ノ中ニアリ、段段ト政治ニ喙ヲ容レテ遂ニ一代ニ重イ人トナリ、大統領トナツタ。一八六二年歿。

(七一) ていぬだる

近代ノ英國ノ大學者、兼物理學者トシテ雷名世界ニ轟ク。一八二〇年愛國ノ出生。今ハL. I. 及ビ F. R. S. 主ナ著述ハ一八六〇年出版

ノ「氷塊論」デ、此世界ノ初メハ大キナ水塊ガ世界ヲ包ンデキルトイフコトヲ説イテ大イニ學者ニ新規ノ材梁ヲ與ヘタ。ソレカラ一八六二年出版ノ「熱ノ論」モ此人ノ傑作デ、熱ヲスベテノ運動ノ基トシタ。コレヲニツテ全ク大家トイフ名ヲ轟カシタ。此人ノ著るふはすクテ演説マシテ筆記ヲ「Belast Address」ト題シテ今日所ノ學校ナドデモ教科書ニスル。

(七二) ていゝる。又、ていゝる。又、ていゝる。北方ノ神ノ中ノ最モ俊レタモノ。天下ニ敵ガ無ク、恐レルモノモ無カツタトイフ。手ノ一本デ、ソレナガラ勇力ハアツタ。

(七三) たいさぬ。

一六四九年出生ノ英國ノ醫者、兼解剖學者。けいぶりぢぢゆ大學テ修業シ、近代ノ醫學者ノ

中デハ殊ニ有名ナ人デアツタ。F. R. S. トナリ、著述モ種種トアル中ニ、殊ニ「侏儒解剖學」ト題スルモノガ有名デアツタ。一七〇八年歿。

U

(一) うるまぬ。

獨逸ノ神學者。一七九六年出生。一八二二年はいでるべる。テ神學ノ教授トナリ、ソレカラ神學者トマテ世ノ中ニ立チ、ヤガテ「神學ノ研究及ビ批評」(Theologischen Studien und Kritik)、「トイフ雑誌」ヲ著シ、神學ノ主義ヲ世界ニ現スコトニナリ、一八二九年へえる大學デ神學ノ教授トナリ、一八三六年はいでるべる。クニ歸リ愈名譽ハ重ク、ヤガテ、一八四一年ニナツテ「改革前ノ改革者」ト題スルモノヲ著

シ、一八四六年ニナツテ「未來ノ宗教」ト題スルモノヲ著シ、一八五五年ニナツテ「基督教ノ性質」トイフノヲ出版シ何レモ各國ノ言語ニ譯サレタ。

(二) ううるあ。又、ううりよあ

一七一六年出生ノ班國ノ數學者、兼海軍ノ將官。常ニ海軍ニアリ、數學ヲ研究シテ有名ナ人デアツタ。一七四四年航海ノ中、英國人ニ捕ハレ、二年間禁錮ノ身トナリ、ヤウヤクニシテ班國ニ歸リ、一八四八年「南亞利加旅行日記」ヲ著シ、大イニ學者ニ益ヲ與ヘタ。一七九五年歿。

(三) うらる。

のるすノ神學ノ神。スベテ冬ヲ守ルトイフ。

(四) ゆうりすいす。

昔シノ希國ノ王。其能辯ト才智トニ有名デアツタ。

(五) うんげる。

獨逸ノ印刷人、兼木版彫刻家。一七五〇年出生。殊ニ精密ナ細工ニ長ワタテ名ヲ殘シタ。一八一三年歿。

(六) ゆある。

蘇國ノ化學者、兼物理學者。一七七八年出生。ぐらすおお大學テ學位ヲ取り、一八〇二年其土地ノあぬだるそぬノ學校ノ化學、及ビ物理學ノ教授トナツタ。主ニ著述ハ一八二一年出版ノ「化學辭書」、及ビ一八三五年出版ノ「製造論」。一八五七年歿。

(七) でえ。するさぬ。

佛國ノ貴婦人。政治上ニカノアツタト有名

十八。一六四二年頃ノ出生。一六五二年しや
れ之 (Chalais)ノ貴族 Adrien de Talleyrand
嫁シ、一六七五年去ッテ Braccianoノ貴族 Fra-
vio Orsiniニ嫁シ、多年羅馬ニ住マヒ夫ヲ助ケ
テ政治ニ際ヲ容レ班國ノ王宮附屬ノ侍姫トナ
リ、大イニ勢力ヲ振ルツタ。一七三二年歿。

(八) わっしやる

一五八〇年一月四日だぶりぬ出生ノ宗教家、
兼學者。主ヲ著述ハ一六三五年出版ノ拉丁語
ノ作「英國古代寺院」。一六五六年歿。

V

(一) れふ・ばよぬ

有名ナ旅行家、兼博物學者。一七五三年ぐいに
わデノ出生。多シ佛國ト獨國トニ住マヒ、鳥ニ

就イテノ研究ヲ遂ゲ、一七八〇年喜望峰ニ旅
行ヲ試シ、南亞非利加ヲ探險シヤウト思ヒ、種
種ニ工夫ヲ遂ゲ遂ニ志シテ達シ、數多ノ鳥ヲ
捕ヘテ佛國ニ歸リ、其旅行日記ヲ著シテガ、最
モ新奇ナコトニ富ンテキタ所カラ大イニ世ノ
中ニモ愛讀サレタ。一八二四年其外ニモ鳥ニ
關係シタ小サナ著述ガ幾ラモアツタ。

(二) ばぬびゆれぬ

一七八二年十二月五日出生ノ米國ノ有名ナ政
治家。第八ノ大統領。初メ法律ヲ修メ、ソレカ
ラ或ヒハ著述、或ヒハ雜誌ニ論說ヲ出シ、段段
世ノ中ニ聞コエ、奴隸制度全廢ノ時大イニ旗
鼓ヲ振ルヒ、遂ニ大統領ノ椅子ニ坐ツタ。一八
六二年歿。

(三) ばぬくうばる

英國ノ有名ナ航海者。一七五五年頃ノ出生。幼
年ノ頃カラ船ノコトニ從事シ、處處ヲ歴遊シ、
其旅行日記ヲハ書物ニシテ出版シタ。中デ殊
ニ北太平洋ヲ過ギタノガ有名デアツタ。今ノ
ばぬくうばるトイフ有名ナ湊ハ此人ノ發見シ
タ所デ、ソレ故、此人ノ名ヲ取ツテソレニ命ヲ
タ。

(四) ばぬだるびるつ

近代ノ米國ノ富豪。一七九四年出生。モト航
海者デ、初メハ貧家ニ生マレ、僅カ小サナ運送
ノ船ヲ以ツテ營業トシテキタ。人トナリ勤勉
デ稼殖ノ才ニ長シ、遂ニ一艘ノ蒸氣船ヲ所有
スルコトニナリ、ソレヲ土壘トシテ段段ト手
ヲ擴メ、一八五五年新約トはふるトノ間ニ定
期航海ノ蒸氣船ヲ造リ、ソレカラ身代ハ益肥

エルバカリデ、遂ニ今日トナツテハ世界第一
ノ富豪家トシテ聞コエル。其財産ハ億ノ上ヲ
超エ、今日デハ米國全體ノ鐵道ヲ殘ラズ此人
ノ手ノ下ニ爲テ仕舞ヒ、富豪ノ段ニ於イテハ
肩ヲ並ベル者モナイバカリニナツタ。一八六
二年自分ノ名ヲ命ジタ船——其價ヒ八十万圓
ハカリノモノ——ヲ米國政府ニ獻納シタコト
ガアツタ時ナドハ議會カラモ大イニ謝辭ヲ贈
ツタ。

(五) ばぬだいく

有名ナふれみす肖像畫工。一五九九年出生。富
豪家ノ子デアツタ。一六六一年歿。殊ニ肖像
畫ニ長シタ。

(六) へえぬ

英國ノりばぶりく黨ノ政治家。一六二二年出

生。鋭敏ヲ智識ニ富ミ、政治家トシテハ名ヲ轟カシタ。

(七) ばにいにい

以國ノ哲學者。一五八五年出生。一六一九年歿。其哲學ノ主義ハ懷疑的テ、敵モ多クアツタガ面モ何レモ——其敵スラモ——此人ノ學問ガアツテ能辯デアルトイフコトヲ許シタ。一六一六年「自然ノ不思議ノ秘密」ト題スルモノヲ著シタガ、コレハ「大イニ社會ノ害毒ヲ爲スモノ」トイッテ攻撃シタ者モ多ク、遂ニ其ヲ捕ヘラレ邪敎家トイフ宣告ヲ受テ死刑ニ處セラレタ。

(八) ばりぬによぬ

佛國ノ數學者。一六五四年出生。一六八六年カラ巴里テ學者トシテ立ち、一六八七年「新式

機械學(Projet d'une nouvelle Mécanique)ヲ著シ、大イニ世ニ聞コエタ。一七三二年歿。

(九) べえりあす

羅馬ノ詩人。おかがすたす時代ノ人。

(一〇)

ふあるぬはあぢえぬふをぬえぬせふ

獨逸ノ學者。一七八五年出生。一八〇〇年柏林テ藥學ヲ修メ、ヤガテ哲學ニ傾キヘエる大學ツビんげぬ大學ヲ歴遊シ、一八〇九年奧太利ノ軍隊ニ入り、わぐらむノ戰ヒニ出テ負傷シタ。一八一三年露國ノ軍隊ニ入り、暫ラッハ露國ニ從ヒ、一方ニ於イテハ學者トシテ名譽ヲ轟カシタ。殊ニ長シタノハ傳記ト歴史トテ、未來ノ事實ノ人ノマダ氣ノ注カナカツタコトナドヲ著スコトヲ務メタ。其一代ノ作ノ中テ、

主ナノハ一八二四年カラ三四四年ニカケテ出版シタ「言行錄 (Biographische Denkmale)」及ヒ

一八三七年カラ四六年ニカケテ出版シタ「言行錄及ヒ雜筆 (Denkwürdigkeiten und vermischte Schriften)」ナド。一八五八年歿。

(一一) ばろお

有名ナ拉丁ノ文學者。羅馬人ノ中テハ最モ學問ニ長シタトイフ名ヲ遺シタ。前一六六六年頃ノ出生。あかでみい派ノ哲學者テしせろノ友人デアツタ。

(一二) ばさありい

伊國ノ畫工、兼建築學者。一五二二年出生。一五七四年歿。

(一三) でふばおぼぬ

佛國ノ軍人。殊ニ軍容ニ富ンタ人。一六三三

年出生。カベテ、戰具ノ發明ガ多クアツタ。一七〇七年歿。

(一四) でふばおこぬそぬ

佛國ノ機械學者。一七九九年出生。發明ノ才ニ富ミ、幼年ノ中カラ非凡ノ相ヲ現シタ。種種ノ發明ガアツタ中ニ、殊ニ人ヲ笑ハセタノハ此人ノ拵ヘタ人造ノ鷲デ、ウマク泳ギ、ヨソ啼キ、自身ノ嘴ヲ羽ヲ整頓シ、而モ小麥ヲサヘ食ツタトイフ。一七八二年歿。

(一五) ばおくらぬ

一七六三年出生ノ佛國ノ化學者。一代ニ此人ノ名ヲ不朽ニサセタノハ化學ノ中ノ元素くらみらむとくるしなヲ發明シタ事デアツタ。一八二九年歿。

(一六) べらすけすでえすいるばあ

一五九九年出生ノ班國ノ肖像畫工。其主ナ作ハ首府まづりッブニアル。

(二七) べるぼお

有名ナ佛國ノ外科醫、兼解剖學者。一七九五年出生。一八二三年巴里ノ學校ヲ卒業シ、一八四一年らちりてノ施療院ノ外科醫トナリ、其翌年られいノ跡ヲ繼イタ。著述ハ數多アツタ中テ殊ニ賞賛サレタノハ「外科解剖法」二卷デアツタ。此他ニハ一八二九年出版ノ「L'Art de l'Art des Accouchements」ナドテ、コレナドハ英國テノ反譯モアル。一八六七年八月歿。

(二八) ぶぶねおむ (Louis)

佛國ノ武人。一六二二年出生。るい第十三世ノ野戦ニ出テ、目ザマシイ働キヲシタ人。一六六九年歿。

(一九) ぶぶねおむ (Louis Joseph) 一六五四年出生ノ佛國ノ大將。公爵。以國ノ大將トナツテ班國ト戰端ヲ開イタ人。一七二二年歿。

(二〇) べねつゝいあの

以國ノ彫刻家。一五一〇年カラ四〇年頃生存シテ居タ人トイフ。傑作ハちりやるれす第五世及ヒふらぬしす第一世ノ畫像デアツタ。點刻法ヲ應用シタノハ此人ガ初メデアツタトイフ。

(二一) べねつうらわ

以國ノ神學者。一七九二年出生。非常ニ説教ガ上手テ「Italian Rosnet」トイフ言ハレタホドデアツタ。一八二八年其有名ナ著述「哲學ノ順序ニ就イテ (De Methodo Philosophandi)」ヲ出シタトコロ、劇シク駁撃ヲ受ケテ居タマ

(二四) べるぢいりあほりどろ

以國ノ著述家、兼僧。一四七〇年出生。一五〇二年ほあぶあれくさぬたる第六世ノ命ヲ受ケテ「Peter's Pence」トイフ、税金ノ取リ立テニ英國ニ行キ、一生ノ中ノ過半ハ其所ニ住マハウトノ決心ヲシ、成功シタ。主ナ著ハ「發明史 (De Revm Inventoribus)」及ヒ英國ノ宗教ニ就イテノ著述「De Prodigis」ナド。一五五〇年頃歿。

(二五) べるにわ

有名ナ佛國ノ辯者、兼狀師。一七五九年、五月三十一日出生。これちゆ大學テ法律ヲ學ビ、一七八一年廿二歳ノ時ぼるどおテ代言ヲシタ。性質ハ寧ロ怠惰ヲ物事ニ考ヘ込ム方デアツタ。一七九一年九月立法會ノ議員ニ選ハレ、

ラズ、一八四九年羅馬ヲ去リ、一八五一年巴里ニ住ミ、其處テ種種ノ著述ヲシタ中テ、殊ニ傑作トノ評ヲ受ケタノハ一八五二年出版ノ「哲學及ヒ羅馬教原理 (La Raison philosophique et la Raison catholique)」デアツタ。一八六一年八月歿。

(二二) びすなす

愛情ト美トヲ掌ツタ神。トゆびたるノ娘デアラットイン。

(二三) へるで

以國ノ著述家。一八一四年出生。其始メテノ脚本「Nabucodonosor」ヲ非常ニヨク成功シ、「Ernani」及ヒ「さくへす」ナドニ次イタ傑作トシテ賞賛サレタ。其他ニモ著述ハ多クアツタカイツレモ喝采ヲ博シタ。

其翌年時ノ王ノ行狀ニ就イテ批難ヲ試ミ、ソ
シ演説ガ中中鋭シアツタトイフ處カラ大イニ
名ヲ布イタ。一七九三年死刑ニ處セラレテ歿。

(二一六) へるねえ (Antoine Charles Horce)

佛國ノ畫工。一七五八年出生。好シテ戰爭畫、
及動物ヲ描イタ。殊ニ馬ヲ描クコトニ長シタ
人。其傑作ノ中有名ナモノハ「わぐらむ」ノ戰
争 (The Battle of Wagram) 及「The Entrance
of Napoleon into Milan」ナド。一八三六年歿。

(二一七) へるねえ (Claude Joseph)

有名ナ佛國ノ畫工。一七一四年出生。一七八
九年歿。羅馬ヲ修業シ、殆ド二十年ヲ經テ佛
國ノ王ルイ第十五世ニ迎ヘラレ、佛國ノ海岸
ノ圖ヲ描クコトヲ命ゼラレ、十五枚ノ畫ヲ描
イタ。ソレヲ見テモ此畫工ノ秀レタ伎倆ハ分

カルトイフ。其他ノ傑作ハ「日没ノ海岸 (Sea-
port at Sunset)」。後チ一七五三年技術大學ノ
校員ニ選ハレタ。

(二一八) へるねえ (Horace)

第二六ノ子。一七八九年出生ノ佛國ノ畫工。畫
ヲ父ニ學ビ、一八〇九年其二十歳ノ時一枚ノ
繪ヲ展覽會ニ出シテ世ニ賞メラレ、續イテ「う
おたるる」おノ兵士」「とろろ」ノ戰爭」ナドノ畫
ヲ描キ、當代第一流ノ畫工トシテ仰ガレタ。一
八一四年おほれおぬカラ勇將ノ騎馬武者ノ畫
ヲ所望サレ、一八二五年又ちおるれノ第十世
カラモ同シヤウナ畫ヲ望マレタ。其後ノ傑作
モ多カッタガ、殊ニ有名ナモノハ「らふおえるト
みけえる」おわぬトえろトノ會合」、其他ナド。
一八六二年歿。

(二一九) ばるきぬ

一六八四年出生ノ英國ノ將監。一七二七年國
會議員ニ選舉サレ、一七三九年命ヲ受ケ、僅カ
六艘ノ船ヲ西印度ヲ侵略シ、ソレカラ歸ツテ
カラモ二三度議員トナッタ。一七五七年歿。

(三〇) ばるきぬ

米國ノ著述家。一七八六年出生。一八七〇年
歿。一八一九年無名ヲ有名ナ諷諭ノ作「The
State Trunivale」ヲ著シ、忽チ名ヲナシタ。一
八二七年他ノ人ト合併シテ「The Talisman」ヲ
著シ、コレ又、世ノ中ノ喝采ヲ博シタ。

(三一) へりす

羅馬ノ猛惡ナ知事。前一二二年頃ノ人。

(三二) ばるてゆう

英國ノ彫刻家。一六八四年出生。一七五六年

歿。スベテ、木版ノ彫刻ニ巧ミデ、有名ナ小説
ノ差シ繪ナドヲ彫刻シタ。

(三三) べせいりあす

第十六世紀ノ有名ナ解剖學者。一五一四年出
生。父ハ獨逸政府ノ典藥寮デアッタ。一五三
五年此人モ外科醫者トナツテ王宮ニ仕ヘ、侍
醫トナリ、一五四三年其有名ナ大著述「人體構
造論」ヲ著シ、大イニ醫學社會ヲ震動サセ
タ。從來行ハレタキル僻説ヲ駁撃シ、随分ト新
タニ見出シタ事實モ多ク、大イニ學者中ニ歡
迎サレタ。其全集ハ傳ト共ニ一七二五年二卷
ニナツテ出版サレタ。一五六四年歿。

(三四) べすぶつ

伊國ノ航海者。一四五一年叔父ニヨク教育ヲ
受ケ、星學ナドニモ通マ、幼年ノ時カラ商船ノ

事ニ從事シ、段段其經驗ヲ歴テ遂ニ非凡ノ航海者トナツタ。一四九七年班國ノ王ノ命ヲ受ケ處處ヲ航海シ、新タニ島、陸ナドヲモ餘程發見シタトイフ。一五二二年歿。

(三三三) ビス

羅馬ノ神。希臘ノヘスといハト大抵同シモノ。純潔、清潔、火ナドノ守護神。

(三三六) ビス

以國ノ哲學者。一六六八年出生。博言學者トシテモ聞コエ、一方ニ於イテハ法律家トシテモ名高カッタ。一七二〇年「法律ノ原理及ビ其目的」(De universi Juris uno Principio et Fine)ヲ著シタ。主ナ著述ハ「Principi di una Scienza nuovo intorno alla commune Naturadella Nazione」ト題シ一國民ノ普通ノ性質ニ就イテ

ノ理論ヲ説キ、世上ノ出來事ハスベテ一個ノ確然トシタ道理カ暗ニ其中ニアツテ其範圍ノ外ニハ出ズ、必ズ起コルモノトイフコトヲ證明シタ。其他ニモ著述ハアツタ。一七四三年歿。或ハ一七四四年ト。

(三七七) ビス

一七四八年出生ノ佛國ノ解剖學者。初メ巴黎ヲ藥學ニ修メ、一七四四年學士會員トナリ、一七七六年藥學協會ノ設立ニ與カツテカアリ、一七八九年女王ノ第一ノ侍醫トナリ、一七九四年歿シタ。貴重ナ著述モアツタ。

(三八八) ビス

有名ナ佛國ノ陸軍武官。一七六四年出生。一八四一年歿。一八〇六年班國人ト戰ツタ時、大イニ手柄ヲ現シタ。

(三三九) ビス

いな

近代ノ英國ノ女王。後ナニビクトリア女王トシテ世ニ傳ハル。一八二五年五月けぬしんぐぞぬ王宮ヲノ出生。ちよるぢゆ第三世ノ子、けぬのノ侯爵えづゐるづノ子デアツタ。ヨク教育ヲ受ケ、賢名トノ評判ガ夙ニ妙齡ノ中カラ世ト高シ、今日ニ於イテモ英國ヲ支配シテ世界ニ非凡ナ名ヲ轟カシテキル。一八六八年カラぐらぶすとぬガ其大宰相トナツタ。

(四〇〇) ビス

拉丁ノ詩人。一四八五年以國デノ出生。主ナ著述ハ一五三五年出版ノ「Christiase」。一五六六年歿。

(四二一) ビス

びええたの

佛國ノ數學者。一五四〇年出生。一六〇三年歿。最モヨク代數學ヲ研究シ全ク符號ヲ以ツテ代數ヲ行フコトハ殊ニ此人ニ由ツテ成就サレタ。同ク學術ニ於イテモ新奇ニ發見シタコトモアツタ。其全集ハ一六四六年出版サレタ。

(四二二) ビス

有名ナ以國ノ建築學者。一五〇七年出生。一五七三年歿。羅馬デ學ビ、續イテ諸國ヲ歴遊シ、建築學ノ智識ヲ弘メ、遂ニ以國ニ歸ツテ一流ノ名ヲ轟カシタ。其著述ハ建築學ニ關シタノガアル。即チ一五六三年ノ出版デ、其外題ハ「Regole delle cinque Ordini d'Architettura」。

(四三三) ビス

佛國ノ文學者。一七九九年出生。一八六三年

歿。一八二八年「古今名詩集 (Poèmes antiques et modernes)」ヲ著シ、世ニ立ツタ。其他ニハ一八二六年出版ノ「Oing-mans」ト題スル歴史小説ナドハ殊ニ評判ガ好ク、各國ノ言語ニ反譯サレタ。其他ニモ二三ノ著述ハアツタ。

(四四) ビックラマワデ(St. Sava)

有名ナ印度ノ王。前五六年頃ノ人。實ニ此王ノ時代ノ印度ハ非常ニ隆盛ヲ極ハメタ所デ、其王宮ハ今オラセエぬ(Oraon)トイフ所、即チ其頃ハラットヤ(Sri S. Ujjain)デ、其領分ハ今日イフ北方ハぬづすたぬ全體ニ及ソデキタ。殊ニ學術ヲ獎勵シ、學者ヲ優待シ、其時代九人ノ大學者ナドモ現レタトイフ。其中ニハカありだあさ、即チ印度ノ沙翁トイハレル詩人モアツタトイフ。

(四五) ビルマぬ

佛國ノ批評家、辯者、兼政治家。一七九〇年六月九日出生。一八七〇年歿。一代ノ名流デ著述モ多ク、四方八面ニ名ヲ轟カシタ。其主ナ著ハ一八二八年カラ七八年ニカケテ出版シタ「佛國文學講義 (Cours de Littérature Française)」デアツタ。

(四六) でふ・びええ

佛國ノ哲學者、兼雜學者。一七六四年出生。革命ノ亂ガ起コツタ時、「自由ノ理」ト題シテ著述ヲ試ミ、トヤトビぬ黨ヲ攻撃シ、其タメ難ヲ避ケテ獨逸ニ逃ケタ。ヤガテ亂モ鎮マツテ後チ、一八一一年頃カラ世ノ中ニ又現レ種種ノ著述ナドヲシテ大イニ世ノ中ニ立ツタ。一八一五年歿。主ナ著ハ「かぬの」ノ哲學ト題スル

モノ。

(四七) だ・ひぬら

一四五二年出生ノ以國ノ畫工、彫刻家、兼建築學者。幼年ノ時カラ美術ノ鑑識ニ富ミ、段段ト研究ヲ遂ゲ、一代ニ重イ人トナツタ。其作ハ今日ニモ遺ル。一五一九年歿。「美術トシテノ功績ハ文學者トシテノガリれお、けぶれるナドニ劣ラヌ」トハはらひノ評デアツタ。

(四八) ひねえ

瑞國ノ著述家、兼神學者。一七九七年出生。一八一七年ベえる大學デ佛文ト佛語トヲ教ヘ、最モ能辯デ講義ニ巧ミデアルトイフ評判ヲ受ケ、一八二六年「靈拜ノ自由ニ就イテノ論」ヲ著シ、其他死ヌマデニ種種ノ著述モ多ク、其中デ主ナノハ一八四九年出版ノ「第十九世紀ノ

佛國ノ文學」ト題スルモノ。

(四九) ふひるほ

一八二二年出生ノ獨逸ノ精神病學者。殊ニ精神病ノ理論ニ通ジ、一代ニ屈指ノ人ト仰ガレル。其名チナシタ傑作ハ「精神病學ニ關シタ著述」即チ一八五八年ニ初版ヲ出シ、翌年直グニ再版ヲ出シタモノ。

(五〇) ばるおる

最モ有名ナ拉丁ノ詩人。前七〇年、十月十五日出生。くれもおあ、みらぬナドヲ修業ヲ遂ゲ、大イニ學問ノ礎ヲ養ツタ。ソレカラ段段社會ニ現レテ社會公共ノ事業ニ身ニ委テタガ、餘リコレトイフ聲シイコトモ無カツタ。此人ノ名チ不朽ニサセタノハ其不朽ノ大著述ノ詩デ、コレハ前二〇年頃カラ筆ヲ執リ出シタモ

ノトイフ。長シ其趣向ヲ溜メテサテ、ヤガテ筆ヲ執ツテカラシテ遂ニ不朽ノ作ヲ遺シタ。此人ノ作「Euhed」ハ實ニ非凡ノ大作デ、後世シ人ハコレヲはおまゐるノ「Iyad」ト比較スル。人ニヨツテハはおまゐるノカラ趣向ヲ盗ンテ作ツタダケノモノデ、別段ニ他ニ特ニコトハ無イトイフ者ガアルガ、然シ必ズシモ然ウハカリデモナカツタ。うをるづうをるす、其他後世ノ詩人モ一様ニ此人ノ大作ヲ讚美スル。此人ノ作ナハ種種ニ英國ノ詩人ナドモ反譯シタガ其中テ殊ニづらいでぬノガ最モ良イ。

(五二) ひすこぬて S S

るびるでいノ有名ナ豪族。第十三世紀頃、みらぬチ支配シタノハ殊ニ此家ノ人カラ出タノデアッタ。

(五二) ひすこぬて S S (Ennio Quirino)

一七五二年出生ノ以國ノ大學者。ヨク父カラ教育ヲ受ケ、羅馬ノ古學ニ熟シ、段段ト修業ヲ積ミ、一八〇七年「Museo Pio-Clementino」ヲ著シ、段段ト社會ニモ聞コエ、古學ナドデハ殊ニ屈指ノ人トナツタ。一八一八年歿。其他ニモ主ナ著述ハ希臘ノ故事ヲ調べタ物ナドガアル。

(五三) ひしゆぬ

印度ノ有名ナ神ノ名。モト梵語、びしゆ(Vishu)カラノ傳來デ、此「びしゆ」ノ意味ハ「行き渡る」ノ入り込ム」ナドトイフマケノ義デアル。印度ノ神ノ中デハ最モ俊レタ者デ「神ノ中ノ神」。

「第一ノ神」ナドトイフ異名ヲ持ツテキルツラ井ノモノデ、那羅衍ノ形ヲ以ツテふらあまわがびしゆぬカラ發生シタモノナドトイフ説

デアッタ。此びしゆぬノ名ハ他ニ種種アリ、種種ニ變形ナシテ神トナツテ現レル。即チ其第一ハマシヤ(Maisy)即チ魚、第二ハくらるま(Kurina)即チ龜、第三ハらあは(Vinaha)即チ猪、第四ハならす(Sanku)ハ(Narasingha)即チ人體ノ獅子、第五ハあまな(Vamana)即チ侏儒、第六ハばらす・らあま(Parasu-Rama)第七ハらあま・ちあぬひら(Rama-Chandra)第八ハくりしゆな(Krishna)第九ハぶぶは(Budhe)第十ハかるく(S. Kalli)即チ馬。此十體ニナツテ現レル。

(五四) ひんす

班國ノ學者。一四九二年出生。一五四〇年歿。へぬり第八世ニ呼バレテ英國ニ至リ、女王めりイノ教官トナツタ。主ナ著「耶蘇教信仰

理論」及ビ「精神ト生命トノ論」ナド。

(五五) ひひわに S

有名ナ以國ノ數學者、彫刻家、兼機械學者。一六二二年、四月出生。がりれおの弟子デがりれおガ歿シタ後チ、更ニぞるりせりいニ就イテ學ンタ。あほろおにわすノ圓錐法ノ書物ヲ回復シテ出版スルコトニ盡カシ、大イニ名ヲ擧ゲタ。一六五九年遂ニ「De Maximis et Minimis Geometrica Divinatio」ト題シ、幾何學上ノ有名ナ大著述ヲ著シタ。一六七四年更ニゆふくりッブノ作ヲ研究シタノデ、コレチ書物ニシテ出版シテ又其方ノ名譽モ轟カシタ。一七〇三年歿。

(五六) はふつ

獨逸ノ博物學者、兼生理學者。一八一七年出

生。初メ解剖學ト藥學トヲ修メ、あがしいニ就キ、ヤガテ一八五二年カラちえねばテ地質學ノ教授トナツタ。主テ著述ハ一八四五年出版ノ「生理學ノ雜筆」、一八五二年出版ノ「動物ノ生活ノ圖」、一八六〇年出版ノ地質學初步、及ヒ一八六三年出版ノ「世界ノ歷史上カラ觀察シタ人間ノ地位及ヒ創造論」ナドデアツタ。あがしいノ「淡水魚類博物學」ノ中ニモ此人ガ筆ヲ執ツテ助ケタノガ多クアツタ。

(五七) ふわわつる。

佛國ノ詩人。一五九八年出生。滑稽ノ才ニ富ム。酒造家ノ子デ、ヨシ教育ヲ受ケ、段段ト諸國ヲ歴遊ノ後チ、遂ニ著述家トナツタ。ふわわろハナドハ殊ニ此人ノ作チ愛シタ。佛國ノ文學者ノ中デハ屈指ノ方ニ數ヘラレル。

(五八) でふぼるねえ

佛國ノ哲學者、著述家、兼旅行家。一七五七年、二月出生。伯爵ノ貴族ヲ埃國トしりあトナ旅行シ、亞刺比亞語ヲ學ビ、一七八七年其旅行日記ヲ出版シ大イニ喝采ヲ博シタ。一八二〇年歿。其他ノ主テ著ハ「亞米利加ノ時候及ヒ地質論」、及ヒ一七九三年出版ノ「自然法即チ道徳原理」ト題スルモノ。

(五九) ぼるた

伊國ノ電氣學者、兼物理學者。一七四五年出生。一七六九年「電火ノ引力」(De Vi attractiva Ignis electrici)ヲ著シ、殊ニ電氣ノ研究ニ從事シ、段段其發明ガ多ク、遂ニ所謂ぼるたといふ。ばいるチ發明シタ。其發明チハ一七九二年ニ至ツテ世ノ中ニ現シ、一七九四年倫敦ノR.S.

カラ名譽ノ賞牌ヲ受ケ取ツタ。ソレカラ電氣學者トシテ全ク世ノ中ニ知ラレタ。其全集ハ一八一六年「Opere di Volta」ト題シテ出版シタ。一八二七年四月歿。

(六〇) でふぼるてえ

佛國ノ第一流ノ文學者。一六九四年、二月廿二日出生。母ハ賢明ノ評判ガアツタガ此ぼるてえ。ガ二十歳ニナラヌ前ニ早ク歿シタ。ぼるてえハ幼年ノ中カラ他日ノ大文學者トナル相ヲ現シ、文學ノコトニハ最モ深ク心ヲ傾ケ、早十一歳ノ頃ニハ詩ヲ作ツタ。其詩ノ中デモ廢人ニナツタ兵卒ノタメニ哀レテ訴ヘル詩ナドハ人ヲ驚カシタラサデ、必ズ他日ハエライ者ニナルメラウトイフ評判ガアツタ。ソレカラ宗教ナドニモ心ヲ注ギ、傍ラ又、法律ナド

ニモ轉ジ、ソレラノコトヲ專門ニシヤウト思ツタガ格別旨イ成績ハ現レナカッタ。ソレ故流離艱難頗ル逆境ノ世チモ渡ツタ。然シナガラ其間ニ詩才ヲ養フコトハ最モ厚ク「Henriade」ノ大著述ノ史詩ノ腹案ニモ惱チ傾ケタ。此頃ニ時ノ王ルイ第十四世ガ歿シタ。コレニ對シテ種種ノ著述ガ世ノ中カラ現レタガぼるてえ。モ此仲間ニ指キ染メタ。社會カラ離レテ全ク詩ノ推敲ニ心ヲ委チ前記ノ「Henriade」ノ過半ヲ作り、ソレカラ又、「Eulipe」ノ悲劇ヲモ作ツタ。コレカラガ此人ノ世ニ成リ出デタ時代、全ク詩人トシテノ世ノ中ニ立チ、遂ニ一代ニ名流トイフ名ヲ轟カスヤウニナツタ。性質ハ頗ル外觀チ好ミ、自ラ尊大ニ構ヘル風習ガアツタ。ソレカラ人ニモ憎マレタ事モアツ

タガ、兎毛角モ不世出ノ人物デアツタニハ相違ナカッタ。敵モ多シ、随分ト存世中ハ——四方八方カタ——寧ロ攻撃サレタ方ガ多クアツタモノノ、又此人ニ心ヲ傾ケル者ハ殊ニ志シガ深クアツタ。ぼるてゑるノ名譽ハ獨リ文字ヲ解スル學者社會ニ留マツテキルノミナラズ、卑シイ匹夫匹婦ノ間ニモ其名ガ轟イテキタ。現ニ斯クイフ話シガアツタ。——或ル渡シ場デぼるてゑるガ渡ヲウツシタ時、其所へ落チ合ツタノハ佛國ノ皇帝デアツタ。所デ船頭ハ此ツマラヌ形ヲシテキル人ガ不出世ノ大詩人デアルトイフ事ヲ知ツテ、帝王ヨリ前ニ此ぼるてゑるヲ渡シタ。或ル人ハ不審ニ思ツテ何故デアルト尋チタ時、「帝王ハ幾人デモ出來ル。ぼるてゑるノヤウナ人物ハ佛國ニ一人シ

カナイ。ソレ故、代用モ無イツラキノ人ユエ尊シデ置クノマ」ト答ヘタ。實ニ此ぼるてゑるハ佛國文學ノ先導者デ、ソレマデ衰ヘテキタ佛國ノ文學ヲ盛ンニシタノハ實ニ此人ノ專有ノ手柄デアツタ。早ク英國ノ學者ノ趣味ニ感マ、にうとぬ派ノ哲學ニ通シ、其智識ヲ佛國全體へ擴メヤウトイフコトニ熱心デアツタ。一七二九年英國カラ巴里ニ歸ツタガ、此時ハ英國デ凡ソ三年間モ滞在シテ種種ノ研究ニ從事シテカラノ事デアツタ。其著「Brutus」ノ悲劇ハ英國ニキタ時、筆ヲ取ツタモノトイフガ、其著述ノ中ニアリテ見エテキル沙翁ノ影響ノ跡ハ實ニ確デ、全クソレカラカラぼるてゑるモ英國ノ趣味ヲ遂ニ望ミ、佛國ニ傳ヘルコトヲナツタ。沙翁

ノ感化ハぼるてゑるノ文ニ現レテキタノハ特リ此作ノミナラズ、一八三〇年出版ノ「Zaire」ナドニハ最モ著シクアツタ。後チニナツテぼるてゑるモ沙翁ナドノ英國ノ大詩人ヲ輕蔑シタ氣味モアツタモノノ、然シナガラ其感化ヲ受ケタトイフノハ間違ヒノ無イコトデアツタ。丁度一八三〇年ノ事デアツタガ、其作「しやゐる第十二世ノ歴史」トイフモノヲ作ツタ。

ぼるてゑるノ「Brutus」ヲ或ル批評家ハぼるてゑるノ傑作デアイトイフコトヲ云ツタガ、唯ソノ次ギニ作ツタ「Zaire」ハ實ニ稀ニ見ル所ノ大作デアツタ。一七三二年、續イテ其有名ナ「批評ノ論 (Lectres Philosophiques)」ガ現レ、其自由自在ニ筆ヲ舞ハシテ佛國ノ社會ニ論鋒ヲ

向ケタ所カラ計ラズモ宗教家ノ怒リヲ惹キ起コシテ、公然ト此書物ヲ燒イテ仕舞ヘトイフ聲ガ盛ンデ、出版人ハ禁錮ニナリ、其害ハ著者ニマデ及ボシタ所デ、ぼるてゑるモ止ムヲ得ズしれいトイフ所マデ通ケタ。此間「にうとぬ哲學原理 (Elemens de la Philosophie de Newton)」ノ原稿ヲ草シ、ヤガテ一七三八年あむすてるだむ出版シタガ、コレ又大變ナ傑作デアツタ。ソレカラ「Zaire」ノ悲劇ヲ作り、一七三六年ニナツテ非常ナ大喝采ヲ以ツテ巴里デ演劇ニ仕組シタ、凡ソ此頃ノ事デアツタ。普國ノ皇族ふりいどりツムトイフ人ガぼるてゑるニ手紙ヲ贈リ、而モ此時歐洲ニ鳴リ渡ツテキルぼるてゑるノ名譽ヲ讚美シ、交際ヲ求メタ。ソレカラ此詩人ト皇族トノ間ニ温カナ交際ガ

成り立テ、始終手紙ヲ往復シテ、互ヒニ御世辭ナド言ヒ合ヒテ面白ク交際シタ。スルト一七四二年ニナツテ此ふりいどりッム王ガ位ニ即キ、帝王トナツタ所デ、忽チ使ヒテシテ伯林ニ此ぼるてゑるヲ招待シタ。然シナガラ何トナク、ぼるてゑるハ招待ニ應マテ行クノハ好マシクナク、暫ラシハ愚圖愚圖シテキタガ、ヤガテ非常ニ使ヒテ受ケタ所カラ遂ニ其命ニ應ワタ。

ぼるてゑるノ一代ニ就イテハ随分ト云フベキ所ガ多イガ、此所デハ盡クサレヌ。唯唯一言ニシテ之ヲ概轄スレバ、特リ佛國ノミナラズ歐洲ニ現レタ文學者トイフ文學者ノ中ノ第一位ニ位スベキ人デ、現在其時代デモ文學ノ王トイフ名義ヲ受ケ、即チぼるてゑる王 (Le Roi)

Voltaire) トイフ名サヘ付ケラレタ。如何ニモ其文章ト着目ト共ニ鋭ク、一意唯佛國人ヲ進歩サセヤウトイフ念、英國ノ趣味ヲ佛國ニ傳ヘヤウトイフ念、是等カラ佛國ニ榮ムラセタ感化ハ盛ンナモノデアツタ。一方ニ於イテハ歴史家トシテ歴史ヲモ書イタ。其歴史モ多少ノ缺點ハアルニシタ所ガ哲學上ノ趣味ニ深ク、ツマラヌ物トハドウシテモ見ラレズ——充分ノ歴史家トハイヘヌニシタ所ガ——一種ノ趣味ヲ加ヘタ哲學的ノ批評トハ見做セル。實ニぼるてゑるガ出タノハ佛國ノタメニハ誠ニ進歩ノ初メデ、此人ガ新思想ヲ輸入シタ所カラ佛國ノ進歩モ一層ニ現レタ。然シナガラ今日ニ至ツテモ此ぼるてゑるニ對シテノ批評ハ中中錯雜シテキル。多數ノ主ナ批評家ハぼる

てゑるガ不思議ナ天才、實ニ稀レナ人物デアルト云フ。ガ、所謂詩人トイフ詩人デ確カデアアルガ抑モ亦其詩人中ノ隨一ノ詩人みるとぬ、沙翁ノヤウナ大詩人デアアルカトイフノハ是等ノ批評家ハ少シ否ム。但シ其著述家トシテ感化シ其果テハ波チ歐洲全體ニマデ及ボシタノハ事實デアツタ。

(六一) ぼるてゑる・でぬ・ぼるてゑる

蘭國ノ詩人。一五八七年出生。新教徒ノ子デ、初メ害迫ニ遭ツテあぬつらゑるぶニ逃ケタ。一六七九年歿。主ナ著述ハ一六五四年出版ノ「Lucifer」ト題スル悲劇。

(六二) ぼるにッへぬ

露國ノ建築學者。一七六〇年出生。一八一四年歿。モすこおデ學ヲ修メ、巴里ニ遊ビ、歸ッ

テカラ建築學者トシテ世ニ聞コユタ。

(六三) ぶるしゆもるてゑる

匈國ノ學者、兼愛國者。一八〇〇年出生。一八二二年「ころもぬ王」ト題スル脚本ヲ著シ、一八二二年「すいぎすむぬづ王」トイフ脚本ヲ著シ、一八二五年「Kont」トイフ悲劇ナドヲモ著シタ。一八五六年歿。歿シタ時、沙翁ノ作ヲ反譯シカケテ居タトイフ。

(六四) ふをッす

獨逸ノ詩人、兼批評家。一七五一年、二月廿二日出生。兩親ハ貧窮デアツタ。ガ、此子ハヨク教育ヲ受ケ、一七八一年はあまるノ「Odyssey」ヲ反譯シ、後チ一七八九年はるぢるノ「Georgics」ヲ反譯シ、續イテ一七九二年はあまるノ「Iliad」ヲ譯シテ大喝采ヲ博シタ。一八一六年歿。

(六五) ぼすいす

一五七七年出生ノ獨逸ノ學者。主ナ著述ハ一六二三年出版ノ「修辭的技術(Ars Rhetorica)」及ヒ一六二四年出版ノ「希臘ノ歴史家(De Historicis Graecis Libris)」ナリ。
(六六) ばるかぬ
羅馬ノ神。火ヲ掌ツタモノ、又鍛冶ナドヲモ守護シタトイフ。

W

(一) うあづ

米國ノ志士。奴隸制度全廢論ヲ取ツテ有名ナ人。一八〇〇年、十月廿七日出生。
(二) うあきふひるづ
英國ノ學者、兼神學者。一七五〇年出生。一八

〇一年歿。神學ニ關シタ著述ガ數多アツタ、其中「牢屋ノ夜」ト題スルモノハ有名ナ論文デアツタ。
(三) ばるけふなる
佛國ノ文學者。一七七一年出生。一八五二年歿。
(四) うをかる (James)
一七九四年出生ノ米國ノ有名ナゆにてりあぬノ宜教師。
(五) うをかる (John)
英國ノ言語學者。一七三二年出生。一八〇七年歿。種種ノ辭書ヲ編纂シテ有名デアツタ。主ナ著述ハ一七八一年出版ノ「韻語辭書」、一七八五年出版ノ「美辭文典」、及ヒ一七九一年出版ノ「英國辭書」。

(六) うをかる (Robert J)

米國ノ理財學者。一八〇一年出生。一八一二年へぬしるばにわ大學ヲ卒業シタ。初メ法律ヲ修メ、ソレカラ學者トシテ世ニ立ツタ。一八六九年歿。

(七) うをかる (Searse Cook)

米國ノ星學者。一八〇五年出生。一八二四年はるばるづ大學ノ卒業。一八五五年歿。主ナ著述ハ「Transactions of the American Philosophical Society」。

(八) うをりす

有名ナ蘇國ノ愛國者。一二七〇年出生。だぬでいしノ學校ニ居ル時、其土地ノ知事ノ子ヲ殺シ、山ニ遁ゲタ。ソレカラ仲間ヲ集メ、自由ノ旗ヲ翻スコトニ盡カシ、英國ニ謀叛スルコ

トニナリ、段段ト頭角ヲ現シ、遂ニ一代ニ聞コエテ屈指ノ人ニナツタ。其事業ハ如何ニモ立派デ、義俠ノ念ニ富ミ、所謂俠客ノ肌合ヒガアツタ。

(九) うをるれぬすたいぬ

一五八三年九月出生ノ獨逸ノ有名ナ大將。伯爵。近代ノ武人ノ中デハ屈指ナ人デ、一六一九年、三十年戦争ガ始マツタ。其時王黨ノ軍隊ノ大將トナツテ大イニ勇名ヲ轟カシタ。一六三四年二月人ニ暗殺サレタ。此人ノ傳ヲ士臺トシテしるれるノ戯曲ガ出來タ。

(一〇) うをるらる

一六〇五年出生ノ英國ノ詩人。けむふりぢゆデ學ビ、ソレカラ世ノ中ニ現レタ。一六八七年歿。主ナ著述ハ「Pennyrie on Cromwell」ナリ。

トよぬそぬノ評ニ據レバ「此人ハ愁歎ニハ長
シテ居ナカツタ。唯愉快ナコトニハ名人デア
ツタ」ト。

(一一) うをりす

英國ノ數學者。一六一六年出生。一七〇三年
歿。主ナ著述ハ「一六五五年出版ノ「無窮數學
ノ理 (Arithmetic of Infinities)」。其他代數及ヒ
幾何學ニモ随分ト研究ヲ遂メテ有名デアリ。
神學ノ著述テハ「一六八〇年頃ノ「Harmonies」ガ
有名デアツタ。

(一二) うをるぼある

一七一七年十月出生ノ英國ノ貴族。名譽ヲ
カスコトニ熱心デ、文學或ヒハ遊具其他種種
ノコトニ金ヲ遣ヒ、シキリト其事ニ盡力シタ。
一七四七年或ル所ノ地所ヲ買ヒ、其所ニ大金

ヲ出シテ印刷畫、書物ナドヲ藏メ、學術ヲ獎勵

スルコトニ熱心デアツタ。一七五一年其王家
及ヒ貴族ノ所藏品ノ目錄ナドヲ立派ナ書物ニ
シテ出版シタ。一七六四年「The Castle of Ot-

tillo」ヲ著シ、大イニ成功シタ。其外ニ著シタ

文學上ノ著述ハ二三アツタ。何レモカナリノ

喝采ヲ博シタ。主ナモノハ「一七六八年出版ノ

「The Mysterious Mother」トイフ悲劇ナド。一

七九七年歿。

(一三) うをるぼある (Sir Robert)

英國ノ貴族。あるふをるづノ Earl 爵。一六

七六年、八月廿六日出生。一七四五年歿。

(一四) うをるしゆ

米國ノ著述家。一七八四年出生。一八五八年

歿。

(一五) わるたる (John)

英國ノ新聞雜誌記者。一七三七年出生。倫敦
たいむす新聞ノ基礎ヲ置イタ人デ、新聞記者
トシテハ名ガ轟ク。一八四七年歿。

(一六) わるたる (Thomas U.)

一八〇四年出生ノ米國ノ建築學者。

(一七) わるたぬ

英國ノ文學者。一五九三年出生。一六八三年
歿。主ナ著述ハ「一六五三年出版ノ「The Com-
plete Angler」。

(一八) わるばるたぬ

英國ノ文學者。一六九八年出生。一七七九年
歿。初メ法律ヲ修メ、ソレカラ一轉シテ神學ヲ
好ミ、一七二三年頃カラ二三ノ著述ヲシテ段
段ト世ノ中ニ知ラレ、一七二七年ニ至ツテ歴

史上ノ論文ヲ著シ、全ク其時代ノ大家トナッ
タ。主ナ著述ハ宗教ニ關係シテキルモノノミ
デ、數多アツタ。

(一九) わあれぬ

英國ノ小説家。一八〇七年出生。傍ラ法律學
者トシテモ聞コエタ。主ナ著述ハ「一八四一年
出版ノ「Ten Thousand a Year」トイフ小説。

(二〇) わるたぬ (Joseph)

英國ノ批評家。一七二二年出生。一八〇〇年
歿。

(二一) わるたぬ (Thomas)

英國ノ批評家。一七二八年出生。前ノわるた
ぬノ弟。一七九〇年歿。主ナ批評ハ「一七五四
年出版ノ「すべぬさるノ神女傳批評」。

(二二) うをりつく

英國ノ貴族。三三爵。一四二〇年出生。

(二三) うをしんぐたぬ

日本デわしんどん、即チ華盛頓ト書ク。米國建國ノ時ノ非常ナ人物。一七三二年、二月廿二日出生。父ハおながすていぬ(う)をしんぐたぬ、母ハめりいばある。此(う)をしんぐたぬノ後妻デアツタ。おながすていぬハ百姓デ、傍ラ園藝ノコトニ通シ、性質寛大デ、而モ子弟ノ教育ニハ随分ト心ヲ注イテ、遂ニ此不世出ノ人物ヲ造リ出スヤウニナツタ。現ニ既ニ人口ニ喰食シテキル物語リ——此華盛頓ガ子供ノ時、或ル日過ツテ庭ニアル木ヲ伐リ倒シタ。其木トイフノハ親ガ丹精シテ育てテキル木デコレハ悪ルイ事ヲシタト華盛頓モ心ニ感シタ。サテ普通ノ少年ナラハ其事ヲ隠シテ充分ニ強情ナ

ドチハ張り通シモシヤウニ、其所ハ家庭ノヨク行キ届イテキル所カラ此事ヲ隠サズ、直チニ父ノ前ヘ行ツテ其譯ヲ述ベ、如何ニモ悪ルイ事ヲシマシタ、然シナガラ只今ニ至ツテ悔悟ノ念ガ浮イテ心カラ底カラ悪ルカツタト感シマシタ故、ドウツ御赦シ下ダサレト立派ニ言ヒ開キチシタ。父モ大イニ悦ンダ。怒イ隠シ立テナシタリナドシテ曲ガツテキル者ト違ヒ、ヨク斯ウ打チ明ケテ言ツタ。ソレデコソ勇氣ガアル。男子ハ其クラキノ氣象ガナクテハナラヌト非常ニ悦ンダ。實ニ此氣性ハ他日ノ華盛頓タル基デアツタ。少年ノ中カラ武藝ヲ好ミ、凡ソ力業トイハ何ソニデモ通シ殊ニ、騎馬ノ術ニハ敵ガナイクシテデアツタ。其道徳上ノ念ハ常ニ母ニ養ハレ、段段ト育てテハ育ツホド撓

メズ曲ガラズ、善人トナル様子ヲ現シタ。一七四七年學校ヲ去ツテカラ其兄ノおれぬ(う)ト共ニばるのぬ山ニ住マヒ、ツマラス所業ヲシテキタ。其中ニ此華盛頓ガふへいやる(う)は(う)くすトイフ貴族ノ愛顧ヲ得、此人ニ引キ立テラレ、種種ノ職業ニ従事シタ。此人ノ土地ヲ測量ス事ヲ命ゼラレ、熱心ニ其事ヲ勤メタ。十九歳ノ時、下士官トナリ軍人トイフコトニハナツタガ、サノミ是トイフ成功モナカッタ。其中ニ圖ラズモ非常ナ出來事——即チ英國カラ米國ガ散散ナ目ニ逢ツタ。其鬱憤ガ遂ニ破裂シテ戰爭トイフ事ニナツタ。其間ニ込ミ入ツタ事情ガ種種アツタモノノ、兎モ角モ一言デイヘハ大破裂トナリ終ツタノデ、其時ハ華盛頓ガ社

タメニ打チ死ニスル氣ニナリ、英國ニ對シテ戰端ヲ開イタ所カラ、露ニ寐、薪ニ伏シ、其間ノ辛苦ヲ物ノ數トモセズ一心ニ力ヲ絞ツタ。素ヨリ人ノ上トナル相ヲ現シテキタ故、段段ト人カラ尊ハレ、崇メラレ、遂ニ其時代第一流ノ人ト仰ガレテキタ。ヤガテ衆人ノ力ガ團結シテ英國ニ勝チ、米國ヲ壓制ノ中カラ援ヒ出シテ仕舞ツタ所デ、大統領ヲ選舉スルコトニナリ、直チニ多數モ異論ナク、一決シテ此華盛頓ヲ大統領トスルコトニナツタ。米國ニ大統領ノ出來タ其初メハ此人デ、其部下ニハおだむ(う)す(う)ふはる(う)をぬ(う)ふらぬ(う)くりぬ(う)ナドトイフ人物ガ居ツタ所カラ、華盛頓ノ羽翼トナリ、哲學者トイフ名譽ヲ置イタ。華盛頓ノ傳ハ委シクイフホドモナク、既ニ人モ知ツテキル

故、細カイ所ハ略シテ大體ダケイツテ置ク。晩年ハ最モ平和ニ眞ニ一言一行ガ道徳ノ模範トナルバカリノコトデ、愈人望モ厚ク、樂ナ生活ヲ遂ゲテ、靜カニ天命ヲ終ツタ。一七九九年、十二月十四日歿。

(二四) わっつ

日本デ誤ツテ「わっつ」とイフ。世界デ屈指ノ機械學者、兼哲學者。蒸氣機關ヲ發明シテ有名ナ人。一七三六年、一月十九日蘇國デノ出生。父ノ名モト^トエ^ヒス^ワツ^ツデ、商人デモアリ、旁船ノ事ニ從事シテ^キタ。此子^ワツ^ツノ幼年ノ頃カ^ラ貧乏デ、餘リヨク立派ナ暮ラシテスル事ハ出来ズ、然シナガテ學問ヲ好^シテ少シモ油斷ハナカツタ。其蒸氣機關ヲ發明シタノガ此人ノ一代ノ大發明デ、わっつ^トイ^ハバ蒸氣機關、

蒸氣機關トイハバわっつ^ト思ヒ出ス^クラ^キ。其初メハ僅カ小兒ノ徒ラデアツタ。即チわっつ^ノ十四歳ノ頃デアツタガ、或ル日書齋ニ^キテ本ヲ讀^ンデ^キタ。其時自分モ喉ガ乾^ク故、土瓶ニ湯ヲ入^レ火ノ上ニ懸ケテ置イ^タ。ヤガテ一心ニ本ニ凝^ツテ其事ヲ忘^レテ仕舞^ツタ所デ、土瓶ノ湯ハ沸騰^シテ果テハ力ヲ出^シテ湯氣ガ土瓶ノ蓋ヲ跳^チカ^ヘシ^タ。其事ガ耳ニ入^ッテ跳^キカ^ヘス體ヲシキリ^ト見^テ、「是ハ妙ダ湯氣トイフモノハ一ツノ氣狀體ノモノ、ソノ氣狀體ノモノガヨク此固形體ノ土瓶ノ蓋ヲ放^チカ^ヘサセルノカ」ト、却^ッテ普通人ハ怪シマヌモノ、此學者わっつ^ノハ怪シマレ^タ。是ダケノ力ガアルコトト考^ヘレバ何ウニカシテ利用スルコトガアリサウナモノト思^ツタ。然シナガ

ラ蒸氣ノ性質ヲコレマデ希國人モ研究シタ者ガアツタガ能ク分カラズ、好イ成績モ殘シテナカツタ。茲ニ於イテわっつ^ノモ自身コレヲ研究スル氣ニナリ。ソレカラ其土瓶ノ蓋カラ湯氣ヲ集メテ匙ノ上ニ盛^ツテ其目方ヲ量^リ、ヤガテソレヲ表カ^ヘシテド^ノソ^ラキ^ノモノニナルカト心ヲ傾ケテ調^ベ出^シタ。表立テテハ匙ニ湯氣ヲ取^リ、或ヒハ又表立テルナド同^シヤウナ真似^チシテキル所^ヘ、計^ラズモ其叔母ガ來テ馬鹿馬鹿シ^ク思^ツタ。肝心ノ書物ヲ^ハ讀^マズ、ツマラヌ事ヲ^シテ^キル^ノデ叱^リ飛^バシ^タ。奚^ツ圖^ラン此叱^リ飛^バシ^タコトガ大發明ノ基デアラウトハ？ソレカラノ研究ハ全^ク此事ハカリデ、一七六五年ニナツテ不思議ニモ善イ工夫ヲ思ヒ付イ^タ。即チ離^レタ鉢ニ蒸氣ヲ盛

リ、其作用デ蒸氣ヲ集メルコトノ工夫ガ付イ^タ所カラ、蒸氣機關ノ製作ニ於イテモ譯ハナカツタ。ガ、然シナガラソレヲ完成スルマデハ非常十年月ヲ費ヤシ、殆ドわっつ^ノ一生ハ全^ク此事ヲ終^ツタ。ガ、遂ニ發明シタ所ハ即チ今日イフ蒸氣機關デ、コレガタメニハドノク^ラキ^ニ益^チ世界デ受ケルカ分カラヌ。一八一九年八月歿。わっつ^ノガ歿シタ時ト^テ之^レい^フノ貴族ガコレヲ追悼ノタメ讚美ノ文ヲ作^ツタ。其文ニ斯ウイフコトガアル。「蒸氣機關發明ニナツテカラ從來行ハレナカツタコトガ殘^ラズ行ハレ、大ハ宇宙ノ大、小ハ鴻毛ノ小マデモ巧妙造化ノ腕ヲ奪^フバカリデアツタ」。

(二五) ふをぬへえべる

獨逸ノ音樂者。ばるぬ^ウ。一七八六年出生。一